

諸規程等〔規則集〕

1	お茶の水女子大学学則	234
2	お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度 実施規則	241
3	お茶の水女子大学文教育学部履修規程	242
4	お茶の水女子大学理学部履修規程	264
5	お茶の水女子大学生活科学部履修規程	276
6	お茶の水女子大学共創工学部履修規程	286
7	お茶の水女子大学学位規則	293
8	お茶の水女子大学 GPA 制度に関する要項	299
9	本学在学中に他大学等で 修得した単位の取扱いについて	300
10	転学及び編入学した学生の 既修得単位の取扱いについて	301
11	新たに第1年次に入学した学生の 既修得単位等の取扱いについて	302
12	お茶の水女子大学個人情報の管理に関する 規則	304
13	お茶の水女子大学授業料未納者に 係る除籍及び復籍に関する規程	310
14	お茶の水女子大学における学生の 旧姓及び通称名使用の取扱い等に関する要項	311

第1章 総則

第1節 目的

(目的)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学(以下「本学」という。)は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授、研究し、知的、道徳的及び応用的能力を養い、もって社会の諸分野における有為にして教養高き女子を養成し、併せて文化の進展に寄与することを目的とする。

(点検及び評価)

第2条 本学は、前条の目的を達成するため、教育研究水準の向上を図り、その状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 点検及び評価の項目並びにその実施体制等に関し必要な事項は、別に定める。

第2節 構成及び収容定員等

(学部)

第3条 国立大学法人お茶の水女子大学組織運営規則(以下「組織運営規則」という。)第4条第1項の規定に基づき置かれる学部の学科及び収容定員等は、次の表のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	第3年次入学定員	収容定員
文 教 育 学 部	人文科学科	50人		200人
	言語文化学科	73人	6人	304人
	人間社会科学科	37人	4人	156人
	<教育学・子ども学コース>	<25人>		
	芸術・表現行動学科	25人		100人
	計	185人	10人	760人
理 学 部	数学科	20人	2人	84人
	物理学科	20人	2人	84人
	化学科	20人	2人	84人
	生物学科	24人	2人	100人
	情報科学科	36人	2人	148人
	計	120人	10人	500人
生 活 科 学 部	食物栄養学科	36人		144人
	人間生活学科	39人	4人	164人
	心理学科	26人	3人	110人
	計	101人	7人	418人
共 創 工 学 部	人間環境工学科	26人	3人	110人
	文化情報工学科	20人		80人
	計	46人	3人	190人
合 計		452人	30人	1,868人

備考 < >は、幼稚園教諭及び小学校教諭の教職課程を設置しているコースの入学定員であり、学科の内数とする。

2 前項に規定する学科に、コース、講座等を置くことができる。

(文教育学部の目的)

第4条 文教育学部は、人文・社会科学系の学問を中心に、講義、演習、実験、実習等の多様な授業を通じて、学術研究のための確かな基礎と、国際的に通用する問題発見能力、情報処理能力、問題解決能力、コミュニケーション能力を備えた人材を養成することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、前条第1項に定める文教育学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。

(1) 人文科学科

人文科学科は、人類の様々な歩みの中の現象を広く文化として捉え、深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけだし、必要な資料・データをねばり強く収集・整理した上で、独自の論理を築きあげる総合的な能力を有する人材を養成する。

(2) 言語文化学科

言語文化学科は、人間の言語活動や様々な言語表現の本質について深い知見を有するような人材、また、個々の言語に関して高い運用能力を有するような人材、更には各言語圏に固有の文化とそれら相互間の交流について幅広い知識を有するような人材を養成する。

(3) 人間社会科学科

人間社会科学科は、教育学、社会学及び子ども学の幅広い基礎知識、深い専門的及び応用的知識を習得し、人間に対する深い理解に基づき、グローバルな視野に立って学校その他の社会の広い分野において主導的役割を果たすことができる人材を養成する。教育学・子ども学コースでは、幼稚園及び小学校の教員の養成を行う。

(4) 芸術・表現行動学科

芸術・表現行動学科は、音楽や舞踊に代表される芸術及び表現行動を理論的研究と実践の両面から追求し、現代的問題への対応に適用できるような人材を養成する。

(理学部の目的)

第5条 理学部は、理学の基礎知識を修得し、大学院において高度な教育を受けるための能力を有する人材及び理学の基礎知識を活用し社会の多様な分野において主導的役割を果たすことができる人材を養成することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、第3条第1項に定める理学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。

(1) 数学科

数学科は、数学的素養と論理的思考力を備え社会の様々な分野で主導的役割を果たすことができる人材及び現代数学の基礎知識と数学的論理思考を身に付け数理的諸科学の発展に貢献できる人材を養成する。

(2) 物理学科

物理学科は、自然科学の基礎である物理学の基礎知識を修得し、それを実際の問題に適用して解決する能力を身に付けた人材を養成する。

(3) 化学科

化学科は、様々な物質から成り立つ自然界を、原子・分子の構成とその変化の視点で捉え、得られた知識を体系化しつつ、化学の諸分野はもとより、

生物学、物理学などの基礎分野から、工学や薬学、農学、医学、地球科学、情報学など多彩な応用分野まで幅広く展開できる人材を養成する。

(4) 生物学科

生物学科は、「生き物」の複雑で多様な生命現象を科学的に解析する力を養い、幅広い知識に基づいた柔軟で論理的な思考力を有して豊かな人間社会の構築に貢献できる人材を養成する。

(5) 情報科学科

情報科学科は、20世紀に登場し新しい科学の対象となった「情報」というものを探究するための基礎となる知識や方法論と、その種々な応用の実態を学び、更にその成果の上に、これらを自ら開拓するための研究力の基礎を身に付けた人材を養成する。

(生活科学部の目的)

第6条 生活科学部は、自然・人文・社会科学的教養に基づき、人間と生活についての総合的な学識を身に付け、生活者の立場から、社会で活躍できる優秀な人材を養成することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、第3条第1項に定める生活科学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。

(1) 食物栄養学科

食物栄養学科は、人間の「食」を自然科学的かつ総合的に捉え、豊かな食生活や健康な社会を実現するために、食物と栄養について科学的知識と実践的能力を備えた人材を養成する。

(2) 人間生活学科

人間生活学科は、人間と社会の関係、生活と文化について、多角的な視点と複合的なアプローチを駆使し、人間と生活を総合的に理解し、分析する力を備えた優秀な人材を養成する。

(3) 心理学科

心理学科は、心理学に関する基礎から実践までの多面的な知識と理解力を有し、科学的エビデンス、論理的分析力に基づく臨床・応用実践、社会的課題にセンシティブな実証的探求の視点や実践的能力を獲得できる人材を養成する。

(共創工学部の目的)

第6条の2 共創工学部は、多様性を包摂し持続可能で豊かな文化を有する社会の実現に向け、工学と人文学・社会科学の協働の意義を理解した上で、人間中心の新しい技術や文化を共創できる人材を養成することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、第3条第1項に定める共創工学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。

(1) 人間環境工学科

人間環境工学科は、社会課題解決に向けて、工学と人文学・社会科学の知を協働させることで、人々のための豊かな環境や技術を創造し、その普及に取組む人材を養成する。

(2) 文化情報工学科

文化情報工学科は、豊かな文化を有する社会の実現に向け、人間の文化と社会に関わる資料をデジタル技術やデータサイエンスを応用して収集・分析し、工学的な思考と技術を用いて文化や価値の創造に寄与する人材を養成する。

(大学院)

第7条 組織運営規則第5条第1項の規定に基づき置かれる大学院に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 学部通則

第1節 教育課程及び履修方法

(修業年限)

第8条 学部の修業年限は、4年とする。

2 学生は、修業年限の2倍を超えて在学することはできない。ただし、第23条、第34条及び第37条の規定により入学した学生は、修業すべき年数の2倍を超えて在学することはできない。

3 前2項の規定にかかわらず、第30条の規定により入学した学生の修業すべき年数及び在学年限は、退学前の在学期間を通算し、第1項に規定する修業年限及び前項に規定する在学年限とする。

4 入学前に、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した者が入学する場合、第12条の規定により認められた単位の全部又は一部が教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該学部教授会の議を経て、第1項に規定する修業年限について当該単位数、その修得に要した期間その他を考慮して、2分の1を超えない範囲でその修業年限に通算することができる。

(授業科目)

第9条 各学部が開設する授業科目は、学部ごとに別に定める。

(授業の方法)

第9条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(教育課程及び履修方法)

第10条 各学部の教育課程及び履修方法は、学部ごとに別に定める。

(他大学等における授業科目の履修及び大学以外の教育施設等における学修)

第11条 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学(以下「他大学等」という。))との協議に基づき、学生が当該他大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、合わせて60単位を超えないものとする。

4 前3項に定めるもののほか、修得単位等の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第12条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。))又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。))を、当該学部教授会の議を経て、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、当該学部教授会の議を経て、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、転学、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のも

については、第11条第3項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 前3項に定めるもののほか、既修得単位等の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(教育職員免許状の取得)

第13条 学部において取得することができる教育職員の免許状の種類は、別表に掲げるとおりとする。

2 前項の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

第14条 削除

(学芸員資格の取得)

第15条 学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び博物館法施行規則(昭和30年文部省令第24号)に定める科目の単位を修得しなければならない。

2 前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第2節 卒業及び学位

(卒業)

第16条 学部に4年以上在学し、定められた授業科目を履修し、124単位以上を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。ただし、文教育学部人間社会科学科に在籍し教育科学主プログラムを選択する者については、136単位以上を、生活科学部食物栄養学科については、138単位以上を修得した者とする。

2 転学者、編入学者の学業に関し必要な事項は、別に定める。

3 第1項に規定する卒業に必要な単位のうち、第9条の2第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位の授与)

第17条 学長は、卒業した者に対して、国立大学法人お茶の水女子大学学位規則の定めるところにより、学士の学位を授与する。

第3節 学年、学期及び休業日

(学年)

第18条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第19条 学年を次の2学期又は4学期に分ける。

二学期制

学期	期間
前学期	4月1日から9月30日まで
後学期	10月1日から翌年3月31日まで

四学期制

学期	期間
第1学期	4月1日から9月30日までの間で別に定める。
第2学期	
第3学期	10月1日から翌年3月31日までの間で別に定める。
第4学期	

(休業日)

第20条 学年中の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (2) 日曜日
- (3) 創立記念日 11月29日
- (4) 春期休業
- (5) 夏期休業
- (6) 冬期休業

2 前項第4号から第6号までの休業日の期間は、学長が別に定める。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

4 休業日において、必要がある場合には、授業を行うことができる。

第4節 入学、退学、休学、転学、留学、編入学、転学部及び転学科

(入学の時期)

第21条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第22条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を受けた者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高専課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(第3年次入学資格)

第23条 第3条第1項に定める第3年次入学定員により入学することのできる者は、前条の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 短期大学を卒業した者
- (4) 高等専門学校を卒業した者
- (5) 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者
- (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者
- (7) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)

(入学出願手続)

第24条 入学志願者は、入学願書に調査書その他所定の書類及び検定料を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第25条 学長は、前条の入学志願者について、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て合格者を決定する。

(入学手続)

第26条 前条の合格者は、所定の期日までに誓約書その他所定の書類を提出するとともに、入学科を納付しなければならない。

(入学許可)

第27条 学長は、前条の入学手続を完了した者(第43条の規定により入学科の免除を申請した者を含む。)に入学を許可する。

第28条 次の各号のいずれかに該当する者は、第25条の規定にかかわらず入学を許可することができる。

- (1) 一学部を卒業した者で、更に他の学部又は同一学部の他の学科に入学を志願する者
- (2) 退学した者で、更に同一の学部に入學を志願する者
- (3) 他の大学の学部を卒業した者

(退学)

第29条 退学を希望する者は、その理由を具して学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(再入学)

第30条 一度退学した者が再入学を願い出た場合は、審査の上これを許可することができる。

(除籍)

第31条 次の各号のいずれかに該当する者は、当該学部教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
 - (2) 第8条第2項及び第3項に定める在学年限を超えた者
 - (3) 第33条第4項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
 - (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者
- 2 入学科の免除を申請した者で、免除を許可されなかった場合又は一部免除を許可された場合であって、納付すべき入学科を所定の期日までに納付しないときは、学長は、これを除籍する。

(復籍)

第32条 前条第1項第1号に該当し除籍となった者が当該除籍の事由となった未納の授業料に相当する額を納付して復籍を願い出た場合は、審査の上これを許可することができる。

2 復籍に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

第33条 病気その他の事由により引き続き2か月以上修学することができない者は、事由を具して学長に願い出てその許可を得て休学することができる。

- 2 健康上修学に不適当と認めた者に対しては、休学を命ずることができる。
- 3 休学の期間は、その学年末までとする。ただし、学長が特別の事情があると認めた者については、引き続き休学を許可することができる。
- 4 休学期間は、通算して定められた修業年限の年数を超えることができない。
- 5 休学期間は、在学期間には算入しない。
- 6 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第34条 他の大学から本学に転学を志望する者があるときは、収容力のある限り、審査の上、入学させることができる。

2 前項の場合、入学願書には現に在学する大学の学長の承認書を添えなければならない。

第35条 本学から他の大学に転学しようとする者は、学長の承認を得なければならない。

(留学)

第36条 学生は、当該学部教授会が教育上有益であると認めたときは、学長の許可を得て外国の大学等に留学することができる。

- 2 前項の留学期間は、1年を限度として第16条第1項に規定する在学期間に参入するものとする。
- 3 第11条第3項の規定は、外国の大学等へ留学する場合に準用する。
- 4 前2項に定めるもののほか、留学に関し必要な事項は、別に定める。

(編入学)

第37条 第3条第1項に定める第3年次入学定員によるもの以外で編入学を志願する者があるときは、第34条を準用する。

(転学部及び転学科)

第38条 学生が、本学の他学部への転入又は当該学生が在学している学部内の他学科等への転入を希望したときは、当該学部又は当該学科に収容力のある限り、審査の上、許可することができる。

第5節 検定料、入学科、授業料及び寄宿料

(検定料等の額)

第39条 検定料、入学科、授業料及び寄宿料の額は、別に定める。

(授業料の納付)

第40条 授業料は、年額の2分の1ずつを、次の2期に分けて納めなければならない。ただし、前期に係る授業料を納めるときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて納めることができる。

前期 5月末日まで

後期 11月末日まで

2 前項の規定にかかわらず、入学年度の授業料について、入学を許可される者の申出があったときは、入学手続時に徴収するものとする。

(寄宿料の納付)

第41条 寄宿料は、毎月その月の20日までに納めなければならない。

(検定料等の返付)

第42条 一度納めた検定料、入学料、授業料及び寄宿料は、これを返さない。ただし、入学手続時に授業料を納付した者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

(入学料の免除)

第43条 特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者で、学長に願い出たときは、入学料の全額又は半額を免除することができる。

2 入学料の免除に関し必要な事項は、別に定める。

(入学料の徴収猶予)

第44条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者で、学長に願い出たときは、入学料の徴収を猶予することができる。

2 入学料の徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(授業料及び寄宿料の免除並びに授業料の徴収猶予)

第45条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者で、当該学部を経て学長に願い出たときは、授業料及び寄宿料の全部若しくは一部を免除し、又は授業料の徴収を猶予(月割分納による徴収の猶予を含む。以下同じ。)することができる。

2 授業料及び寄宿料の免除並びに授業料の徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(退学者の授業料)

第46条 退学の許可を得た者の授業料は、その者が在学していた学期までの分を納めなければならない。

(休学者の授業料)

第47条 休学の許可を得た者の授業料は、月割計算により休学当月の翌月(休学の開始日が月の初日であるときは、休学当月)から復学月の前月までの分を免除する。

(停学者の授業料)

第48条 停学を命ぜられた期間中の授業料は、これを徴収する。

第6節 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、委託生、研究生、研究員等

(科目等履修生)

第49条 本学の学生以外の者で本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、別に定めるところにより、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

第50条 本学の定める課程の一部を選択し聴講を希望する者があるときは、学生の学習を妨げない場合に限り、選考の上、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第51条 特定の授業科目を履修することを希望する他の大学又は外国の大学の学生があるときは、当該大学との協議に基づき、所定の手続を経て、特別聴講学生として入学を許可することができる。

2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(委託生)

第52条 教育委員会、学校その他の公共機関から授業及び研究指導の委託出願があるときは、学生の学習を妨げない場合に限り、選考の上、委託生として入学を許可することができる。

2 委託生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第53条 特定事項に関する研究に従事することを希望する者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究員等の受入れ)

第54条 他の機関、民間会社等から、その職員等が特定事項に関する研究に従事することの申出又は研修受入れの申出があるときは、研究員等として受入れを許可することができる。

2 研究員等に関し必要な事項は、別に定める。

第7節 外国人留学生

(外国人留学生)

第55条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生で、大学間交流協定に基づき入学する者に係る検定料、入学料及び授業料については、所定の要件を満たした場合は、これを徴収しない。

3 前2項に定めるもののほか、外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第8節 寄附講座等

(寄附講座等)

第56条 教育研究の進展及び充実に資するとともに、社会貢献の推進を図るため、本学に寄附講座及び寄附研究部門並びに社会連携講座(以下「寄附講座等」という。)を設置することができる。

2 寄附講座等に関し必要な事項は、別に定める。

第9節 公開講座及び通信教育

(公開講座及び通信教育)

第57条 公開講座及び通信教育は、一般市民の教養を高めるため適時これを行う。

2 公開講座及び通信教育に関し必要な事項は、別に定める。

第10節 賞罰

(表彰)

第58条 学生が学業その他の活動において優れた成績を挙げたときは、学長は、これを表彰することができる。

2 学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第59条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

2 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

(学生団体の活動停止等)

第60条 学生団体の活動が学生準則に違反し、その他本学の使命に反するものと認められたとき、学生委員会の議を経て、学長が学生団体の活動の制限停止又は解散を命ずることができる。

2 前項の処分に対して関係者より相当の理由を附して異議の申出があったときは、教育研究評議会の議を経て、学長が適当な措置を行うことができる。

第11節 寄宿舍

(寄宿舍)

第61条 本学に、寄宿舍を置く。

2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この学則の施行の際廃止されたお茶の水女子大学学則の規定により存続するものとされた文教育学部史学科及び生活科学部生活環境学科は、第3条第2項の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

3 第3条第2項に掲げる表の生活科学部の項及び合計の項に定める収容定員は、同項の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までは、次の表のとおりとする。

学 部	学 科	平成16年度	平成17年度	平成18年度
生活科学部	食物栄養学科	36人	72人	108人
	人間・環境科学科	24人	48人	72人
	人間生活学科	260人	260人	260人
	学部共通	20人	20人	20人
	計	340人	400人	460人
合 計		1,688人	1,748人	1,808人

附 則 (平成17年2月23日)

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月24日)

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年6月15日)

この学則は、平成17年6月15日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則 (平成17年12月14日)

この学則は、平成17年12月14日から施行する。ただし、第29条第2号の改正規定は、平成17年10月1日から適用する。

附 則 (平成19年3月22日)

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月21日)

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、第22条の改正規定は、平成20年度入学者から適用する。

2 この学則の施行前から引き続き生活科学部食物栄養学科に在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附 則 (平成21年3月26日)

1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表の規定は、平成21年度入学者から適用する。

2 この学則の施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附 則 (平成21年6月10日)

この学則は、平成21年6月10日から施行する。

附 則 (平成22年3月26日)

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年7月28日)

この学則は、平成22年7月28日から施行する。

附 則 (平成22年12月22日)

この学則は、平成22年12月22日から施行する。

附 則 (平成23年1月26日)

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年2月23日)

この学則は、平成23年2月23日から施行する。

附 則 (平成23年2月23日)

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年3月28日)

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年11月27日)

この学則は、平成24年11月27日から施行する。

附 則 (平成25年3月26日)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年12月24日)

この学則は、平成25年12月24日から施行する。

附 則 (平成26年3月26日)

この学則は、平成26年4月1日から施行する。
附 則 （平成27年3月25日）
この学則は、平成27年4月1日から施行する。
附 則 （平成28年3月25日）
この学則は、平成28年4月1日から施行する。
附 則(平成30年3月30日)

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
2 第3条第1項に掲げる表の下記学部学科の項に定める収容定員は、同項の規定にかかわらず、平成30年度から平成32年度までは、次の表のとおりとする。

学 部	学 科	平成30年度	平成31年度	平成32年度
文教育学部	言語文化学科	320人	320人	326人
	人間社会科学科	160人	160人	164人
理 学 部	数学科	80人	80人	82人
	物理学科	80人	80人	82人
	化学科	80人	80人	82人
	生物学科	100人	100人	102人
	情報科学科	160人	160人	162人
	人間・環境科学科	96人	96人	99人
生活科学部	人間生活学科	234人	208人	186人
	心理学科	26人	52人	81人

- 3 この学則の施行前から引き続き文教育学部人間社会科学科に在籍し、心理学主プログラムを選択する者及び生活科学部人間生活学科に在籍し、発達臨床心理学主プログラムを選択する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附 則(平成30年9月28日)
この学則は、平成30年9月28日から施行する。
附 則(平成31年3月29日)
この学則は、平成31年4月1日から施行する。
附 則(令和2年1月31日)
この学則は、令和2年1月31日から施行する。
附 則(令和2年3月31日)
この学則は、令和2年4月1日から施行する。
附 則(令和3年3月26日)
この学則は、令和3年3月26日から施行する。
附 則(令和4年4月1日)

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表の規定は、令和4年度入学者から適用する。
2 この学則の施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附 則(令和5年2月15日)
この学則は、令和5年2月15日から施行し、令和4年度入学者から適用する。
附 則(令和6年3月29日)

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
2 生活科学部人間・環境科学科は、第3条第1項の規定にかかわらず、令和6年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日まで
の間、存続するものとする。
3 第3条第1項に掲げる表の下記学部学科の項に定める収容定員は、同項の規定にかかわらず、令和6年度から令和8年度までは、次の表のとおりとする。

学 部	学 科	令和6年度	令和7年度	令和8年度
文 教 育 学 部	人文科学科	215人	210人	205人
	言語文化学科	325人	318人	311人
	人間社会科学科	165人	162人	159人
	芸術・表現行動学科	106人	104人	102人

学 部	学 科	令和6年度	令和7年度	令和8年度
理 学 部	生物学科	103人	102人	101人
	情報科学科	160人	156人	152人
生 活 科 学 部	人間・環境科学科	78人	54人	27人
共 創 工 学 部	人間環境工学科	26人	52人	81人
	文化情報工学科	20人	40人	60人

- 4 この学則の施行前から引き続き生活科学部人間・環境科学科に在籍する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表(第13条関係)

学部	学科等	免許状の種類
文 教 育 学 部	人文科学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）
		中学校教諭一種免許状（国語） 中学校教諭一種免許状（中国語） 中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（中国語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
		幼稚園教諭一種免許状＜※教育学科・子ども学コースのみ＞ 小学校教諭一種免許状＜※教育学科・子ども学コースのみ＞ 中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）
	人間社会科学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）
	芸術・表現行動学科	中学校教諭一種免許状（保健体育） 中学校教諭一種免許状（音楽） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（音楽）

学部	学科等	免許状の種類
理 学 部	数学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学）
		中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）
	物理学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）
	化学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）
	生物学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）
生 活 科 学 部	情報科学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（情報）
	食物栄養学科	栄養教諭一種免許状
	人間生活学科	中学校教諭一種免許状（家庭） 高等学校教諭一種免許状（家庭）

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学(以下「本学」という。)における複数プログラム選択履修制度(以下「複数履修制」という。)の実施については、国立大学法人お茶の水女子大学学則の定めによるほか、この規則の定めるところによる。

(目的)

第2条 複数履修制は、本学の学部専門教育において、学生が主体的な学習プログラムを構築し、深い専門性と幅広い教養を備えた自主自律の精神を養うことを目的として実施する。

(構成)

第3条 複数履修制は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラムにより構成する。

2 前項の各プログラムは各学部が定めるところにより、学科、講座、コースその他の単位ごとに開設する。ただし、学際プログラムについては開設しないことができる。

(主プログラム)

第4条 主プログラムは、学位の取得を目的として、各専門領域の基礎的な知識や技能を全学年間に一貫的及び調和的に修得するためのプログラムをいう。

2 主プログラムは、学生が所属する学部及び学科内で開設するプログラムとする。

3 主プログラムの履修に関し必要な事項は、学部が定める。

(強化プログラム)

第5条 強化プログラムは、各専門領域のより高度な科目群からなり、専門領域に特化した深い専門性を培うためのプログラムをいう。

2 強化プログラムは、学生が所属する学部及び学科内で開設するプログラムとする。

3 強化プログラムの履修に関し必要な事項は、学部が定める。

(副プログラム)

第6条 副プログラムは、学生の多様な能力・適性及び学習意欲に応え、主プログラムと併行して、専門とは異なる分野の幅広い学習機会を提供するためのプログラムをいう。

2 副プログラムの履修資格は学部が定め、その他履修に関し必要な事項は別に定める。

(学際プログラム)

第7条 学際プログラムは、新たな領域型ないしは学際型の専門領域に即応し、先端研究分野等で要請される新しいタイプの専門人材育成に対応するプログラムをいう。

2 学際プログラムの履修資格は学部が定め、その他履修に関し必要な事項は別に定める。

(選択及び登録)

第8条 学生による主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラムの選択及び登録に関する基本方針は、別に定める。

(実施体制)

第9条 複数履修制に関し審議及び連絡調整をするため、学務部会のもとに複数プログラム選択履修専門部会(以下「専門部会」という。)を置く。

2 専門部会は前項の業務を行うにあたっては、教学IR・教育開発・学修支援センターとの緊密な連携をとるものとする。

(教育目標等)

第10条 第3条第1項に定めるプログラムごとに、その教育目標並びにプログラム選択に必要な情報及び履修方法等については、別に定める。

(点検・評価・改善)

第11条 学部は、前条に定める教育目標の達成度等を基に点検・評価・改善を行うものとする。

2 前項の場合において、学部をまたがって開設するプログラムにあっては、関係する学部が協議の上、全学教育システム改革推進本部本部会議の承認を得るものとする。

(開設)

第12条 学部は、前条第1項に規定する点検・評価・改善を行った結果、複数履修制を構成する新たなプログラムの開設が必要と認める場合には、全学教育システム改革推進本部本部会議の議を経て、開設を決定するものとする。

2 前項において、学部をまたがって開設する場合は、あらかじめ関係する学部が協議の上、全学教育システム改革推進本部本部会議の議を経て、開設を決定するものとする。

(廃止)

第13条 学部は、第11条第1項に規定する点検・評価・改善を行った結果、複数履修制を構成しているプログラムの廃止が必要と認める場合には、全学教育システム改革推進本部本部会議の議を経て、廃止を決定するものとする。

2 前項において、学部をまたがって開設している場合は、あらかじめ関係する学部が協議の上、全学教育システム改革推進本部本部会議の議を経て、廃止を決定するものとする。

(雑則)

第14条 この規則に定めるもののほか、複数履修制の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月31日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

(趣旨)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学文教育学部の教育課程及び履修方法については、国立大学法人お茶の水女子大学学則、国立大学法人お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則又はこれに基づく別段の定めによるほか、この規程の定めるところによる。

(履修コース・グローバル文化学環)

第2条 広領域に及ぶ幅広い知識と、高度で実践的な専門的知識を教育するため、学科ごとに、履修方法を異にする履修コース及びグローバル文化学環(以下「環」という。)を設ける。

2 前項の履修コース及び環に係る履修方法については、別に定める。

(授業科目の区分)

第3条 授業科目は、コア科目、専門教育科目、学部共通科目、全学共通科目、教職課程科目及び外国人留学生特別科目とする。

2 コア科目は、文理融合リベラルアーツ、基礎講義、情報、外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語及びアジア諸語)及びスポーツ健康とする。

3 専門教育科目は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム、学際プログラム及び専修プログラムを構成する科目とする。

4 各学科・環で共通して履修できる科目として、学部共通科目を置く。

5 全学で共通して履修できる科目として、全学共通科目を置く。

6 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める教職課程科目を置く。

7 外国人留学生に対して、外国人留学生特別科目を置く。

(他学部の授業科目の履修)

第4条 理学部、生活科学部及び共創工学部の授業科目は、これを履修することができる。

(単位の計算方法)

第5条 各授業科目の単位数の計算方法は、1単位が45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

二 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

三 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、個人指導による実技及び教育実習等の授業科目については、別に定める。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究については別に定める。

(卒業要件)

第6条 卒業するためには、別表第1に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。ただし、人間社会科学科教育科学コースについては、別表第1に定めることにより、136単位以上を修得しなければならない。

2 人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科及びグローバル文化学環において履修すべき授業科目及び単位数は、別表第3から別表第7及び別表第9に定めるところとする。また、芸術・表現行動学科においては、別表第3、別表第8及び別表第9に定めるところとする。

3 全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第10に定めるところとする。

4 教職課程科目の授業科目及び単位数は、別表第11に定めるところとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考9のとおりとする。

5 外国人留学生特別科目の授業科目及び単位数は、別表第12に定めるところとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考10のとおりとする。

(履修手続)

第7条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに指定する方法により申請し、担当教員の許可を得なければならない。

2 学生が前項により履修申請した授業科目の履修を取消すには、所定の期日までに指定する方法により履修取消し手続きを行い、担当教員の許可を得なければならない。

3 学生が授業科目について聴講のみを希望する場合は、担当教員の許可を得なければならない。

(単位の授与)

第8条 授業科目を履修した者については、試験(論文、報告等を含む。以下同じ。)により学修の成果を評価して、所定の単位を与える。

2 試験は、原則として学年又は学期末に行うこととする。ただし、病気その他正当な理由で試験を受けることができなかった者は、別に定める手続により追試験を受けることができる。

(成績の評価)

第9条 成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して決定する。

2 成績の評価は、「S」(基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている)、「A」(基本的な目標を十分に達成している)、「B」(基本的な目標を達成している)、「C」(基本的な目標を最低限度達成している)、「D」(基本的な目標を達成していない。再履修が必要である)の5種類の評語をもって表し、「S」、「A」、「B」及び「C」を合格とし、「D」を不合格とする。

3 前項の成績の評価又は科目の原成績(素点)に基づき、成績の数値平均Grade Point Average(以下「GPA」という。)を算出するものとする。GPAに関し必要な事項は別に定める。

(成績不振の学生に対する学修指導)

第10条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学修状況が著しく不良の者には、成績不振の学修指導を行うことがある。

2 その他学修指導に関し必要な事項は、別に定める。

(細則)

第11条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、文教育学部教授会が定める。

附則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成19年1月17日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行し、改正後の別表第3及び第3の2の規定は、平成19年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成19年10月24日から施行し、平成19年10月1日から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成25年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3から第11まで、第13及び第14の規定は、平成26年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成26年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 3 前2項の規定にかかわらず、第10条の改正規定は、この改正規程の施行前から引き続き文教育学部に在学する者から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成28年10月1日から施行する。ただし、改正後の別表第4から第6まで及び別表第8の規定は、平成28年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成29年10月1日から施行する。ただし、施行日に在籍し、かつ施行日以前に当該改正に係る授業科目を履修した者にも適用する。

附則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成30年10月24日から施行し、平成30年10月1日から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 3 この規程により規定した授業科目は、平成32年3月31日限り、その効力を失う。

附則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行し、平成31年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行し、令和3年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- この規程は、令和4年7月20日から施行し、令和4年度入学者から適用する。
- この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 前2項の規定にかかわらず、授業科目のうち教育実習(中高)の単位数については、1単位に限り、平成31年度以降に入学し、この改正規程の施行前から引き続き人間社会学科に在学する者から適用する。

附則

- この規程は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学者から適用する。
- この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、令和5年10月25日から施行し、令和5年10月1日から適用する。

附則

- この規程は、令和6年4月1日から施行し、令和6年度入学者から適用する。
- この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、令和6年10月1日から施行する。

附則

- この規程は、令和7年4月1日から施行し、令和7年度入学者から適用する。
- この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1(第6条関係)

学科別 科目区分	必修及び選択必修の科目・単位										自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数	
	コア科目					専門教育科目(必修プログラム)					コ ア 科 目	専 門 教 育 科 目	学 部 共 通 科 目	他 学 部 の 科 目	全 学 共 通 科 目	教 職 課 程 科 目	必修以外の 選択プログラム		
	文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報	外国語	スポーツ健康	主プログラム	強化プログラム	副プログラム	学際プログラム	専修プログラム									
人文学科	18		20		2	44	20				20							124	
言語文化学科	18		20		2	44	20				20							124	
人間社会学科																			
教育科学コース	18		12		2	60	14	20				30(24)							136
社会学コース	18		12		2	48	20				24							124	
子ども学コース	18		12		2	50	18	20				24(22)							124
芸術・表現行動学科	18		12		2						64		28					124	
グローバル文化学環	18		20		2	44			20				20					124	

備考

- 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
- 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。
- スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 主プログラムは、所属学科から選択すること。
- 強化プログラムを選択する場合は、所属学部が開設するプログラムから一つを選択し、副プログラム・学際プログラムを選択する場合は、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、所属学部及び他学部が開設するプログラムから一つを選択すること。
- 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
- 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
- 必修以外の選択プログラムは、所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 人間社会学科教育科学コース・子ども学コースを除き、教職課程科目の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、20単位までをコア科目として取り扱う。
ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることはできない。
- 教育科学コースまたは子ども学コースの学生が、副プログラムまたは学際プログラムを選択した場合は、自由に選択して履修する科目の単位は、教育科学コースの場合24単位、子ども学コースの場合22単位とする。
- グローバル文化学環履修者は、所属学科によらず、グローバル文化学環の欄に記載される科目・単位を履修すること。また、必修プログラムとして、グローバル文化学主プログラムと所属学科の副プログラム又は学際プログラムを履修すること。

別表第2（第6条関係）

【(文)二つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科		哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理学(副)	理学	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日教本語育(副)	社会学(副)	舞踊学(副)	音楽表現(副)	教育学・子ども学(学際)	グローバル文化学(学際)
人文学科	哲学		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	歴史	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地理	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
言語文化学科	日文	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中文	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英文	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	仏文	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
	教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間社会学科	社会	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	子ども	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
芸術・表現行動学科	舞踊														
	音楽														

【(文)二つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科		数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
人文学科	哲学	○	○	○	○	×	×	○	○	×
	歴史	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	地理	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	グロ文	×	×	×	×	×	×	×	×	×
言語文化学科	日文	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中文	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	英文	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	仏文	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	グロ文	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	教育	×	×	×	×	×	×	×	×	×
人間社会学科	社会	○	○	○	○	×	×	○	○	×
	子ども	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	グロ文	×	×	×	×	×	×	×	×	×
芸術・表現行動学科	舞踊									
	音楽									

【(文)二つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科		生活社会科学(副)	生活文化学(副)	心理学(副)	消費者学(学際)
人文学科	哲学	×	○	○	○
	歴史	×	○	○	○
	地理	×	○	×	×
	グロ文	×	×	×	×
言語文化学科	日文	×	○	○	×
	中文	×	○	○	×
	英文	×	○	○	○
	仏文	×	○	○	○
	グロ文	×	×	×	×
	教育	×	×	×	×
人間社会学科	社会	○	○	○	○
	子ども	×	○	○	○
	グロ文	×	×	×	×
芸術・表現行動学科	舞踊				
	音楽				

【(文)二つ目の選択プログラム(工・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科		人間環境工学(学際)	文化情報工学(学際)
人文学科	哲学	○	○
	歴史	○	○
	地理	○	○
	グロ文	×	×
言語文化学科	日文	×	○
	中文	×	○
	英文	×	○
	仏文	×	○
	グロ文	×	×
	教育	×	×
人間社会学科	社会	○	○
	子ども	○	○
	グロ文	×	×
芸術・表現行動学科	舞踊		
	音楽		

【(文)三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科		哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理学(副)	理学	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日教本語育(副)	社会学(副)	舞踊学(副)	音楽表現(副)	教育学・子ども学(学際)	グローバル文化学(学際)
人文学科	哲学		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	歴史	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地理	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
言語文化学科	日文	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中文	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英文	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	仏文	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
	教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間社会学科	社会	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	子ども	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
芸術・表現行動学科	舞踊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	音楽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○

【(文) 三つ目の選択プログラム (理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科		数学 (副)	物理学 (副)	化学 (副)	生物学 (副)	情報科学 (副)	応用数理 (学際)	物理・化学 (学際)	ケミカルバイオロジー (学際)	生命情報学 (学際)
人 文 学 科	哲 学	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	歴 史	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	地 理	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
言 語 文 化 学 科	日 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	中 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	英 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	仏 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
人 間 社 会 学 科	教 育	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	社 会	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	子ども	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
芸術・表現行動学科	舞 踊	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	音 楽	○	○	○	○	○	×	×	×	×

【(文) 三つ目の選択プログラム (生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科		生活社会科学 (副)	生活文化学 (副)	心理学 (副)	消費者学 (学際)
人 文 学 科	哲 学	○	○	○	○
	歴 史	○	○	○	○
	地 理	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○
言 語 文 化 学 科	日 文	○	○	○	○
	中 文	○	○	○	○
	英 文	○	○	○	○
	仏 文	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○
人 間 社 会 学 科	教 育	○	○	○	○
	社 会	○	○	○	○
	子ども	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○
芸術・表現行動学科	舞 踊	○	○	○	○
	音 楽	○	○	○	○

【(文) 三つ目の選択プログラム (工・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科		人間環境工学 (学際)	文化情報工学 (学際)
人 文 学 科	哲 学	○	○
	歴 史	○	○
	地 理	○	○
	グロ文	○	○
言 語 文 化 学 科	日 文	×	○
	中 文	×	○
	英 文	×	○
	仏 文	×	○
	グロ文	○	○
人 間 社 会 学 科	教 育	○	○
	社 会	○	○
	子ども	○	○
	グロ文	○	○
芸術・表現行動学科	舞 踊	○	○
	音 楽	○	○

別表第3 コア科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
文理融合リベラルアーツ		
リベラルアーツ演習Ⅰ	2	
リベラルアーツ演習Ⅱ	2	
系列1 生命と環境 (講義)		
生命と環境1	2	
生命と環境2	2	
生命と環境3	2	
生命と環境4	2	
生命と環境5	2	
生命と環境6	2	
(演習・実習)		
生命と環境21	2	
生命と環境22	2	
系列2 色・音・香 (講義)		
色・音・香1	2	
色・音・香2	2	
色・音・香3	2	
色・音・香4	2	
色・音・香5	2	
色・音・香6	2	
色・音・香7	2	
色・音・香8	2	
色・音・香9	2	
色・音・香10	2	
(演習・実習)		
色・音・香22	2	
系列3 生活世界の安全保障 (講義)		
生活世界の安全保障1	2	
生活世界の安全保障2	2	
生活世界の安全保障3	2	
生活世界の安全保障4	2	
生活世界の安全保障5	2	
生活世界の安全保障7	2	
生活世界の安全保障8	2	
生活世界の安全保障9	2	
生活世界の安全保障10	2	
(演習・実習)		
生活世界の安全保障23	2	
生活世界の安全保障26	2	

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
系列4 ことばと世界 (講義)		
ことばと世界1	2	
ことばと世界2	2	
ことばと世界3	2	
ことばと世界5	2	
ことばと世界6	2	
ことばと世界7	2	
ことばと世界8	2	
ことばと世界10	2	
ことばと世界11	2	
ことばと世界12	2	
ことばと世界13	2	
(演習・実習)		
ことばと世界27	2	
系列5 ジェンダー (講義)		
ジェンダー1	2	
ジェンダー2	2	
ジェンダー3	2	
ジェンダー4	2	
ジェンダー5	2	
ジェンダー6	2	
ジェンダー8	2	
ジェンダー9	2	
ジェンダー10	2	
基礎講義		
哲学	2	
法学Ⅰ(日本国憲法)	2	
法学Ⅱ(法学入門)	2	
政治学入門	2	
ミクロ経済学入門	2	
マクロ経済学入門	2	
基礎微積分学	2	
基礎線形代数学	2	
統計学	2	
総合コース	1～4	(Ⅰ～Ⅳ)
お茶の水女子大学論	2	(Ⅰ)
コンピテンシー基礎論	2	
防災・危機管理	1	
自然災害に対する防災・減災	1	

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
学修ポートフォリオ入門	1	
課題研究支援プログラム	1	
情報(必修)		
情報処理演習(1)	1	
情報処理演習(2)	1	
情報(選択)		
メディアリテラシ(1)	1	
メディアリテラシ(2)	1	
文理融合データサイエンスⅠ	2	
文理融合データサイエンスⅡ	2	
文理融合データサイエンスⅢ	2	
文理融合データサイエンスⅣ	2	
情報科学(1)	1	
情報科学(2)	1	
情報処理学(1)	1	
情報処理学(2)	1	
プログラミング演習1	2	
プログラミング演習2	2	
コンピュータ演習1	2	
コンピュータ演習2	2	
情報学演習1	2	
情報学演習2	2	
外国語(必修)		●人文科学科、言語文化学科：外国語の必修単位数は20単位。英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、二つの言語についてそれぞれ8単位修得すること。残りの4単位は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から修得すること。外国語科目の修得単位のうち、必修単位数を超える分は「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 ●グローバル文化学環：外国語の必修単位数は20単位。英語・ドイツ語・フランス語・中国語を第一外国語とし、その中から一つの言語について8単位修得すること。残りの12単位は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から修得すること。ただし第一外国語として選択した言語で満たすことのできる外国語の必修単位の合計は12単位が上限である。外国語科目の修得単位数のうち、必修単位数を超える分は「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 ●人間社会科学科、芸術・表現行動学科：外国語の必修単位数は12単位。英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、一つの言語について8単位修得すること。残りの4単位は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から修得すること。外国語科目の修得単位数のうち、必修単位数を超える分は「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 ●編入学生のコア外国語履修については別に定める。 *及び**：必修単位に充てることができる基本科目。 ***：第二外国語あるいは第三外国語として8単位未満履修する場合のみ必修単位に充てることができる準基本科目。 ※、**および***のついていない科目の単位は、特別措置等による認定がない限り、必修単位に充てることができない。
英語		
*基礎英語Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
*基礎英語Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
*基礎英語Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
*基礎英語Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
*中級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
*中級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
*中級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
*中級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
**英語コミュニケーションⅢ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語コミュニケーションⅢ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語コミュニケーションⅣ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語コミュニケーションⅣ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語コミュニケーションⅤ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語コミュニケーションⅤ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語コミュニケーションⅥ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語コミュニケーションⅥ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語プレゼンテーションⅠ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語プレゼンテーションⅠ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**グローバル・イングリッシュⅠ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**グローバル・イングリッシュⅠ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**グローバル・イングリッシュⅡ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
**グローバル・イングリッシュⅡ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅠ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅠ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅡ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅡ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅢ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅢ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅣ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅣ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅤ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅤ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅥ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
**Advanced Communication TrainingⅥ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
英語コミュニケーションⅠ(1)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅠ(2)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅡ(1)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅡ(2)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
上級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
ビジネス英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ドイツ語		
*基礎ドイツ語Ⅰ	2	(Ⅰ)
*基礎ドイツ語Ⅱ	2	(Ⅰ)
*基礎ドイツ語Ⅲ	2	(Ⅰ)
*基礎ドイツ語Ⅳ	2	(Ⅰ)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
**発展ドイツ語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
**発展ドイツ語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
**発展ドイツ語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
**発展ドイツ語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
**発展ドイツ語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
**発展ドイツ語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
**発展ドイツ語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
**発展ドイツ語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
***基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎ドイツ語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎ドイツ語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
フランス語		
*基礎フランス語Ⅰ	2	(Ⅰ)
*基礎フランス語Ⅱ	2	(Ⅰ)
*基礎フランス語Ⅲ	2	(Ⅰ)
*基礎フランス語Ⅳ	2	(Ⅰ)
**基礎フランス語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
**基礎フランス語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
**基礎フランス語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
**基礎フランス語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
**発展フランス語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
***基礎フランス語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎フランス語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎フランス語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎フランス語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語		
*基礎中国語Ⅰ	2	(Ⅰ)
*基礎中国語Ⅱ	2	(Ⅰ)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
* 基礎中国語Ⅲ	2	(Ⅰ)
* 基礎中国語Ⅳ	2	(Ⅰ)
** 基礎中国語 (応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
** 基礎中国語 (応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
** 基礎中国語 (応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
** 基礎中国語 (応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
** 発展中国語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
** 発展中国語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
** 発展中国語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
** 発展中国語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
** 発展中国語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
** 発展中国語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
** 発展中国語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
** 発展中国語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
*** 基礎中国語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 基礎中国語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 基礎中国語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 基礎中国語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 中国語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** 中国語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** 中国語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** 中国語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語プレゼンテーションⅠ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語プレゼンテーションⅡ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
ロシア語		
* ロシア語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* ロシア語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* ロシア語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* ロシア語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* ロシア語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* ロシア語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* ロシア語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* ロシア語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
朝鮮語		
* 朝鮮語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* 朝鮮語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* 朝鮮語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* 朝鮮語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* 朝鮮語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* 朝鮮語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* 朝鮮語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* 朝鮮語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
スペイン語		
* 現代スペイン語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
* 現代スペイン語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
* スペイン語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* スペイン語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* スペイン語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
* スペイン語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
イタリア語		
* 現代イタリア語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
* 現代イタリア語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
アジア諸語		
* 現代アジア諸語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
* 現代アジア諸語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
* 現代アジア諸語Ⅲ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
* 現代アジア諸語Ⅳ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
スポーツ健康(必修)		
スポーツ健康実習	2	(Ⅰ)
スポーツ健康(選択)		
スポーツ科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
健康科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
生涯スポーツ	0.5～3	(Ⅰ～Ⅳ)

別表第4 専門教育科目(第6条関係)

主プログラム

哲学・倫理学・美術史主プログラム		単位数：44	
授業科目	単位数	必修・選択	備考
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から 4単位選択
倫理学基礎論	2	選択	
美術史基礎論	2	選択	
比較文化史	2	選択	以下の科目から 4単位選択
比較社会史	2	選択	
自然と人間	2	選択	
人間と空間	2	選択	
哲学・倫理学・美術史選択基礎	2	選択	
哲学・倫理学・美術史高大接続セミナー	1	選択	
卒業論文	8	必修	
哲学研究指導A	4	選択	哲学、倫理学、美術史いずれかの分野について12単位選択
哲学研究指導B	4	選択	
哲学研究指導C	4	選択	
倫理学研究指導A	4	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
倫理学研究指導B	4	選択	
倫理学研究指導C	4	選択	
美術史学研究指導Ⅰ	4	選択	
美術史学研究指導Ⅱ	4	選択	
美術史学研究指導Ⅲ	4	選択	
哲学概論Ⅰ	2	選択	以下の科目から 16単位選択
哲学概論Ⅱ	2	選択	
倫理学概論Ⅰ	2	選択	
倫理学概論Ⅱ	2	選択	
美術史学概論	2	選択	
概念分析論Ⅰ	2	選択	
概念分析論Ⅱ	2	選択	
理論分析論Ⅰ	2	選択	
理論分析論Ⅱ	2	選択	
問題分析論Ⅰ	2	選択	
問題分析論Ⅱ	2	選択	
日本倫理思想史Ⅰ	2	選択	
日本倫理思想史Ⅱ	2	選択	
西洋美術史AⅠ	2	選択	
西洋美術史AⅡ	2	選択	
西洋美術史AⅢ	2	選択	
西洋美術史BⅠ	2	選択	
西洋美術史BⅡ	2	選択	
西洋美術史BⅢ	2	選択	
東洋美術史AⅠ	2	選択	
東洋美術史AⅡ	2	選択	
東洋美術史AⅢ	2	選択	
東洋美術史BⅠ	2	選択	
東洋美術史BⅡ	2	選択	
東洋美術史BⅢ	2	選択	
哲学演習AⅠ	2	選択	
哲学演習AⅡ	2	選択	
哲学演習AⅢ	2	選択	
哲学演習AⅣ	2	選択	
哲学演習AⅤ	2	選択	
哲学演習AⅥ	2	選択	
哲学演習BⅠ	2	選択	
哲学演習BⅡ	2	選択	
哲学演習BⅢ	2	選択	
哲学演習BⅣ	2	選択	
哲学演習BⅤ	2	選択	
哲学演習BⅥ	2	選択	
倫理学演習A	4	選択	
倫理学演習B	4	選択	
倫理思想史演習A	4	選択	
倫理思想史演習B	4	選択	
日本倫理思想史資料講読	4	選択	
西洋倫理思想史資料講読	4	選択	
宗教と倫理学	2	選択	
生命と倫理学	2	選択	
日本の社会と文化	2	選択	
日本文化の解釈学Ⅰ	2	選択	
日本文化の解釈学Ⅱ	2	選択	
日本文化の解釈学Ⅲ	2	選択	
形象分析学演習Ⅰ	4	選択	
形象分析学演習Ⅱ	4	選択	
形象分析学演習Ⅲ	4	選択	
形象分析学特殊講義Ⅰ	4	選択	
形象分析学特殊講義Ⅱ	4	選択	
形象分析学特殊講義Ⅲ	4	選択	
美術史学演習Ⅰ	4	選択	
美術史学演習Ⅱ	4	選択	
美術史学演習Ⅲ	4	選択	
美術史学特殊講義Ⅰ	4	選択	
美術史学特殊講義Ⅱ	4	選択	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	選択	

比較歴史学主プログラム		単位数：44	
授業科目	単位数	必修・選択	備考
比較文化史	2	必修	
比較社会史	2	必修	
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から 4単位選択
倫理学基礎論	2	選択	
美術史基礎論	2	選択	
自然と人間	2	選択	
人間と空間	2	選択	
日本文化史概論	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本史概説	2	選択	
アジア史概説	2	選択	
西洋史概説	2	選択	
日本史入門講読	2	選択	
外国史入門講読Ⅰ	2	選択	
外国史入門講読Ⅱ	2	選択	
比較歴史学選択基礎	2	選択	
比較歴史学高大接続セミナー	1	選択	
日本史研究法(1)	1	選択	
日本史研究法(2)	1	選択	
アジア史研究法(1)	1	選択	
アジア史研究法(2)	1	選択	
西洋史研究法(1)	1	選択	
西洋史研究法(2)	1	選択	
グローバル・ヒストリー	2	選択	
日本史講読	2	選択	
アジア史講読	2	選択	
西洋史講読	2	選択	
古文書学	2	選択	
歴史史科学	2	選択	
日本史論文講読	2	選択	
外国史論文講読	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅰ	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅱ	2	選択	
日本古代史演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から 12単位以上選択
日本古代史演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史演習Ⅰ	2	選択	
日本中世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近世史演習Ⅰ	2	選択	
日本近世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史演習Ⅰ	2	選択	
日本近代史演習Ⅱ	2	選択	
日本古代史料演習Ⅰ	2	選択	
日本古代史料演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史料演習Ⅰ	2	選択	
日本中世史料演習Ⅱ	2	選択	
日本近世史料演習Ⅰ	2	選択	
日本近世史料演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史料演習Ⅰ	2	選択	
日本近代史料演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史演習Ⅰ	2	選択	
東アジア史演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史演習Ⅰ	2	選択	
西アジア史演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史料演習Ⅰ	2	選択	
東アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史料演習Ⅰ	2	選択	
西アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋政治史演習Ⅰ	2	選択	
西洋政治史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会史演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会経済史演習Ⅱ	2	選択	
西洋政治史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋政治史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会経済史料演習Ⅱ	2	選択	
史学研究指導	2	選択	
卒業論文	8	必修	

地理環境学主プログラム 単位数：44			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と空間	2	必修	
自然と人間	2	必修	
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から 4単位選択
倫理学基礎論	2	選択	
美術史基礎論	2	選択	
比較文化史	2	選択	
比較社会史	2	選択	
地理学選択基礎	2	選択	以下の科目から 12単位選択
地理学高大接続セミナー	1	選択	
地図学	2	選択	
都市地理学	2	選択	
経済地理学	2	選択	
社会地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
福祉の地理学	2	選択	
測量学	2	選択	
地誌学	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
自然地理学フィールドワーク	2	選択	以下の科目から 6単位選択
人文地理学フィールドワーク	2	選択	
地理学分析基礎演習Ⅰ	2	選択	
地理学分析基礎演習Ⅱ	2	選択	
地理情報学	2	選択	
地理情報学演習	2	選択	
地域分析学演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から 2単位選択
環境地理学演習Ⅰ	2	選択	
自然地理学演習Ⅰ	2	選択	
社会地理学演習Ⅰ	2	選択	
都市地理学演習Ⅰ	2	選択	
地理学フィールドワーク	2	必修	
地理学研究法演習	2	必修	
地域分析学演習Ⅱ	2	選択	以下の科目から 2単位選択
環境地理学演習Ⅱ	2	選択	
社会地理学演習Ⅱ	2	選択	
都市地理学演習Ⅱ	2	選択	
地理学卒業演習	2	必修	
卒業論文	8	必修	

日本語・日本文学主プログラム 単位数：44			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から 8単位選択
日本語学通論	2	選択	
英語圏言語文化入門(1)	1	選択	
英語圏言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋～清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅰ	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅱ	2	選択	
言語学入門Ⅰ(1)	1	選択	
言語学入門Ⅰ(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
日本古典文学史論(上代)	2	選択	以下の科目から 8単位選択
日本古典文学史論(中古)	2	選択	
日本古典文学史論(中世)	2	選択	
日本古典文学史論(近世)	2	選択	
日本近代文学史論(近代)	2	選択	
日本近代文学史論(現代)	2	選択	
日本語語彙論	2	選択	以下の科目から 2単位選択
日本語文法総論	2	選択	
日本語音声表現論	2	選択	
日本語文章表現論	2	選択	以下の科目から 2単位選択
日本文学論講読Ⅰ	2	選択	
日本文学論講読Ⅱ	2	選択	
日本文学論講読Ⅲ	2	選択	
日本文学論講読Ⅳ	2	選択	
日本言語文化論Ⅰ	2	選択	
日本言語文化論Ⅱ	2	選択	
日本語学特殊研究	2	選択	以下の科目から 6単位選択
日本語史特殊研究	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(上代)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中古)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中世)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(近世)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(近代)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(現代)	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本語・日本文学選択基礎	2	選択	
日本語・日本文学高大接続セミナー	1	選択	
日本古典文学論基礎演習Ⅰ	2	必修	
日本古典文学論演習ⅠⅠ	2	選択	以下の科目から 6単位選択(同一 演習のⅠ、Ⅱを 必ず一組は含む こと)
日本古典文学論演習ⅠⅡ	2	選択	
日本古典文学論演習ⅡⅠ	2	選択	
日本古典文学論演習ⅡⅡ	2	選択	
日本古典文学論演習ⅢⅠ	2	選択	
日本古典文学論演習ⅢⅡ	2	選択	
日本近代文学論演習ⅠⅠ	2	選択	
日本近代文学論演習ⅠⅡ	2	選択	
日本近代文学論演習ⅡⅠ	2	選択	
日本近代文学論演習ⅡⅡ	2	選択	
日本語学演習(日本語史)Ⅰ	2	選択	以下の科目から 2単位選択
日本語学演習(日本語史)Ⅱ	2	選択	
日本語学演習(近・現代語)Ⅰ	2	選択	
日本語学演習(近・現代語)Ⅱ	2	選択	
日本語学研究指導	2	選択	
日本文学研究指導	2	選択	
卒業論文	8	必修	

中国語圏言語文化主プログラム			単位数：44
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から 8単位選択
日本語学通論	2	選択	
英語圏言語文化入門(1)	1	選択	
英語圏言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋～清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅰ	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅱ	2	選択	
言語学入門Ⅰ(1)	1	選択	
言語学入門Ⅰ(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
中国語ヒアリング基礎	2	必修	
中国語コミュニケーション・スキル	2	必修	
中国語作文基礎演習	2	必修	
中国語作文応用演習	2	必修	
中国語講読	2	必修	
中国語学概論	2	必修	
中国古典文学史(先秦～唐)	2	必修	
中国文化論	2	選択	
中国現代作家論	2	選択	
日中対照言語学	2	選択	
中国語統語論	2	選択	以下の科目から 12単位選択
中国古典文献講読入門	2	選択	
中国古典文献講読基礎	2	選択	
中国文学古典講読	2	選択	
中国文学古典演習	2	選択	
中国語圏言語文化選択基礎	2	選択	
中国語圏言語文化高大接続セミナー	1	選択	
中国現代文化特別演習	2	選択	
中国現代語学特別演習	2	選択	
中国古典文献特別演習	2	選択	
中国古典文学特別演習	2	選択	
卒業論文	8	必修	

英語圏言語文化主プログラム			単位数：44
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から 8単位選択
日本語学通論	2	選択	
英語圏言語文化入門(1)	1	選択	
英語圏言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋～清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅰ	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅱ	2	選択	
言語学入門Ⅰ(1)	1	選択	
言語学入門Ⅰ(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
英米文学演習(初級)	2	必修	
英作文演習(初級)	2	必修	
英会話演習(初級)	2	必修	
対照表現学演習Ⅰ(1)	1	必修	
対照表現学演習Ⅰ(2)	1	必修	
対照表現学演習Ⅱ	2	必修	
英文法Ⅰ(1)	1	必修	
英文法Ⅰ(2)	1	必修	
英文法Ⅱ	2	必修	
卒業論文	8	必修	
特別演習(言語研究方法論)Ⅰ(1)	1	選択	以下の科目から 6単位選択
特別演習(言語研究方法論)Ⅰ(2)	1	選択	
特別演習(言語研究方法論)Ⅱ	2	選択	
特別演習(英米文学研究方法論)Ⅰ(1)	1	選択	
特別演習(英米文学研究方法論)Ⅰ(2)	1	選択	
特別演習(英米文学研究方法論)Ⅱ	2	選択	
特別演習(作品分析)	2	選択	
特別演習(言語資料分析)	2	選択	
英語学入門(1)	1	選択	以下の科目から 8単位選択
英語学入門(2)	1	選択	
英語学概論	2	選択	
英文法演習	2	選択	
英語音声学演習	2	選択	
英文学史Ⅰ(1)	1	選択	
英文学史Ⅰ(2)	1	選択	
英文学史Ⅱ	2	選択	
米文学史Ⅰ(1)	1	選択	
米文学史Ⅰ(2)	1	選択	
米文学史Ⅱ	2	選択	
英語圏言語文化選択基礎	2	選択	
英語圏言語文化高大接続セミナー	1	選択	
英語圏テキスト研究入門(1)	1	選択	
英語圏テキスト研究入門(2)	1	選択	
英作文演習(中級)	2	選択	
英会話演習(中級)	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
英文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅳ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅴ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅵ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅶ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅷ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅰ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅳ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅴ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅵ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅶ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅷ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅰ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅱ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	選択	
英語圏事情(1)	1	選択	
英語圏事情(2)	1	選択	
第二言語教授法研究Ⅰ	2	選択	
第二言語教授法研究Ⅱ	2	選択	
第二言語教授法研究Ⅲ	2	選択	
第二言語教授法研究Ⅳ	2	選択	

仏語圏言語文化主プログラム			単位数：44
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から 8単位選択
日本語学通論	2	選択	
英語圏言語文化入門(1)	1	選択	
英語圏言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋～清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅰ	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅱ	2	選択	
言語学入門Ⅰ(1)	1	選択	
言語学入門Ⅰ(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化基礎演習	2	必修	
欧州文化論Ⅰ	2	選択	以下の科目から 24単位選択
欧州文化論Ⅱ	2	選択	
欧州文化論Ⅲ	2	選択	
欧州文化論Ⅳ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅰ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅱ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅲ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅳ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅰ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅱ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅲ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅳ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅴ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅵ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅰ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅱ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅲ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅰ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅱ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅲ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	
フランス史	2	選択	
西洋近世史	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅰ	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅰ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅲ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅳ	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅰ	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅱ	2	選択	
中級仏作文演習Ⅰ	2	選択	
中級仏作文演習Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化実習Ⅰ	2	選択	
仏語圏言語文化実習Ⅱ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅰ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅲ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅳ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎仏語学演習Ⅰ	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅱ	2	選択	
中級仏語学演習Ⅰ	2	選択	
中級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語学演習Ⅰ	2	選択	
上級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅰ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅱ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅲ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅳ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅰ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅲ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
現代仏文学演習Ⅰ	2	選択	
現代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
仏文学特殊研究	2	選択	
仏文学特別研究	2	選択	
仏語言語文化研究指導	2	必修	
卒業論文	8	必修	
仏語圏言語文化選択基礎	2	選択	
仏語圏言語文化高大接続セミナー	1	選択	

教育科学主プログラム				単位数：60
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
人間と発達	2	必修	必修の科目を含めて6単位以上選択	
教職概論(1)	1	必修		
教職概論(2)	1	必修		
社会学総論	2	選択		
人間科学論	2	選択		
子ども学総論	2	選択		
ジェンダー社会論	2	選択	以下の科目から2単位以上選択	
現代社会論	2	選択		
社会意識論	2	選択		
社会政策論Ⅰ	2	選択		
文化人類学概論(1)	1	選択		
文化人類学概論(2)	1	選択		
幼児教育学原論(1)	1	選択		
幼児教育学原論(2)	1	選択		
子ども社会学概論(1)	1	選択		
子ども社会学概論(2)	1	選択		
幼児教育制度概論(1)	1	選択		
幼児教育制度概論(2)	1	選択		
幼児教育方法学概論(1)	1	選択		
幼児教育方法学概論(2)	1	選択		
幼児教育課程概論(1)	1	選択		
幼児教育課程概論(2)	1	選択		
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	選択		
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	選択		
教育思想概論(1)	1	必修	必修の科目を含めて16単位以上選択	
教育思想概論(2)	1	必修		
教育史概論(1)	1	必修		
教育史概論(2)	1	必修		
教育・発達心理学概論(1)	1	必修		
教育・発達心理学概論(2)	1	必修		
教育社会学概論(1)	1	必修		
教育社会学概論(2)	1	必修		
教育制度概論	2	必修		
教育方法学概論(1)	1	必修		
教育方法学概論(2)	1	必修		
教育課程概論(1)	1	必修		
教育課程概論(2)	1	必修		
特別支援教育概論(1)	1	必修		
特別支援教育概論(2)	1	必修		
教育開発概論(1)	1	選択		
教育開発概論(2)	1	選択		
生涯学習概論	2	選択		
教育科学概論	2	選択		
教育思想特殊講義	2	選択	以下の科目から2単位以上選択	
教育人間学特殊講義	2	選択		
教育史特殊講義	2	選択		
教育制度特殊講義	2	選択		
教育社会学特殊講義	2	選択		
学校社会学特殊講義	2	選択		
教育方法学特殊講義	2	選択		
教育課程特殊講義	2	選択		
教育開発特殊講義	2	選択		
比較教育特殊講義	2	選択		
教育心理学特殊講義	2	選択		
発達心理学特殊講義	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
特別支援教育特殊講義	2	選択	
障害児教育特殊講義	2	選択	
教育科学特殊講義Ⅰ	2	選択	
教育科学特殊講義Ⅱ	2	選択	
教育科学選択基礎	2	選択	
教育科学高大接続セミナー	1	選択	
教育思想演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から12単位選択
教育思想演習Ⅱ	2	選択	
教育人間学演習Ⅰ	2	選択	
教育人間学演習Ⅱ	2	選択	
教育史演習Ⅰ	2	選択	
教育史演習Ⅱ	2	選択	
教育制度演習Ⅰ	2	選択	
教育制度演習Ⅱ	2	選択	
教育社会学演習Ⅰ	2	選択	
教育社会学演習Ⅱ	2	選択	
学校社会学演習Ⅰ	2	選択	
学校社会学演習Ⅱ	2	選択	
教育方法学演習Ⅰ	2	選択	
教育方法学演習Ⅱ	2	選択	
教育課程演習Ⅰ	2	選択	
教育課程演習Ⅱ	2	選択	
教育開発演習Ⅰ	2	選択	
教育開発演習Ⅱ	2	選択	
比較教育演習Ⅰ	2	選択	
比較教育演習Ⅱ	2	選択	
教育心理学演習Ⅰ	2	選択	
教育心理学演習Ⅱ	2	選択	
発達心理学演習Ⅰ	2	選択	
発達心理学演習Ⅱ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅰ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅱ	2	選択	
障害児教育演習Ⅰ	2	選択	
障害児教育演習Ⅱ	2	選択	
教育科学演習AⅠ	2	選択	
教育科学演習AⅡ	2	選択	
教育科学演習BⅠ	2	選択	
教育科学演習BⅡ	2	選択	
学校インターンシップ	1	選択	以下の科目から10単位以上選択
総合的な学習の時間の理論と方法	1	選択	
道德教育の理論と方法	2	選択	
特別活動の理論と方法	2	選択	
生徒指導と進路指導の理論と方法	2	選択	
学校カウンセリング	2	選択	
ICT活用の理論と方法	1	選択	
初等科教育法(国語)	2	選択	
初等科教育法(社会)	2	選択	
初等科教育法(算数)	2	選択	
初等科教育法(理科)	2	選択	
初等科教育法(生活)	2	選択	
初等科教育法(音楽)	2	選択	
初等科教育法(図画工作)	2	選択	
初等科教育法(家庭)	2	選択	
初等科教育法(体育)	2	選択	
初等科教育法(外国語)	2	選択	
国語科教育論	1	選択	
社会科教育論	1	選択	
算数科教育論	1	選択	
理科教育論	1	選択	
体育実技	1	選択	
外国語科教育論	1	選択	
政治学総論Ⅰ	2	選択	
倫理学総論	2	選択	
教育実習(幼小)	4	選択	
事前・事後指導(幼小)	1	選択	
教職実践演習	2	選択	
卒業論文	8	必修	

社会学主プログラム				単位数：48
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
社会学総論	2	必修	以下の科目から6～8単位選択	
人間科学論	2	選択		
子ども学総論	2	選択		
人間と発達	2	選択		
教職概論(1)	1	選択		
教職概論(2)	1	選択		
社会学選択基礎	2	選択	以下の科目から14～16単位選択(内☆の科目からは2単位まで、※の科目からは、6単位までを含めることができる。)	
社会学高大接続セミナー	1	選択		
☆政治学総論Ⅰ	2	選択		
☆政治学総論Ⅱ	2	選択		
☆経済学総論Ⅰ	2	選択		
☆経済学総論Ⅱ	2	選択		
☆法学総論Ⅰ	2	選択		
☆法学総論Ⅱ	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
☆哲学総論	2	選択	
☆倫理学総論	2	選択	
ジェンダー社会論	2	選択	
現代社会論	2	選択	
現代生活論	2	選択	
社会意識論	2	選択	
比較社会論	2	選択	
社会政策論Ⅰ	2	選択	
社会政策論Ⅱ	2	選択	
社会問題論(1)	1	選択	
社会問題論(2)	1	選択	
社会調査の設計と実施	2	選択	
調査データの基礎集計	2	選択	
社会統計学基礎	2	選択	
質的研究法	2	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	
学校社会学特殊講義	2	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
文化人類学特殊講義	2	選択	
民族誌学特殊講義	2	選択	
子ども社会学概論(1)	1	選択	
子ども社会学概論(2)	1	選択	
フィールドワーク方法論	2	選択	
人間と空間	2	選択	
都市地理学	2	選択	
※社会福祉学	2	選択	
※家族社会学(1)	1	選択	
※家族社会学(2)	1	選択	
※老年学	2	選択	
※地域社会論	2	選択	
※児童福祉論	2	選択	
※応用生活統計学(1)	1	選択	
※応用生活統計学(2)	1	選択	
※社会統計学Ⅰ	2	選択	
ジェンダー論演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から 10～12単位選択
ジェンダー論演習Ⅱ	2	選択	
現代社会論演習Ⅰ	2	選択	
現代社会論演習Ⅱ	2	選択	
社会保障論演習Ⅰ	2	選択	
社会保障論演習Ⅱ	2	選択	
社会政策論演習Ⅰ	2	選択	
社会政策論演習Ⅱ	2	選択	
現代生活論演習Ⅰ	2	選択	
現代生活論演習Ⅱ	2	選択	
社会意識論演習Ⅰ	2	選択	
社会意識論演習Ⅱ	2	選択	
社会学方法論演習Ⅰ	2	選択	
社会学方法論演習Ⅱ	2	選択	
教育社会学演習Ⅰ	2	選択	
教育社会学演習Ⅱ	2	選択	
学校社会学演習Ⅰ	2	選択	
学校社会学演習Ⅱ	2	選択	
文化人類学演習Ⅰ	2	選択	
文化人類学演習Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅰ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅱ	2	選択	
社会調査法Ⅰ	2	必修	
社会調査法Ⅱ	2	必修	
社会学研究指導Ⅰ	2	必修	
社会学研究指導Ⅱ	2	必修	
卒業論文	8	必修	

子ども学主プログラム				単位数：50
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
子ども学総論	2	必修	必修の科目を含めて6単位選択	
教職概論(1)	1	必修		
教職概論(2)	1	必修		
社会学総論	2	選択		
人間と発達	2	選択		
人間科学論	2	選択		
幼児教育方法学概論(1)	1	必修	必修の科目を含めて12単位以上選択	
幼児教育方法学概論(2)	1	必修		
幼児教育課程概論(1)	1	必修		
幼児教育課程概論(2)	1	必修		
子ども社会学概論(1)	1	必修		
子ども社会学概論(2)	1	必修		
幼児教育制度概論(1)	1	必修		
幼児教育制度概論(2)	1	必修		
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	必修		
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	必修		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
幼児教育学原論(1)	1	必修	
幼児教育学原論(2)	1	必修	
子ども生活論(1)	1	選択	
子ども生活論(2)	1	選択	
人間関係論(1)	1	選択	
人間関係論(2)	1	選択	
子ども文化論(1)	1	選択	
子ども文化論(2)	1	選択	
子ども学特殊講義(1)	1	選択	
子ども学特殊講義(2)	1	選択	
子ども学選択基礎	2	選択	
子ども学高大接続セミナー	1	選択	
幼児教育学演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から 10単位以上選択
幼児教育学演習Ⅱ	2	選択	
保育学演習Ⅰ	2	選択	
保育学演習Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅰ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅱ	2	選択	
家庭教育論演習Ⅰ	2	選択	
家庭教育論演習Ⅱ	2	選択	
幼児教育制度演習Ⅰ	2	選択	
幼児教育制度演習Ⅱ	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅰ	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅱ	2	選択	
乳幼児心理学演習Ⅰ	2	選択	
乳幼児心理学演習Ⅱ	2	選択	
子ども学調査法演習Ⅰ	2	選択	
子ども学調査法演習Ⅱ	2	選択	
子ども学研究指導Ⅰ	1	必修	
子ども学研究指導Ⅱ	1	必修	
卒業論文	8	必修	
ジェンダー社会論	2	選択	以下の科目から2 単位以上選択
現代社会論	2	選択	
社会意識論	2	選択	
社会政策論Ⅰ	2	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
教育開発概論(1)	1	選択	
教育開発概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
児童福祉論	2	選択	
発達臨床心理学	2	選択	
臨床心理学概論(臨床心理学概論)	2	選択	
子ども学フィールドワーク	2	選択	以下の科目から 10単位以上選択 (「子ども学フィールドワーク」、「子ども学インターンシップ」、「子ども学インターンシップⅡ」のいずれか1科目以上を必ず履修すること)
子ども学インターンシップⅠ	1	選択	
子ども学インターンシップⅡ	1	選択	
学校インターンシップ	1	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択	
保育内容指導法(健康)	2	選択	
保育内容指導法(人間関係)	2	選択	
保育内容指導法(環境)	2	選択	
保育内容指導法(言葉)	2	選択	
保育内容指導法(表現Ⅰ)	2	選択	
保育内容指導法(表現Ⅱ)	2	選択	
子どもと健康	1	選択	
子どもと人間関係	1	選択	
子どもと環境	1	選択	
子どもと言葉	1	選択	
子どもと表現	1	選択	
教育・発達心理学概論(1)	1	選択	
教育・発達心理学概論(2)	1	選択	
特別支援教育概論(1)	1	選択	
特別支援教育概論(2)	1	選択	
教育実習(幼小)	4	選択	
事前・事後指導(幼小)	1	選択	
教職実践演習	2	選択	

グローバル文化学主プログラム				単位数：44
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から 所属する学科が 開講する科目4 単位選択	
倫理学基礎論	2	選択		
美術史基礎論	2	選択		
比較文化史	2	選択		
比較社会史	2	選択		
人間と空間	2	選択		
自然と人間	2	選択		
日本文学概説	2	選択		
日本語学通論	2	選択		
英語圏言語文学入門(1)	1	選択		
英語圏言語文学入門(2)	1	選択		
中国古典文学史(宋～清)	2	選択		
中国現代文学史	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
言語学入門Ⅰ(1)	1	選択	
言語学入門Ⅰ(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅰ	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅱ	2	選択	
社会学総論	2	選択	
人間と発達	2	選択	
人間科学論	2	選択	
子ども学総論	2	選択	
グローバル文化学総論	2	必修	必修の科目を含めて8単位以上選択
国際関係論	2	選択	
政治学総論Ⅰ	2	選択	
政治学総論Ⅱ	2	選択	
グローバル化と経済	2	選択	
グローバル化と社会	2	選択	
比較ジェンダー論	2	選択	
グローバル・ヒストリー	2	選択	
地域研究方法論	2	選択	
文化理論研究	2	選択	
多文化間交流論(1)	1	選択	
多文化間交流論(2)	1	選択	
言語と文化(1)	1	選択	
言語と文化(2)	1	選択	
国際協力学	2	選択	
グローバル文化学選択基礎	2	選択	
グローバル文化学高大接続セミナー	1	選択	
文化変動論Ⅰ	2	選択	以下の科目から4単位以上選択
文化変動論Ⅱ	2	選択	
イスラム社会文化論Ⅰ(1)	1	選択	
イスラム社会文化論Ⅰ(2)	1	選択	
イスラム社会文化論Ⅱ	2	選択	
アジア社会とジェンダーⅠ	2	選択	
アジア社会とジェンダーⅡ	2	選択	
対日交流論	2	選択	
中国社会文化論	2	選択	
東南アジア社会文化論	2	選択	
アフリカ社会文化論	2	選択	
オセアニア社会文化論	2	選択	
地域研究特論	2	選択	
英語圏事情(1)	1	選択	
英語圏事情(2)	1	選択	
文化と人間関係Ⅰ	2	選択	以下の科目から4単位以上選択
文化と人間関係Ⅱ	2	選択	
グローバル化と言語教育Ⅰ(1)	1	選択	
グローバル化と言語教育Ⅰ(2)	1	選択	
グローバル化と言語教育Ⅱ(1)	1	選択	
グローバル化と言語教育Ⅱ(2)	1	選択	
表現行動論Ⅰ	2	選択	
表現行動論Ⅱ	2	選択	
言語と社会	2	選択	
多文化共生論	2	選択	
国際交流論Ⅰ	2	選択	
国際交流論Ⅱ	2	選択	
多文化交流特論	2	選択	
国際協力方法論Ⅰ	2	選択	以下の科目から4単位以上選択
国際協力方法論Ⅱ(1)	1	選択	
国際協力方法論Ⅱ(2)	1	選択	
平和構築論Ⅰ	2	選択	
平和構築論Ⅱ(1)	1	選択	
平和構築論Ⅱ(2)	1	選択	
国際開発論Ⅰ	2	選択	
国際開発論Ⅱ	2	選択	
グローバル化と労働Ⅰ	2	選択	
グローバル化と労働Ⅱ	2	選択	
国際機構論	2	選択	
国際教育協力論	2	選択	
N G O / N P O 論	2	選択	
地域開発論	2	選択	
国際金融論	2	選択	
国際協力特論	2	選択	
多文化交流実習Ⅰ	2	選択	以下の科目から4単位以上選択
多文化交流実習Ⅱ	2	選択	
多文化交流実習Ⅲ	2	選択	
多文化交流実習Ⅳ	2	選択	
多文化交流実習Ⅴ	2	選択	
グローバル文化学実習Ⅰ	2	選択	
グローバル文化学実習Ⅱ	2	選択	
地域研究実習Ⅰ	2	選択	
地域研究実習Ⅱ	2	選択	
国際協力実習Ⅰ	2	選択	
国際協力実習Ⅱ	2	選択	
国際協力実習Ⅲ	2	選択	
フィールドワーク方法論	2	選択	
グローバル文化学方法論	2	必修	
グローバル文化学特論	2	必修	
卒業研究	8	必修	

別表第5 専門教育科目(第6条関係)

強化プログラム

哲学・倫理学・美術史強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
哲学演習 AⅠ	2	選択	以下の科目から18～20単位選択	
哲学演習 AⅡ	2	選択		
哲学演習 AⅢ	2	選択		
哲学演習 AⅣ	2	選択		
哲学演習 AⅤ	2	選択		
哲学演習 AⅥ	2	選択		
哲学演習 BⅠ	2	選択		
哲学演習 BⅡ	2	選択		
哲学演習 BⅢ	2	選択		
哲学演習 BⅣ	2	選択		
哲学演習 BⅤ	2	選択		
哲学演習 BⅥ	2	選択		
倫理学演習 A	4	選択		
倫理学演習 B	4	選択		
倫理思想史演習 A	4	選択		
倫理思想史演習 B	4	選択		
日本倫理思想史資料講読	4	選択		
西洋倫理思想史資料講読	4	選択		
宗教と倫理学	2	選択		
生命と倫理学	2	選択		
日本の社会と文化	2	選択		
日本文化の解釈学Ⅰ	2	選択		
日本文化の解釈学Ⅱ	2	選択		
日本文化の解釈学Ⅲ	2	選択		
形象分析学演習Ⅰ	4	選択		
形象分析学演習Ⅱ	4	選択		
形象分析学演習Ⅲ	4	選択		
形象分析学特殊講義Ⅰ	4	選択		
形象分析学特殊講義Ⅱ	4	選択		
形象分析学特殊講義Ⅲ	4	選択		
美術史学演習Ⅰ	4	選択		
美術史学演習Ⅱ	4	選択		
美術史学演習Ⅲ	4	選択		
美術史学特殊講義Ⅰ	4	選択		
美術史学特殊講義Ⅱ	4	選択		
美術史学特殊講義Ⅲ	4	選択		
哲学 A	2	選択		
哲学 B	2	選択		
哲学 C	2	選択		
哲学 D	2	選択		
哲学 E	2	選択		
哲学 F	2	選択		
哲学 G	2	選択		
哲学 H	2	選択		
倫理学特殊講義 A	2	選択		
倫理学特殊講義 B	2	選択		
倫理学特殊講義 C	2	選択		
倫理学特殊講義 D	2	選択		
倫理学特殊講義 E	2	選択		
倫理学特殊講義 F	2	選択		
倫理思想史特殊講義 A	2	選択		
倫理思想史特殊講義 B	2	選択		
倫理思想史特殊講義 C	2	選択		
倫理思想史特殊講義 D	2	選択		
倫理思想史特殊講義 E	2	選択		
倫理思想史特殊講義 F	2	選択		
形象分析学調査演習	2	選択		
社会学通論Ⅰ	2	選択	以下の科目から0～2単位選択	
社会学通論Ⅱ	2	選択		
経済学総論Ⅰ	2	選択		
経済学総論Ⅱ	2	選択		

比較歴史学強化プログラム

比較歴史学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
日本文化史概論	2	選択	以下の科目から18～20単位選択	
日本史概説	2	選択		
アジア史概説	2	選択		
西洋史概説	2	選択		
日本史入門講読	2	選択		
外国史入門講読Ⅰ	2	選択		
外国史入門講読Ⅱ	2	選択		
日本史研究法(1)	1	選択		
日本史研究法(2)	1	選択		
アジア史研究法(1)	1	選択		
アジア史研究法(2)	1	選択		
西洋史研究法(1)	1	選択		
西洋史研究法(2)	1	選択		
グローバル・ヒストリー	2	選択		
日本史講読	2	選択		

V

諸規程等(規則集)

授業科目	単位数	必修・選択	備考
西洋史講読	2	選択	
古文書学	2	選択	
歴史史料学	2	選択	
日本史論文講読	2	選択	
外国史論文講読	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅰ	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅱ	2	選択	
歴史史料調査Ⅰ	2	選択	
歴史史料調査Ⅱ	2	選択	
歴史現地調査Ⅰ	2	選択	
歴史現地調査Ⅱ	2	選択	
考古学通論Ⅰ	2	選択	
考古学通論Ⅱ	2	選択	
日本古代中世文化史	2	選択	
日本近世近代文化史	2	選択	
日本古代中世特殊講義	2	選択	
日本近世近代史特殊講義	2	選択	
日本古代中世政治史	2	選択	
日本近世近代政治史	2	選択	
日本古代中世社会経済史	2	選択	
日本近世近代社会経済史	2	選択	
東アジア政治史	2	選択	
西アジア政治史	2	選択	
東アジア社会経済史	2	選択	
西アジア社会経済史	2	選択	
東アジアの歴史と文化	2	選択	
西アジアの歴史と文化	2	選択	
比較アジア社会史論Ⅰ	2	選択	
比較アジア社会史論Ⅱ	2	選択	
比較アジア文化史論Ⅰ	2	選択	
比較アジア文化史論Ⅱ	2	選択	
西洋政治史	2	選択	
西洋社会経済史	2	選択	
西洋社会史	2	選択	
西洋中世史	2	選択	
西洋近世史	2	選択	
西洋近現代史	2	選択	
西洋文化史	2	選択	
フランス史	2	選択	
イギリス史	2	選択	
ロシア東欧史	2	選択	
歴史学文献講読Ⅰ	2	選択	
歴史学文献講読Ⅱ	2	選択	
歴史学文献講読Ⅲ	2	選択	
都市社会史	2	選択	
歴史情報論	2	選択	
比較ジェンダー史	2	選択	
西洋史学の探究	2	選択	
日本古代史演習Ⅰ	2	選択	
日本古代史演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史演習Ⅰ	2	選択	
日本中世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近世史演習Ⅰ	2	選択	
日本近世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史演習Ⅰ	2	選択	
日本近代史演習Ⅱ	2	選択	
日本古代史料演習Ⅰ	2	選択	
日本古代史料演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史料演習Ⅰ	2	選択	
日本中世史料演習Ⅱ	2	選択	
日本近世史料演習Ⅰ	2	選択	
日本近世史料演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史料演習Ⅰ	2	選択	
日本近代史料演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史演習Ⅰ	2	選択	
東アジア史演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史演習Ⅰ	2	選択	
西アジア史演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史料演習Ⅰ	2	選択	
東アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史料演習Ⅰ	2	選択	
西アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋政治史演習Ⅰ	2	選択	
西洋政治史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会史演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会経済史演習Ⅱ	2	選択	
西洋政治史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋政治史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会経済史料演習Ⅱ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅰ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
独語圏文化講読演習Ⅲ	2	選択	
社会学通論Ⅰ	2	選択	以下の科目から0～2単位選択
社会学通論Ⅱ	2	選択	
経済学総論Ⅰ	2	選択	
経済学総論Ⅱ	2	選択	

地理環境学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
地図学	2	選択	以下の科目から18～20単位選択	
都市地理学	2	選択		
経済地理学	2	選択		
社会地理学	2	選択		
自然地理学	2	選択		
福祉の地理学	2	選択		
測量学	2	選択		
地誌学	2	選択		
自然地理学フィールドワーク	2	選択		
人文地理学フィールドワーク	2	選択		
地理学分析基礎演習Ⅰ	2	選択		
地理学分析基礎演習Ⅱ	2	選択		
地理情報学	2	選択		
地理情報学演習	2	選択		
地域分析学演習Ⅰ	2	選択		
環境地理学演習Ⅰ	2	選択		
自然地理学演習Ⅰ	2	選択		
社会地理学演習Ⅰ	2	選択		
都市地理学演習Ⅰ	2	選択		
地理環境学演習Ⅰ	2	選択		
地理環境学演習Ⅱ	2	選択		
地理環境学演習Ⅲ	2	選択		
地理環境学演習Ⅳ	2	選択		
フィールドワーク方法論	2	選択		
考古学通論Ⅰ	2	選択	以下の科目から0～2単位選択	
考古学通論Ⅱ	2	選択		
文化理論研究	2	選択		
地域開発論	2	選択		
グローバル化と経済	2	選択		
国際協力学	2	選択		
国際関係論	2	選択		
人口学	2	選択		
老年学	2	選択		
地域社会論	2	選択		
社会政策論Ⅰ	2	選択		
社会政策論Ⅱ	2	選択		
民俗学	2	選択		
歴史民俗文化論(1)	1	選択		
歴史民俗文化論(2)	1	選択		
住居学概論	2	選択		
建築環境計画論	2	選択		
環境デザイン論	2	選択		
西洋建築史	2	選択		
地球環境科学	2	選択		
宇宙・地球科学	2	選択		
大気・海洋科学概論	2	選択		
地学基礎実験	2	選択		
地史・古生物学概論	2	選択		
生物系統地理学	2	選択		
植物生態学	2	選択		
動物生態学	2	選択		
生物統計学	2	選択		
環境情報論	2	選択		
第四紀学	2	選択		
社会学通論Ⅰ	2	選択	以下の科目から0～2単位選択	
社会学通論Ⅱ	2	選択		
経済学総論Ⅰ	2	選択		
経済学総論Ⅱ	2	選択		

日本語・日本文学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
日本古典文学史論(上代)	2	選択	以下の科目から4単位選択	
日本古典文学史論(中古)	2	選択		
日本古典文学史論(中世)	2	選択		
日本古典文学史論(近世)	2	選択		
日本近代文学史論(近代)	2	選択		
日本近代文学史論(現代)	2	選択	以下の科目から2単位選択	
日本語語彙論	2	選択		
日本語文法総論	2	選択		
日本語音声表現論	2	選択	以下の科目から4単位選択	
日本語文章表現論	2	選択		
日本文学論講読Ⅰ	2	選択		
日本文学論講読Ⅱ	2	選択		
日本文学論講読Ⅲ	2	選択		
日本文学論講読Ⅳ	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本語文化論Ⅰ	2	選択	以下の科目から 6単位選択
日本語文化論Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論基礎演習Ⅱ	2	選択	
日本語学基礎演習	2	選択	
日本語学特殊研究	2	選択	
日本語史特殊研究	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(上代)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中古)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中世)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(近世)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(近代)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(現代)	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
書道Ⅰ	2	選択	以下の科目から 2単位選択
書道Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論演習 AⅠ	2	選択	以下の科目から 2単位選択
日本古典文学論演習 AⅡ	2	選択	
日本古典文学論演習 BⅠ	2	選択	
日本古典文学論演習 BⅡ	2	選択	
日本古典文学論演習 CⅠ	2	選択	
日本古典文学論演習 CⅡ	2	選択	
日本近代文学論演習 AⅠ	2	選択	
日本近代文学論演習 AⅡ	2	選択	
日本近代文学論演習 BⅠ	2	選択	
日本近代文学論演習 BⅡ	2	選択	
日本語学演習(日本語史)Ⅰ	2	選択	
日本語学演習(日本語史)Ⅱ	2	選択	
日本語学演習(近・現代語)Ⅰ	2	選択	
日本語学演習(近・現代語)Ⅱ	2	選択	

中国語圏言語文化強化プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
中国言語文化論演習	2	必修	以下の科目から、 主プログラムに おいて既修得の 科目を除く4単位 選択
中国事情	2	必修	
中国語会話演習	2	必修	
中国語ヒアリング演習	2	必修	
中国現代作品論	2	必修	
中国語文法論	2	必修	
中国語学文献講読	2	必修	
中国古典詩講義演習	2	必修	
中国文化論	2	選択	
中国現代作家論	2	選択	
日中対照言語学	2	選択	
中国語統語論	2	選択	
中国古典文献講読入門	2	選択	
中国古典文献講読基礎	2	選択	
中国文学古典講読	2	選択	
中国文学古典演習	2	選択	

英語圏言語文化強化プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
英文法演習	2	選択	以下の科目から 6～8単位選択
英語音声学演習	2	選択	
英文学史Ⅰ(1)	1	選択	
英文学史Ⅰ(2)	1	選択	
英文学史Ⅱ	2	選択	
米文学史Ⅰ(1)	1	選択	
米文学史Ⅰ(2)	1	選択	
米文学史Ⅱ	2	選択	
英米文学演習(中級)	2	選択	
英米文学演習(上級)(1)	1	選択	
英米文学演習(上級)(2)	1	選択	
中国文化論	2	選択	以下の科目から 12～14単位選択
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅰ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅲ	2	選択	
英作文演習(上級)	2	選択	
英作文演習(中級)	2	選択	
英会話演習(中級)	2	選択	
英会話演習(上級)	2	選択	
英文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅳ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅴ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
英文学特殊講義Ⅵ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅶ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅷ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅰ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅳ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅴ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅵ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅶ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅷ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅰ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅱ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	

仏語圏言語文化強化プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
欧州文化論Ⅰ	2	選択	以下の科目から 20単位選択
欧州文化論Ⅱ	2	選択	
欧州文化論Ⅲ	2	選択	
欧州文化論Ⅳ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅲ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅳ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅰ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅱ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅲ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅳ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅴ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅵ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅰ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅱ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅲ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅰ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅱ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅲ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	
フランス史	2	選択	
西洋近世史	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅰ	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅰ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅲ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅳ	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅰ	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅱ	2	選択	
中級仏作文演習Ⅰ	2	選択	
中級仏作文演習Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化実習Ⅰ	2	選択	
仏語圏言語文化実習Ⅱ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅰ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅲ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅳ	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅰ	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅱ	2	選択	
中級仏語学演習Ⅰ	2	選択	
中級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語学演習Ⅰ	2	選択	
上級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅰ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅱ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅲ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅳ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅰ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅲ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
現代仏文学演習Ⅰ	2	選択	
現代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
仏文学特殊研究	2	選択	
仏文学特別研究	2	選択	

教育科学強化プログラム			単位数：14
授業科目	単位数	必修・選択	備考
教育開発概論(1)	1	選択	以下の科目から2 単位以上選択
教育開発概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
教育科学概論	2	選択	
教育思想特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
教育人間学特殊講義	2	選択	
教育史特殊講義	2	選択	
教育制度特殊講義	2	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	
学校社会学特殊講義	2	選択	
教育方法学特殊講義	2	選択	
教育課程特殊講義	2	選択	
教育開発特殊講義	2	選択	
比較教育特殊講義	2	選択	
教育心理学特殊講義	2	選択	
発達心理学特殊講義	2	選択	
特別支援教育特殊講義	2	選択	
障害児教育特殊講義	2	選択	
教育科学特殊講義Ⅰ	2	選択	
教育科学特殊講義Ⅱ	2	選択	
教育思想演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
教育思想演習Ⅱ	2	選択	
教育人間学演習Ⅰ	2	選択	
教育人間学演習Ⅱ	2	選択	
教育史演習Ⅰ	2	選択	
教育史演習Ⅱ	2	選択	
教育制度演習Ⅰ	2	選択	
教育制度演習Ⅱ	2	選択	
教育社会学演習Ⅰ	2	選択	
教育社会学演習Ⅱ	2	選択	
学校社会学演習Ⅰ	2	選択	
学校社会学演習Ⅱ	2	選択	
教育方法学演習Ⅰ	2	選択	
教育方法学演習Ⅱ	2	選択	
教育課程演習Ⅰ	2	選択	
教育課程演習Ⅱ	2	選択	
教育開発演習Ⅰ	2	選択	
教育開発演習Ⅱ	2	選択	
比較教育演習Ⅰ	2	選択	
比較教育演習Ⅱ	2	選択	
教育心理学演習Ⅰ	2	選択	
教育心理学演習Ⅱ	2	選択	
発達心理学演習Ⅰ	2	選択	
発達心理学演習Ⅱ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅰ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅱ	2	選択	
障害児教育演習Ⅰ	2	選択	
障害児教育演習Ⅱ	2	選択	
教育科学演習AⅠ	2	選択	
教育科学演習AⅡ	2	選択	
教育科学演習BⅠ	2	選択	
教育科学演習BⅡ	2	選択	
法学総論Ⅰ	2	選択	以下の科目から0 単位以上選択
法学総論Ⅱ	2	選択	
政治学総論Ⅱ	2	選択	
経済学総論Ⅰ	2	選択	
経済学総論Ⅱ	2	選択	
哲学総論	2	選択	
教育実習(中高)	1、2又は4	選択	
事前・事後指導(中高)	1	選択	

社会学強化プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
☆政治学総論Ⅰ	2	選択	以下の科目から 12単位以上選択 (内☆の科目から は4単位まで、※ の科目からは、主 プログラムで取得 するものも含め て、6単位までを 含めることができ る。)
☆政治学総論Ⅱ	2	選択	
☆経済学総論Ⅰ	2	選択	
☆経済学総論Ⅱ	2	選択	
ジェンダー社会学	2	選択	
現代社会学	2	選択	
現代生活論	2	選択	
社会意識論	2	選択	
比較社会論	2	選択	
社会政策論Ⅰ	2	選択	
社会政策論Ⅱ	2	選択	
社会問題論(1)	1	選択	
社会問題論(2)	1	選択	
社会調査の設計と実施	2	選択	
調査データの基礎集計	2	選択	
社会統計学基礎	2	選択	
質的研究法	2	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	
学校社会学特殊講義	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
文化人類学特殊講義	2	選択	
民族誌学特殊講義	2	選択	
子ども社会学概論(1)	1	選択	
子ども社会学概論(2)	1	選択	
※社会福祉学	2	選択	
※家族社会学(1)	1	選択	
※家族社会学(2)	1	選択	
※老年学	2	選択	
※地域社会論	2	選択	
※児童福祉論	2	選択	
※応用生活統計学(1)	1	選択	以下の科目から 6単位以上選択
※応用生活統計学(2)	1	選択	
※社会統計学Ⅰ	2	選択	
ジェンダー論演習Ⅰ	2	選択	
ジェンダー論演習Ⅱ	2	選択	
現代社会論演習Ⅰ	2	選択	
現代社会論演習Ⅱ	2	選択	
社会保障論演習Ⅰ	2	選択	
社会保障論演習Ⅱ	2	選択	
社会政策論演習Ⅰ	2	選択	
社会政策論演習Ⅱ	2	選択	
現代生活論演習Ⅰ	2	選択	
現代生活論演習Ⅱ	2	選択	
社会意識論演習Ⅰ	2	選択	
社会意識論演習Ⅱ	2	選択	
社会学方法論演習Ⅰ	2	選択	
社会学方法論演習Ⅱ	2	選択	
文化人類学演習Ⅰ	2	選択	
文化人類学演習Ⅱ	2	選択	

子ども学強化プログラム			単位数：18
授業科目	単位数	必修・選択	備考
ジェンダー社会学	2	選択	以下の科目から2 単位以上選択
現代社会論	2	選択	
社会意識論	2	選択	
社会政策論Ⅰ	2	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
教育開発概論(1)	1	選択	
教育開発概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
児童福祉論	2	選択	
発達臨床心理学	2	選択	
臨床心理学概論(臨床心理学概論)	2	選択	
子ども生活論(1)	1	選択	以下の科目から4 単位以上選択
子ども生活論(2)	1	選択	
人間関係論(1)	1	選択	
人間関係論(2)	1	選択	
子ども文化論(1)	1	選択	
子ども文化論(2)	1	選択	
子ども学特殊講義(1)	1	選択	
子ども学特殊講義(2)	1	選択	
幼児教育学演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から6 単位以上選択
幼児教育学演習Ⅱ	2	選択	
保育学演習Ⅰ	2	選択	
保育学演習Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅰ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅱ	2	選択	
家庭教育論演習Ⅰ	2	選択	
家庭教育論演習Ⅱ	2	選択	
幼児教育制度演習Ⅰ	2	選択	
幼児教育制度演習Ⅱ	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅰ	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅱ	2	選択	
乳幼児心理学演習Ⅰ	2	選択	
乳幼児心理学演習Ⅱ	2	選択	
子ども学調査法演習Ⅰ	2	選択	
子ども学調査法演習Ⅱ	2	選択	
教育思想演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から0 単位以上選択
教育思想演習Ⅱ	2	選択	
教育人間学演習Ⅰ	2	選択	
教育人間学演習Ⅱ	2	選択	
教育史演習Ⅰ	2	選択	
教育史演習Ⅱ	2	選択	
教育制度演習Ⅰ	2	選択	
教育制度演習Ⅱ	2	選択	
教育心理学演習Ⅰ	2	選択	
教育心理学演習Ⅱ	2	選択	
発達心理学演習Ⅰ	2	選択	
発達心理学演習Ⅱ	2	選択	
教育社会学演習Ⅰ	2	選択	
教育社会学演習Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
学校社会学演習Ⅰ	2	選択	
学校社会学演習Ⅱ	2	選択	
教育方法学演習Ⅰ	2	選択	
教育方法学演習Ⅱ	2	選択	
教育課程演習Ⅰ	2	選択	
教育課程演習Ⅱ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅰ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅱ	2	選択	
障害児教育演習Ⅰ	2	選択	
障害児教育演習Ⅱ	2	選択	
教育開発演習Ⅰ	2	選択	
教育開発演習Ⅱ	2	選択	
比較教育演習Ⅰ	2	選択	
比較教育演習Ⅱ	2	選択	
子ども学フィールドワーク	2	選択	以下の科目から0 単位以上選択
子ども学インターンシップⅠ	1	選択	
子ども学インターンシップⅡ	1	選択	
学校インターンシップ	1	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択	
子どもと健康	1	選択	
子どもと人間関係	1	選択	
子どもと環境	1	選択	
子どもと言葉	1	選択	
子どもと表現	1	選択	
教育・発達心理学概論(1)	1	選択	
教育・発達心理学概論(2)	1	選択	
特別支援教育概論(1)	1	選択	
特別支援教育概論(2)	1	選択	
教育思想概論(1)	1	選択	
教育思想概論(2)	1	選択	
教育史概論(1)	1	選択	
教育史概論(2)	1	選択	
教育制度概論	2	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
教育方法学概論(1)	1	選択	
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育課程概論(1)	1	選択	
教育課程概論(2)	1	選択	

別表第6 専門教育科目(第6条関係)
副プログラム

哲学・倫理学・美術史副プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から 20単位選択	
倫理学基礎論	2	選択		
美術史基礎論	2	選択		
哲学概論Ⅰ	2	選択		
哲学概論Ⅱ	2	選択		
倫理学概論Ⅰ	2	選択		
倫理学概論Ⅱ	2	選択		
哲学A	2	選択		
哲学B	2	選択		
哲学C	2	選択		
哲学D	2	選択		
哲学E	2	選択		
哲学F	2	選択		
哲学G	2	選択		
哲学H	2	選択		
日本倫理思想史Ⅰ	2	選択		
日本倫理思想史Ⅱ	2	選択		
宗教と倫理学	2	選択		
生命と倫理学	2	選択		
日本の社会と文化	2	選択		
倫理学特殊講義A	2	選択		
倫理学特殊講義B	2	選択		
倫理学特殊講義C	2	選択		
倫理学特殊講義D	2	選択		
倫理学特殊講義E	2	選択		
倫理学特殊講義F	2	選択		
倫理思想史特殊講義A	2	選択		
倫理思想史特殊講義B	2	選択		
倫理思想史特殊講義C	2	選択		
倫理思想史特殊講義D	2	選択		
倫理思想史特殊講義E	2	選択		
倫理思想史特殊講義F	2	選択		
形象分析学特殊講義Ⅰ	4	選択		
形象分析学特殊講義Ⅱ	4	選択		
形象分析学特殊講義Ⅲ	4	選択		
西洋美術史AⅠ	2	選択		
西洋美術史AⅡ	2	選択		
西洋美術史AⅢ	2	選択		
西洋美術史BⅠ	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
西洋美術史BⅡ	2	選択	
西洋美術史BⅢ	2	選択	
東洋美術史AⅠ	2	選択	
東洋美術史AⅡ	2	選択	
東洋美術史AⅢ	2	選択	
東洋美術史BⅠ	2	選択	
東洋美術史BⅡ	2	選択	
東洋美術史BⅢ	2	選択	
美術史学特殊講義Ⅰ	4	選択	
美術史学特殊講義Ⅱ	4	選択	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	選択	

比較歴史学副プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
比較文化史	2	選択	以下の科目から 20単位選択	
比較社会史	2	選択		
日本文化史概論	2	選択		
日本史概説	2	選択		
アジア史概説	2	選択		
西洋史概説	2	選択		
日本史研究法(1)	1	選択		
日本史研究法(2)	1	選択		
アジア史研究法(1)	1	選択		
アジア史研究法(2)	1	選択		
西洋史研究法(1)	1	選択		
西洋史研究法(2)	1	選択		
グローバル・ヒストリー	2	選択		
日本史講読	2	選択		
アジア史講読	2	選択		
西洋史講読	2	選択		
古文書学	2	選択		
歴史史料科学	2	選択		
歩いて学ぶ比較歴史Ⅰ	2	選択		
歩いて学ぶ比較歴史Ⅱ	2	選択		
歴史史料調査Ⅰ	2	選択		
歴史史料調査Ⅱ	2	選択		
歴史現地調査Ⅰ	2	選択		
歴史現地調査Ⅱ	2	選択		
考古学通論Ⅰ	2	選択		
考古学通論Ⅱ	2	選択		
日本古代中世文化史	2	選択		
日本近世近代文化史	2	選択		
日本古代中世史特殊講義	2	選択		
日本近世近代史特殊講義	2	選択		
日本古代中世政治史	2	選択		
日本近世近代政治史	2	選択		
日本古代中世社会経済史	2	選択		
日本近世近代社会経済史	2	選択		
東アジア政治史	2	選択		
西アジア政治史	2	選択		
東アジア社会経済史	2	選択		
西アジア社会経済史	2	選択		
東アジアの歴史と文化	2	選択		
西アジアの歴史と文化	2	選択		
比較アジア社会史論Ⅰ	2	選択		
比較アジア社会史論Ⅱ	2	選択		
比較アジア文化史論Ⅰ	2	選択		
比較アジア文化史論Ⅱ	2	選択		
西洋政治史	2	選択		
西洋社会経済史	2	選択		
西洋社会史	2	選択		
西洋中世史	2	選択		
西洋近世史	2	選択		
西洋近現代史	2	選択		
西洋文化史	2	選択		
フランス史	2	選択		
イギリス史	2	選択		
ロシア東欧史	2	選択		
歴史学文献講読Ⅰ	2	選択		
歴史学文献講読Ⅱ	2	選択		
歴史学文献講読Ⅲ	2	選択		
都市社会史	2	選択		
比較ジェンダー史	2	選択		
日本古代史演習Ⅰ	2	選択		
日本古代史演習Ⅱ	2	選択		
日本中世史演習Ⅰ	2	選択		
日本中世史演習Ⅱ	2	選択		
日本近世史演習Ⅰ	2	選択		
日本近世史演習Ⅱ	2	選択		
日本近代史演習Ⅰ	2	選択		
日本近代史演習Ⅱ	2	選択		
日本古代史料演習Ⅰ	2	選択		
日本古代史料演習Ⅱ	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本中世史料演習Ⅰ	2	選択	
日本中世史料演習Ⅱ	2	選択	
日本近世史料演習Ⅰ	2	選択	
日本近世史料演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史料演習Ⅰ	2	選択	
日本近代史料演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史演習Ⅰ	2	選択	
東アジア史演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史演習Ⅰ	2	選択	
西アジア史演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史料演習Ⅰ	2	選択	
東アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史料演習Ⅰ	2	選択	
西アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋政治史演習Ⅰ	2	選択	
西洋政治史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会史演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会経済史演習Ⅱ	2	選択	
西洋政治史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋政治史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史料演習Ⅰ	2	選択	
西洋社会経済史料演習Ⅱ	2	選択	

地理環境学副プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と空間	2	選択	以下の科目から 12単位選択(共創 工学部文化情報工 学科のみ10単位 選択)
自然と人間	2	選択	
地誌学	2	選択	
都市地理学	2	選択	
経済地理学	2	選択	
社会地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
福祉の地理学	2	選択	
地理学英書講読	2	選択	以下の科目から 4単位選択(*の 科目は共創工学部 文化情報工学科の み本プログラムと して履修できる)
地図学	2	選択	
測量学	2	選択	
地理学分析基礎演習Ⅰ	2	選択	
地理学分析基礎演習Ⅱ	2	選択	
地理学研究法実習	2	*選択	
地域分析学演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から 2単位選択
環境地理学演習Ⅰ	2	選択	
自然地理学演習Ⅰ	2	選択	
社会地理学演習Ⅰ	2	選択	
都市地理学演習Ⅰ	2	選択	
地理学フィールドワーク	2	選択	
人文地理学フィールドワーク	2	選択	
自然地理学フィールドワーク	2	選択	以下の科目から2単位選 択(共創工学部文化情報 工学科のみ本プログラ ムとして履修すること)
地域分析学演習Ⅱ	2	選択	
環境地理学演習Ⅱ	2	選択	
社会地理学演習Ⅱ	2	選択	
都市地理学演習Ⅱ	2	選択	

日本語・日本文学副プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	必修	
日本古典文学史論(上代)	2	選択	以下の科目から 6単位選択
日本古典文学史論(中古)	2	選択	
日本古典文学史論(中世)	2	選択	
日本古典文学史論(近世)	2	選択	
日本近代文学史論(近代)	2	選択	
日本近代文学史論(現代)	2	選択	
日本語学通論	2	選択	以下の科目から 2単位選択
日本語語彙論	2	選択	
日本語文法総論	2	選択	
日本語音声表現論	2	選択	
日本語文章表現論	2	選択	
日本文学論講読Ⅰ	2	選択	
日本文学論講読Ⅱ	2	選択	以下の科目から 4単位選択
日本文学論講読Ⅲ	2	選択	
日本文学論講読Ⅳ	2	選択	
日本言語文化論Ⅰ	2	選択	
日本言語文化論Ⅱ	2	選択	
日本語学特殊研究	2	選択	以下の科目から 6単位選択
日本語史特殊研究	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(上代)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中古)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中世)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(近世)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(近代)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(現代)	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本語学特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	

中国語圏言語文化副プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
中国語学概論	2	必修	
中国古典文学史(先秦～唐)	2	必修	
中国語ヒアリング基礎	2	選択	以下の科目から 4単位以上選択
中国語コミュニケーション・スキル	2	選択	
中国語作文基礎演習	2	選択	
中国語作文応用演習	2	選択	
中国語講読	2	選択	
中国文化論	2	選択	以下の科目から 6単位以上選択
中国現代作家論	2	選択	
日中対照言語学	2	選択	
中国語統語論	2	選択	
中国古典文献講読入門	2	選択	
中国古典文献講読基礎	2	選択	
中国文学古典講読	2	選択	
中国文学古典演習	2	選択	

英語圏言語文化副プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
英文法Ⅰ(1)	1	必修	
英文法Ⅰ(2)	1	必修	
英文法Ⅱ	2	必修	
英米文学演習(初級)	2	選択	以下の科目から 4単位選択
英作文演習(初級)	2	選択	
英会話演習(初級)	2	選択	
英語学入門Ⅰ	1	選択	以下の科目から 4～6単位選択
英語学入門Ⅱ	1	選択	
英語学概論	2	選択	
英文法演習	2	選択	
英語音声学演習	2	選択	
英文学史Ⅰ(1)	1	選択	
英文学史Ⅰ(2)	1	選択	
英文学史Ⅱ	2	選択	
米文学史Ⅰ(1)	1	選択	
米文学史Ⅰ(2)	1	選択	
米文学史Ⅱ	2	選択	
英作文演習(中級)	2	選択	以下の科目から 6～8単位選択
英会話演習(中級)	2	選択	
英文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅳ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅴ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅵ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅶ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅷ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅰ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅳ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅴ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅵ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅰ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅱ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	選択	
英語圏事情(1)	1	選択	
英語圏事情(2)	1	選択	
第二言語教授法研究Ⅰ	2	選択	
第二言語教授法研究Ⅱ	2	選択	
第二言語教授法研究Ⅲ	2	選択	
第二言語教授法研究Ⅳ	2	選択	

仏語圏言語文化副プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
仏語圏言語文化基礎演習	2	選択	以下の科目から 20単位選択
欧州文化論Ⅰ	2	選択	
欧州文化論Ⅱ	2	選択	
欧州文化論Ⅲ	2	選択	
欧州文化論Ⅳ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅰ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅱ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅲ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅳ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅰ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅱ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅲ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
独語圏文化講読演習Ⅳ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅴ	2	選択	
独語圏文化講読演習Ⅵ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅰ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅱ	2	選択	
ドイツ語圏文学史Ⅲ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅰ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅱ	2	選択	
ドイツ語圏文化論Ⅲ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	
フランス史	2	選択	
西洋近世史	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅰ	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅰ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅲ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅳ	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅰ	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅱ	2	選択	
中級仏作文演習Ⅰ	2	選択	
中級仏作文演習Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化実習Ⅰ	2	選択	
仏語圏言語文化実習Ⅱ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅰ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅲ	2	選択	
上級仏語コミュニケーション演習Ⅳ	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅰ	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅱ	2	選択	
中級仏語学演習Ⅰ	2	選択	
中級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語学演習Ⅰ	2	選択	
上級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅰ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅱ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅲ	2	選択	
仏語圏文化資料研究Ⅳ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅰ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅲ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
現代仏文学演習Ⅰ	2	選択	
現代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅰ	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
仏文学特殊研究	2	選択	
仏文学特別研究	2	選択	

日本語教育副プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
第二言語教授法演習Ⅰ	2	必修		
第二言語教授法演習Ⅱ	2	選択	以下の科目から	
日本語表現法概論	2	選択	18単位選択	
日本語教育学研究法実習	2	選択		
日本語教育学概論Ⅰ	2	選択		
日本語教育学概論Ⅱ	2	選択		
日本語教育法演習Ⅰ	2	選択		
日本語教育法演習Ⅱ(1)	1	選択		
日本語教育法演習Ⅱ(2)	1	選択		
日本語教育法演習Ⅲ	4	選択		
多文化間人間関係論演習	2	選択		
異文化間教育学演習	2	選択		
社会言語学演習	2	選択		
日本語学概論Ⅰ	2	選択		
日本語学概論Ⅱ	2	選択		
子どもの日本語教育学概論	2	選択		
日本語教育学特殊講義	2	選択		
言語と文化(1)	1	選択		
言語と文化(2)	1	選択		
多文化共生論	2	選択		
多文化間交流論(1)	1	選択		
多文化間交流論(2)	1	選択		

社会学副プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
社会学総論	2	必修		
人間科学論	2	選択	以下の科目から必修を含め4単位選択。ただし、人間社会科学科の学生は、本プログラムの他の科目で単位を満たすことができる。	
子ども学総論	2	選択		
人間と発達	2	選択		
ジェンダー社会論	2	選択	以下の科目から8単位選択	
現代社会論	2	選択		
現代生活論	2	選択		
社会意識論	2	選択		
比較社会論	2	選択		
社会政策論Ⅰ	2	選択		
社会政策論Ⅱ	2	選択		
社会問題論(1)	1	選択		
社会問題論(2)	1	選択		
社会調査の設計と実施	2	選択		
調査データの基礎集計	2	選択		
社会統計学基礎	2	選択		
質的研究法	2	選択		
文化人類学概論(1)	1	選択		
文化人類学概論(2)	1	選択		
文化人類学特殊講義	2	選択		
民族誌学特殊講義	2	選択		
ジェンダー論演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から4単位選択	
ジェンダー論演習Ⅱ	2	選択		
現代社会論演習Ⅰ	2	選択		
現代社会論演習Ⅱ	2	選択		
社会保障論演習Ⅰ	2	選択		
社会保障論演習Ⅱ	2	選択		
社会政策論演習Ⅰ	2	選択		
社会政策論演習Ⅱ	2	選択		
現代生活論演習Ⅰ	2	選択		
現代生活論演習Ⅱ	2	選択		
社会意識論演習Ⅰ	2	選択		
社会意識論演習Ⅱ	2	選択		
社会学方法論演習Ⅰ	2	選択		
社会学方法論演習Ⅱ	2	選択		
文化人類学演習Ⅰ	2	選択		
文化人類学演習Ⅱ	2	選択		
社会調査法Ⅰ	2	必修		
社会調査法Ⅱ	2	必修		

舞踊教育学副プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
舞踊学概論	2	必修		
表現行動論Ⅰ	2	選択	以下の科目から	
表現行動論Ⅱ	2	選択	6～14単位選択	
舞踊芸術学	2	選択		
民族舞踊学(1)	1	選択		
民族舞踊学(2)	1	選択		
臨床舞踊論	2	選択		
スポーツ人間学(1)	1	選択		
スポーツ人間学(2)	1	選択		
体育原理	2	選択		
動作学(1)	1	選択		
動作学(2)	1	選択		
舞踊・運動科学研究法入門	2	選択		
舞踊芸術学実験演習(1)	1	選択	以下の科目から	
舞踊芸術学実験演習(2)	1	選択	0～4単位選択	
民族舞踊学実験演習(1)	1	選択		
民族舞踊学実験演習(2)	1	選択		
臨床舞踊論実験演習(1)	1	選択		
臨床舞踊論実験演習(2)	1	選択		
動作学実験演習(1)	1	選択		
動作学実験演習(2)	1	選択		
スポーツ文化論演習(1)	1	選択		
スポーツ文化論演習(2)	1	選択		
体育心理学	2	選択	以下の科目から	
運動学(運動方法学を含む)	2	選択	0～8単位選択	
解剖学	2	選択		
生理学(運動生理学を含む)	2	選択		
舞踊学特殊講義	2	選択		
運動科学特殊講義	2	選択		
舞踊教育法実習(初等教育)	1	選択	以下の科目から	
舞踊教育法実習(中等教育)	1	選択	0～2単位選択	
民族舞踊実習(基礎)	1	選択		

音楽表現副プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本音楽史概論	2	選択	以下の科目から 8～10単位選択
西洋音楽史Ⅰ	2	選択	
西洋音楽史Ⅱ	2	選択	
音楽学研究法	2	選択	
音楽形式論	2	選択	
音楽学概論	2	選択	以下の科目から 6～8単位選択
民族音楽学	2	選択	
音楽学研究演習Ⅰ	2	選択	
音楽学研究演習Ⅱ	2	選択	
現代音楽Ⅰ	2	選択	
現代音楽Ⅱ	2	選択	以下の科目から 2～4単位選択
音楽学特殊講義Ⅰ	2	選択	
音楽学特殊講義Ⅱ	2	選択	
西洋音楽史特殊講義Ⅰ	2	選択	
西洋音楽史特殊講義Ⅱ	2	選択	

別表第7 専門教育科目(第6条関係)

学際プログラム

教育科学・子ども学学際プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と発達	2	選択	以下の科目から2 単位以上選択
子ども学総論	2	選択	
教育思想概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
教育思想概論(2)	1	選択	
教育史概論(1)	1	選択	
教育史概論(2)	1	選択	
教育・発達心理学概論(1)	1	選択	
教育・発達心理学概論(2)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
教育制度概論	2	選択	
教育方法学概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育課程概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
教育課程概論(2)	1	選択	
特別支援教育概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
特別支援教育概論(2)	1	選択	
教育開発概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
教育開発概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	以下の科目から6 単位以上選択
教育科学概論	2	選択	
幼児教育学原論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
幼児教育学原論(2)	1	選択	
幼児教育方法学概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
幼児教育方法学概論(2)	1	選択	
幼児教育課程概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
幼児教育課程概論(2)	1	選択	
子ども社会学概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
子ども社会学概論(2)	1	選択	
幼児教育制度概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
幼児教育制度概論(2)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	選択	以下の科目から6 単位以上選択
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	選択	
教育思想特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
教育人間学特殊講義	2	選択	
教育史特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
教育制度特殊講義	2	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
学校社会学特殊講義	2	選択	
教育方法学特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
教育課程特殊講義	2	選択	
教育開発特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
比較教育特殊講義	2	選択	
教育心理学特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
発達心理学特殊講義	2	選択	
特別支援教育特殊講義	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
障害児教育特殊講義	2	選択	
教育科学特殊講義Ⅰ	2	選択	以下の科目から4 単位以上選択
教育科学特殊講義Ⅱ	2	選択	
子ども生活論(1)	1	選択	以下の科目から4 単位以上選択
子ども生活論(2)	1	選択	
人間関係論(1)	1	選択	以下の科目から4 単位以上選択
人間関係論(2)	1	選択	
子ども文化論(1)	1	選択	以下の科目から4 単位以上選択
子ども文化論(2)	1	選択	
子ども学特殊講義(1)	1	選択	以下の科目から4 単位以上選択
子ども学特殊講義(2)	1	選択	
学校インターンシップ	1	選択	以下の科目から4 単位以上選択
子ども学フィールドワーク	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
教育思想演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
教育思想演習Ⅱ	2	選択	
教育人間学演習Ⅰ	2	選択	
教育人間学演習Ⅱ	2	選択	
教育史演習Ⅰ	2	選択	
教育史演習Ⅱ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
教育制度演習Ⅰ	2	選択	
教育制度演習Ⅱ	2	選択	
教育社会学演習Ⅰ	2	選択	
教育社会学演習Ⅱ	2	選択	
学校社会学演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
学校社会学演習Ⅱ	2	選択	
教育方法学演習Ⅰ	2	選択	
教育方法学演習Ⅱ	2	選択	
教育課程演習Ⅰ	2	選択	
教育課程演習Ⅱ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
教育開発演習Ⅰ	2	選択	
教育開発演習Ⅱ	2	選択	
比較教育演習Ⅰ	2	選択	
比較教育演習Ⅱ	2	選択	
教育心理学演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
教育心理学演習Ⅱ	2	選択	
発達心理学演習Ⅰ	2	選択	
発達心理学演習Ⅱ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅰ	2	選択	
特別支援教育演習Ⅱ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
障害児教育演習Ⅰ	2	選択	
障害児教育演習Ⅱ	2	選択	
教育科学演習Ⅰ	2	選択	
教育科学演習Ⅱ	2	選択	
教育科学演習Ⅲ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
教育科学演習Ⅳ	2	選択	
教育科学演習Ⅴ	2	選択	
教育科学演習Ⅵ	2	選択	
教育科学演習Ⅶ	2	選択	
幼児教育学演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
幼児教育学演習Ⅱ	2	選択	
保育学演習Ⅰ	2	選択	
保育学演習Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅰ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅱ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
家庭教育論演習Ⅰ	2	選択	
家庭教育論演習Ⅱ	2	選択	
幼児教育制度演習Ⅰ	2	選択	
幼児教育制度演習Ⅱ	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択
子ども発達環境論演習Ⅱ	2	選択	
乳幼児心理学演習Ⅰ	2	選択	
乳幼児心理学演習Ⅱ	2	選択	
子ども学調査法演習Ⅰ	2	選択	
子ども学調査法演習Ⅱ	2	選択	以下の科目から0 ～8単位選択

グローバル文化学学際プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
グローバル文化学総論	2	選択	以下の科目から 4～8単位選択
国際関係論	2	選択	
政治学総論Ⅰ	2	選択	
政治学総論Ⅱ	2	選択	
グローバル化と経済	2	選択	
グローバル化と社会	2	選択	以下の科目から 4～8単位選択
比較ジェンダー論	2	選択	
グローバル・ヒストリー	2	選択	
地域研究方法論	2	選択	
文化理論研究	2	選択	
多文化間交流論(1)	1	選択	以下の科目から 4～8単位選択
多文化間交流論(2)	1	選択	
言語と文化(1)	1	選択	
言語と文化(2)	1	選択	
国際協力学	2	選択	
文化変動論Ⅰ	2	選択	以下の科目から 4～8単位選択
文化変動論Ⅱ	2	選択	
イスラム社会文化論Ⅰ(1)	1	選択	
イスラム社会文化論Ⅰ(2)	1	選択	
イスラム社会文化論Ⅱ	2	選択	
アジア社会とジェンダーⅠ	2	選択	以下の科目から 4～8単位選択
アジア社会とジェンダーⅡ	2	選択	
対日交流論	2	選択	
中国社会文化論	2	選択	
東南アジア社会文化論	2	選択	
アフリカ社会文化論	2	選択	以下の科目から 4～8単位選択
オセアニア社会文化論	2	選択	
地域研究特論	2	選択	
英語圏事情(1)	1	選択	
英語圏事情(2)	1	選択	
文化と人間関係Ⅰ	2	選択	以下の科目から 4～8単位選択
文化と人間関係Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
グローバル化と言語教育Ⅰ(1)	1	選択	
グローバル化と言語教育Ⅰ(2)	1	選択	
グローバル化と言語教育Ⅱ(1)	1	選択	
グローバル化と言語教育Ⅱ(2)	1	選択	
表現行動論Ⅰ	2	選択	
表現行動論Ⅱ	2	選択	
言語と社会	2	選択	
多文化共生論	2	選択	
国際交流論Ⅰ	2	選択	
国際交流論Ⅱ	2	選択	
多文化交流特論	2	選択	
国際協力方法論Ⅰ	2	選択	
国際協力方法論Ⅱ(1)	1	選択	
国際協力方法論Ⅱ(2)	1	選択	
平和構築論Ⅰ	2	選択	
平和構築論Ⅱ(1)	1	選択	
平和構築論Ⅱ(2)	1	選択	
国際開発論Ⅰ	2	選択	
国際開発論Ⅱ	2	選択	
グローバル化と労働Ⅰ	2	選択	
グローバル化と労働Ⅱ	2	選択	
国際機構論	2	選択	
国際教育協力論	2	選択	
NGO/NPO論	2	選択	
地域開発論	2	選択	
国際金融論	2	選択	
国際協力特論	2	選択	
多文化交流実習Ⅰ	2	選択	
多文化交流実習Ⅱ	2	選択	
多文化交流実習Ⅲ	2	選択	
多文化交流実習Ⅳ	2	選択	
多文化交流実習Ⅴ	2	選択	
グローバル文化実習Ⅰ	2	選択	
グローバル文化実習Ⅱ	2	選択	
地域研究実習Ⅰ	2	選択	
地域研究実習Ⅱ	2	選択	
国際協力実習Ⅰ	2	選択	
国際協力実習Ⅱ	2	選択	
国際協力実習Ⅲ	2	選択	
フィールドワーク方法論	2	選択	
グローバル文化学方法論	2	選択	

別表第8 専門教育科目(第6条関係)

芸術・表現行動学科

授業科目	単位数	必修・選択	備考
舞踊教育学専修プログラム			
●必修			
舞踊芸術学	2	必修	
民族舞踊学(1)	1	必修	
民族舞踊学(2)	1	必修	
臨床舞踊論	2	必修	
体育原理	2	必修	
動作学(1)	1	必修	
動作学(2)	1	必修	
モダンダンス・テクニク(初級)	1	必修	
舞踊創作法実習(舞踊構成法)	1	必修	
舞踊創作法実習(即興創作)	1	必修	
民族舞踊実習(基礎)	1	必修	
舞踊教育法実習(中等教育)	1	必修	
舞踊・運動科学研究法入門	2	必修	
舞踊・運動科学研究法演習	2	必修	
卒業論文	8	必修	
●選択			
スポーツ人間学(1)	1	選択	以下の科目から 37単位以上選択
スポーツ人間学(2)	1	選択	
舞踊学概論	2	選択	
表現行動論Ⅰ	2	選択	
表現行動論Ⅱ	2	選択	
モダンダンス・テクニク(中級)Ⅰ	1	選択	
モダンダンス・テクニク(中級)Ⅱ	1	選択	
モダンダンス・テクニク(上級)	1	選択	
舞踊創作法実習(舞踊上演・制作)	2	選択	
舞踊教育法実習(初等教育)	1	選択	
民族舞踊実習(発展)	1	選択	
舞踊上演法実習(初級)	1	選択	
舞踊上演法実習(中級)	1	選択	
舞踊上演法実習(上級)	1	選択	
舞踊表現技法実習	1	選択	
舞踊芸術学実験演習(1)	1	選択	
舞踊芸術学実験演習(2)	1	選択	
民族舞踊学実験演習(1)	1	選択	
民族舞踊学実験演習(2)	1	選択	
臨床舞踊論実験演習(1)	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
臨床舞踊論実験演習(2)	1	選択	
動作学実験演習(1)	1	選択	
動作学実験演習(2)	1	選択	
スポーツ文化論演習(1)	1	選択	
スポーツ文化論演習(2)	1	選択	
陸上競技	1	選択	
器械運動	1	選択	
球技	1	選択	
体づくり運動・武道	1	選択	
水泳実習	1	選択	
日本舞踊実習	1	選択	
バレエ実習	1	選択	
舞踊音楽構成法	1	選択	
運動学(運動方法学を含む)	2	選択	
解剖学	2	選択	
生理学(運動生理学を含む)	2	選択	
体育心理学	2	選択	
衛生学及び公衆衛生学	2	選択	
学校保健	2	選択	
病理学	2	選択	
学校安全と救急看護	2	選択	
舞踊学特殊講義	2	選択	
運動科学特殊講義	2	選択	
表現療法講義演習	2	選択	
●選択			
教育方法学概論(1)	1	選択	
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
●高大連携科目(選択)			
舞踊教育学選択基礎	2	選択	
舞踊教育学高大接続セミナー	1	選択	
高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大 学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1(第 6条関係)「自由に選択して履修する科目・単位」として認定することができる。			

授業科目	単位数	必修・選択	備考
音楽表現専修プログラム			
●必修			
ソルフェージュ	2	必修	
音楽形式論	2	必修	
ピアノ基礎	4	必修	
声楽基礎	4	必修	
作曲原論Ⅰ	2	必修	
作曲原論Ⅱ	2	必修	
西洋音楽史Ⅰ	2	必修	
西洋音楽史Ⅱ	2	必修	
日本音楽史概論	2	必修	
音楽学研究法	2	必修	
音楽学概論	2	必修	
民族音楽学	2	必修	
現代音楽Ⅰ	2	必修	
現代音楽Ⅱ	2	必修	
卒業研究	8	必修	
●選択			
ソルフェージュ発展A	2	選択	以下の科目から 24単位以上選択
ソルフェージュ発展B	2	選択	
ソルフェージュ発展C	2	選択	
ピアノⅠ	4	選択	
ピアノⅡ	4	選択	
ピアノⅢ	4	選択	
ピアノⅣ	4	選択	
ピアノ研究演習AⅠ	2	選択	
ピアノ研究演習AⅡ	2	選択	
ピアノ研究演習BⅠ	2	選択	
ピアノ研究演習BⅡ	2	選択	
ピアノ研究演習CⅠ	2	選択	
ピアノ研究演習CⅡ	2	選択	
ピアノレパートリー研究AⅠ	2	選択	
ピアノレパートリー研究AⅡ	2	選択	
ピアノレパートリー研究BⅠ(1)	1	選択	
ピアノレパートリー研究BⅠ(2)	1	選択	
ピアノレパートリー研究BⅡ(1)	1	選択	
ピアノレパートリー研究BⅡ(2)	1	選択	
ピアノレパートリー研究CⅠ	2	選択	
ピアノレパートリー研究CⅡ	2	選択	
ピアノ特別演習AⅠ	2	選択	
ピアノ特別演習AⅡ	2	選択	
ピアノ特別演習BⅠ	2	選択	
ピアノ特別演習BⅡ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
ピアノ特別演習CⅠ	2	選択	
ピアノ特別演習CⅡ	2	選択	
ピアノ演奏法研究AⅠ(1)	1	選択	
ピアノ演奏法研究AⅠ(2)	1	選択	
ピアノ演奏法研究AⅡ	2	選択	
ピアノ演奏法研究BⅠ(1)	1	選択	
ピアノ演奏法研究BⅠ(2)	1	選択	
ピアノ演奏法研究BⅡ	2	選択	
ピアノ演奏法研究CⅠ(1)	1	選択	
ピアノ演奏法研究CⅠ(2)	1	選択	
ピアノ演奏法研究CⅡ	2	選択	
ピアノ合奏研究(基礎)	2	選択	
ピアノ合奏研究(発展)	2	選択	
室内楽研究	2	選択	
副科ピアノA	2	選択	
副科ピアノB	2	選択	
副科ピアノC	2	選択	
ピアノ指導法研究(1)	1	選択	
ピアノ指導法研究(2)	1	選択	
声楽発展A	4	選択	
声楽発展B	4	選択	
声楽発展C	4	選択	
声楽特別演習	4	選択	
歌曲研究AⅠ(1)	1	選択	
歌曲研究AⅠ(2)	1	選択	
歌曲研究AⅡ(1)	1	選択	
歌曲研究AⅡ(2)	1	選択	
歌曲研究BⅠ(1)	1	選択	
歌曲研究BⅠ(2)	1	選択	
歌曲研究BⅡ(1)	1	選択	
歌曲研究BⅡ(2)	1	選択	
歌曲研究CⅠ	2	選択	
歌曲研究CⅡ	2	選択	
オペラ研究AⅠ	2	選択	
オペラ研究AⅡ	2	選択	
オペラ研究AⅢ	2	選択	
オペラ研究AⅣ	2	選択	
オペラ研究BⅠ	2	選択	
オペラ研究BⅡ	2	選択	
オペラ研究BⅢ	2	選択	
オペラ研究BⅣ	2	選択	
演奏身体論AⅠ	2	選択	
演奏身体論AⅡ	2	選択	
演奏身体論BⅠ	2	選択	
演奏身体論BⅡ	2	選択	
演奏身体論CⅠ	2	選択	
演奏身体論CⅡ	2	選択	
副科声楽A	2	選択	
副科声楽B	2	選択	
副科声楽C	2	選択	
声楽指導法研究Ⅰ	2	選択	
声楽指導法研究Ⅱ	2	選択	
指揮法	2	選択	
西洋音楽史特殊講義Ⅰ	2	選択	
西洋音楽史特殊講義Ⅱ	2	選択	
音楽学各論Ⅰ	2	選択	
音楽学各論Ⅱ	2	選択	
音楽学各論Ⅲ	2	選択	
音楽学各論Ⅳ	2	選択	
音楽学研究演習Ⅰ	2	選択	
音楽学研究演習Ⅱ	2	選択	
音楽学特殊講義Ⅰ	2	選択	
音楽学特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本音楽演奏法	2	選択	
合唱演習Ⅰ	2	選択	
合唱演習Ⅱ	2	選択	
合唱演習Ⅲ	2	選択	
合唱演習Ⅳ	2	選択	
合奏演習	2	選択	
クリエイティブ・ミュージック・メイキング	4	選択	
クリエイティブ・ミュージック・メイキング(発展)	4	選択	
クリエイティブ・ミュージック・メイキング(応用)	4	選択	
卒業演奏研究(ピアノ)	2	選択	
卒業演奏研究(声楽)	2	選択	
卒業論文演習	4	選択	
●高大連携科目(選択)			
音楽表現選択基礎	2	選択	
音楽表現高大接続セミナー	1	選択	

高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1(第6条関係)「自由に選択して履修する科目・単位」として認定することができる。

別表第9 学部共通科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
ギリシャ語	4	
ラテン語	4	

別表第10 全学共通科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
NPO入門	2	
パーソナル・ブランディング	2	
女性のキャリアと経済	2	
ファシリテーション	2	
平和と共生演習	2	
国際共生社会論実習	2	
キャリアアプラン	2	
ICTとコミュニケーションスキル	2	
アントレプレナーシップ演習(ディープテック編)	2	
ジェンダード・イノベーション入門	2	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダード・イノベーション実践編(モノ編))	1	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダード・イノベーション実践編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs編(モノ編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(製造業編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(ドローン編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(PoC編))	1	
生活工学特別講義	2	
文理融合ゼミナールⅠ	2	
文理融合ゼミナールⅡ	2	
メディアコンテンツ特別講義	2	
未来開拓入門	1	
女性のキャリアと法制度	2	(卒業単位に含めることができない)
ダイバーシティ論	2	(卒業単位に含めることができない)
グローバル・リーダーシップ実習Ⅰ	2	
グローバル・リーダーシップ実習Ⅱ	2	
キャリアアプランと進路選択	2	
ハイカラさん講座Ⅰ	2	
インターンシップⅠ	1	
インターンシップⅡ	2	
Ocha-Solution Program(基礎)	2	(卒業単位に含めることができない)
博物館概論	2	
博物館資料論	2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館教育論	2	
博物館実習	3	
博物館情報・メディア論	2	
日本の伝統芸能	2	
初等解析Ⅰ	2	
初等解析Ⅱ(1)	1	
初等解析Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学	2	
初等代数学	2	
物理学概論A	2	
物理学概論B	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
物理学基礎実験	2	
化学基礎実験	2	
生物学基礎実験	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	
生命情報学概論(1)	1	
生命情報学概論(2)	1	
計算生物学(1)	1	
計算生物学(2)	1	
海外交換留学等認定科目	2~12	
Academic Writing	2	
Academic Presentation	2	
Pre Summer Program in English	2	
Summer Program in EnglishⅠ	2	
Summer Program in EnglishⅡ	2	
Summer Program in EnglishⅢ	2	
Summer Program in EnglishⅣ	2	
Summer Program in EnglishⅤ	2	
Summer Program in EnglishⅥ	2	
グローバル・インターンシップⅠ	2	
グローバル・インターンシップⅡ	2	

授業科目	単位数	備考
グローバル・インターンシップⅢ	2	
グローバル EDIⅠ	2	
グローバル EDIⅡ	2	
グローバル EDIⅢ	2	
国際交流実習Ⅰ	2	
国際交流実習Ⅱ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅠ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅡ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅢ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅣ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅤ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅥ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅠ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅡ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅢ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅣ	2	
舞台芸術実践概論Ⅰ	2	
舞台芸術実践概論Ⅱ	2	
文化芸術制作演習Ⅰ	2	
文化芸術制作演習Ⅱ	2	
物理学サブリメント	2	(卒業単位に含めることができない)
生物学サブリメント	2	(卒業単位に含めることができない)
英語基礎強化ゼミ	2	(卒業単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミ R/L	2	(卒業単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミ S/W	2	(卒業単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミ R/L	2	(卒業単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミ S/W	2	(卒業単位に含めることができない)
企画・運営力養成講座	2	(卒業単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅠ	2	(卒業単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅡ	2	(卒業単位に含めることができない)

別表第11 教職課程科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
教職概論(1)	1	
教職概論(2)	1	
教育思想概論(1)	1	
教育思想概論(2)	1	
教育史概論(1)	1	
教育史概論(2)	1	
教育原論(思想・歴史)(1)	1	
教育原論(思想・歴史)(2)	1	
教育・発達心理学概論(1)	1	
教育・発達心理学概論(2)	1	
教育心理	2	
特別支援教育概論(1)	1	
特別支援教育概論(2)	1	
特別支援教育の理論と方法	1	
教育社会学概論(1)	1	
教育社会学概論(2)	1	
教育制度概論	2	
教育原論(社会・制度)(1)	1	
教育原論(社会・制度)(2)	1	
教育課程概論(1)	1	
教育課程概論(2)	1	
教育課程論	2	
中等社会科教育法Ⅰ(地理歴史)	2	
中等社会科教育法Ⅱ(公民)	2	
中等社会科教育法Ⅲ(地理歴史)	2	
中等社会科教育法Ⅳ(公民)	2	
国語科教育法Ⅰ	2	
国語科教育法Ⅱ	2	
国語科教育法Ⅲ	2	
国語科教育法Ⅳ	2	
中国語科教育法Ⅰ	2	
中国語科教育法Ⅱ	2	
中国語科教育法Ⅲ	2	
中国語科教育法Ⅳ	2	
英語科教育法Ⅰ	2	
英語科教育法Ⅱ	2	
英語科教育法Ⅲ	2	
英語科教育法Ⅳ	2	
保健体育科教育法Ⅰ	2	
保健体育科教育法Ⅱ	2	
保健体育科教育法Ⅲ	2	
保健体育科教育法Ⅳ	2	
音楽科教育法Ⅰ	2	
音楽科教育法Ⅱ	2	
音楽科教育法Ⅲ	2	
音楽科教育法Ⅳ	2	
道德教育の理論と方法	2	
総合的な学習の時間の理論と方法	1	
特別活動の理論と方法	2	
教育方法学概論(1)	1	
教育方法学概論(2)	1	

授業科目	単位数	備考
教育方法論	1	
ICT活用の理論と方法	1	
生徒指導と進路指導の理論と方法	2	
学校カウンセリング	2	
事前・事後指導(中高)	1	
事前・事後指導(小中)	1	
教育実習(中高)	1,2又は4	
教育実習(小中)	4	
教職実践演習	2	
初等科教育法(国語)	2	
初等科教育法(社会)	2	
初等科教育法(算数)	2	
初等科教育法(理科)	2	
初等科教育法(生活)	2	
初等科教育法(音楽)	2	
初等科教育法(図画工作)	2	
初等科教育法(家庭)	2	
初等科教育法(体育)	2	
初等科教育法(外国語)	2	
国語科教育論	1	
社会科教育論	1	
算数科教育論	1	
理科教育論	1	
体育実技	1	
外国語科教育論	1	

別表第12 外国人留学生特別科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
日本語演習ⅠA	2	
日本語演習ⅠB	2	
日本語演習ⅡA	2	
日本語演習ⅡB	2	
日本語演習ⅢA	2	
日本語演習ⅢB	2	
日本語演習ⅣA	2	
日本語演習ⅣB	2	
日本語演習ⅤA	2	
日本語演習ⅤB	2	
日本事情演習ⅠA	2	
日本事情演習ⅠB	2	
日本事情演習ⅡA	2	
日本事情演習ⅡB	2	
日本事情演習ⅢA	2	
日本事情演習ⅢB	2	
日本事情演習ⅣA	2	
日本事情演習ⅣB	2	
日本事情演習ⅤA	2	
日本事情演習ⅤB	2	
総合日本語サマープログラムⅠ	2	
総合日本語サマープログラムⅡ	2	
総合日本語Ⅰ	2	
総合日本語Ⅱ	2	

(趣旨)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学理学部の教育課程及び履修方法については、国立大学法人お茶の水女子大学学則、国立大学法人お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則又はこれに基づく別段の定めによるほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、コア科目、専門教育科目、全学共通科目、教職課程科目及び外国人留学生特別科目とする。

2 コア科目は、文理融合リベラルアーツ、基礎講義、情報、外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語及びアジア諸語)及びスポーツ健康とする。

3 専門教育科目は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラムを構成する科目とする。

4 関連科目は、各学科の基礎となる科目又はきわめて関連の深い科目であって選択として指定する。

5 全学で共通して履修できる科目として、全学共通科目を置く。

6 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める教職課程科目を置く。

7 外国人留学生に対して、外国人留学生特別科目を置く。

(他学部の授業科目の履修)

第3条 文教育学部、生活科学部及び共創工学部の授業科目は、これを履修することができる。

(単位の計算方法)

第4条 各授業科目の単位数の計算方法は、1単位が45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

二 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

三 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育実習については、別に定める。

2 前項の規定にかかわらず、特別研究又はこれに準ずる授業科目については、別に定める。

(卒業要件)

第5条 卒業するためには、別表第1に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。

2 各学科において履修すべき授業科目及び単位数は、別表第3から別表第7までに定めるところとする。

3 関連科目の授業科目及び単位数は、別表第8に定めるところとする。

4 全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第9に定めるところとする。

5 教職課程科目の授業科目及び単位数は、別表第10に定めるところとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考9のとおりとする。

6 外国人留学生特別科目の授業科目及び単位数は、別表第11に定めるところとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考10のとおりとする。

(履修手続)

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに指定する方法により申請し、担当教員の許可を得なければならない。

2 学生が前号により履修申請した授業科目の履修を取消すには、所定の期日までに指定する方法により履修取消し手続を行い、担当教員の許可を得なければならない。

3 学生が授業科目について聴講のみを希望する場合は、担当教員の許可を得なければならない。

(単位の授与)

第7条 授業科目を履修した者について、試験等により学修の成果を評価して、所定の単位を与える。

2 試験は、学年又は学期末に行うこととする。ただし、病気その他正当な理由で試験を受けることができなかった者は、別に定める手続により追試験を受けることができる。

(成績の評価)

第8条 成績の評価は、原則として試験(論文、報告等を含む。)、平常の成績及び出席状況を総合して決定する。

2 成績の評価は、「S」(基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている)、「A」(基本的な目標を十分に達成している)、「B」(基本的な目標を達成している)、「C」(基本的な目標を最低限度達成している)、「D」(基本的な目標を達成していない。再履修が必要である)の5種類の評語をもって表し、「S」、「A」、「B」及び「C」を合格とし、「D」を不合格とする。

3 前項の成績の評価又は科目の原成績(素点)に基づき、成績の数値平均 Grade Point Average (以下「GPA」という。)を算出するものとする。GPAに関し必要な事項は別に定める。

(成績不振の学生に対する学修指導)

第9条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学修状況が著しく不良の者には、成績不振の学修指導を行うことがある。

2 その他学修指導に関し必要な事項は、別に定める。

(細則)

第10条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、理学部教授会が定める。

附則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行し、改正後の別表第2から別表第6までの規定は、平成19年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成19年10月24日から施行し、平成19年10月1日から適用する。

附則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、平成25年10月1日から施行する。
附則
- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3から第11までの規定は、平成26年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、平成26年10月1日から施行する。
附則
- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 3 前2項の規定にかかわらず、第9条の改正規定は、この改正規程の施行前から引き続き理学部に在学する者から適用する。
附則
- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行し、平成31年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行し、令和3年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、令和5年10月25日から施行し、令和5年10月1日から適用する。
附則
- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行し、令和6年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、令和6年10月1日から施行する。
附則
- 1 この規程は、令和7年4月1日から施行し、令和7年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

学科別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位								自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数		
		コア科目				専門教育科目(必修プログラム)				コア科目	専門教育科目	関連科目	他学部 の科目	全学 共通 科目	教職 課程 科目	必修以外の 選択プログラム			
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報	外国語	スポーツ健康	主プログラム	強化プログラム	副プログラム									学際プログラム	
数	学	科			30				60			20				14			124
物	理	学	科				30			60		20				14			124
化	学	科					30			60		20				14			124
生	物	学	科				30			60		20				14			124
情	報	科	学	科			30			60		20				14			124

- 備考
- 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また外国語の履修方法は別に定める。
 - 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
 - 5 強化プログラムを選択する場合は、所属学部が開設するプログラムから一つを選択し、副プログラム・学際プログラムを選択する場合は、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、所属学部及び他学部が開設するプログラムから一つを選択すること。
 - 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
 - 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
 - 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
 - 9 教職課程科目の単位については、6単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については16単位までをコア科目として取り扱う。

別表第2（第5条関係）

【(理) 二つ目の選択プログラム】(別表第1 備考5関係)

所属学科	数 学 (副)	物理学 (副)	化 学 (副)	生物学 (副)	情報科学 (学際)	応用数理 (学際)	物理・ 化 学 (学際)	ケミカルバ イオロジー (学際)	生 命 情報学 (学際)
数 学 科		○	×	×	○	○	×	×	○
物 理 学 科	○		○	○	○	○	○	○	○
化 学 科	○	○		○	○	○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○		○	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	×	×		○	×	×	○

【(理) 二つ目の選択プログラム(エ・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科	人間環境工学 (学際)	文化情報工学 (学際)
数 学 科	×	×
物 理 学 科	○	×
化 学 科	×	×
生 物 学 科	×	×
情 報 科 学 科	×	×

【(理) 三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	哲 学・ 倫 理 学・ 美 術 史 (副)	比 較 歴 史 学 (副)	地 理 学 (副)	日 本 語・ 日 本 文 学 (副)	中 国 語 圏 言 語 文 化 (副)	英 語 圏 言 語 文 化 (副)	仏 語 圏 言 語 文 化 (副)	日 本 語 教 育 (副)	社 会 学 (副)	舞 踊 教 育 学 (副)	音楽表現 (副)	教育科学・ 子ども学 (学際)	グローバル 文 化 学 (学際)
数 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物 理 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
化 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(理) 三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	数 学 (副)	物理学 (副)	化 学 (副)	生物学 (副)	情報科学 (副)	応用数理 (学際)	物理・化学 (学際)	ケミカルバ イオロジー (学際)	生命情報学 (学際)
数 学 科		○	○	○	○	○	○	○	○
物 理 学 科	○		○	○	○	○	○	○	○
化 学 科	○	○		○	○	○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○		○	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	○	○		○	○	○	○

【(理) 三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	生活社会科学 (副)	生活文化学 (副)	心理学 (副)	消費者学 (学際)
数 学 科	○	○	○	○
物 理 学 科	○	○	○	○
化 学 科	○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	○	○

【(理) 三つ目の選択プログラム(エ・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	人間環境工学 (学際)	文化情報工学 (学際)
数 学 科	○	○
物 理 学 科	○	○
化 学 科	○	○
生 物 学 科	○	○
情 報 科 学 科	○	○

別表第3 コア科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
文理融合リベラルアーツ		
リベラルアーツ演習Ⅰ	2	
リベラルアーツ演習Ⅱ	2	
系列1 生命と環境 (講義)		
生命と環境1	2	
生命と環境2	2	
生命と環境3	2	
生命と環境4	2	
生命と環境5	2	
生命と環境6 (演習・実習)	2	
生命と環境21	2	
生命と環境22	2	
系列2 色・音・香 (講義)		
色・音・香1	2	
色・音・香2	2	
色・音・香3	2	
色・音・香4	2	
色・音・香5	2	
色・音・香6	2	
色・音・香7	2	
色・音・香8	2	
色・音・香9	2	
色・音・香10 (演習・実習)	2	
色・音・香22	2	
系列3 生活世界の安全保障 (講義)		
生活世界の安全保障1	2	
生活世界の安全保障2	2	
生活世界の安全保障3	2	
生活世界の安全保障4	2	

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
生活世界の安全保障5	2	
生活世界の安全保障7	2	
生活世界の安全保障8	2	
生活世界の安全保障9	2	
生活世界の安全保障10 (演習・実習)	2	
生活世界の安全保障23	2	
生活世界の安全保障26	2	
系列4 ことばと世界 (講義)		
ことばと世界1	2	
ことばと世界2	2	
ことばと世界3	2	
ことばと世界5	2	
ことばと世界6	2	
ことばと世界7	2	
ことばと世界8	2	
ことばと世界10	2	
ことばと世界11	2	
ことばと世界12	2	
ことばと世界13 (演習・実習)	2	
ことばと世界27	2	
系列5 ジェンダー (講義)		
ジェンダー1	2	
ジェンダー2	2	
ジェンダー3	2	
ジェンダー4	2	
ジェンダー5	2	
ジェンダー6	2	
ジェンダー8	2	
ジェンダー9	2	
ジェンダー10	2	

(物理学科は履修できない)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
基礎講義		
哲学	2	
法学Ⅰ(日本国憲法)	2	
法学Ⅱ(法学入門)	2	
政治学入門	2	
ミクロ経済学入門	2	
マクロ経済学入門	2	
基礎微積分学	2	(数学科、情報科学科は履修できない)
基礎線形代数学	2	(数学科、情報科学科は履修できない)
統計学	2	
総合コース	1～4	
お茶の水女子大学論	2	
コンピテンシー基礎論	2	
防災・危機管理	1	
自然災害に対する防災・減災	1	
学修ポートフォリオ入門	1	
課題研究支援プログラム	1	
情報(必修科目)		
情報処理演習(1)	1	
情報処理演習(2)	1	
情報(選択科目)		
メディアリテラシ(1)	1	
メディアリテラシ(2)	1	
文理融合データサイエンスⅠ	2	
文理融合データサイエンスⅡ	2	
文理融合データサイエンスⅢ	2	
文理融合データサイエンスⅣ	2	
情報科学(1)	1	
情報科学(2)	1	
情報処理学(1)	1	
情報処理学(2)	1	
プログラミング演習Ⅰ	2	
プログラミング演習Ⅱ	2	
コンピュータ演習Ⅰ	2	
コンピュータ演習Ⅱ	2	
情報学演習Ⅰ	2	
情報学演習Ⅱ	2	
外国語(必修)		
	12	●物理学科、化学科：外国語の必修単位数は12単位。英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、一つの言語について8単位修得すること。残りの4単位は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から修得すること。なお、「専門英語」の「物理英語Ⅰ(2)」(物理学科)は、コア科目外国語(必修)英語の「中級英語Ⅱ(1)(2)」(特別クラスを除く)、「Advanced Communication TrainingⅣ(1)(2)」(理学部特別クラス)、もしくは「Advanced Communication TrainingⅥ(1)(2)」(理学部特別クラス)の内のどれか一つに充てることができる。ただし、「Advanced Communication TrainingⅣ(1)(2)」もしくは「Advanced Communication TrainingⅥ(1)(2)」に充てる場合は、1年次に「中級英語Ⅰ(1)(2)・Ⅱ(1)(2)」(特別クラス)に配属されていること。外国語科目の修得単位数のうち、必修単位数を超える分はコア科目の必修単位または「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 ●生物学科：外国語の必修単位数は12単位。英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、一つの言語について12単位修得すること。なお、「専門英語」の「生物学外書講読」は、コア科目外国語(必修)英語の「中級英語Ⅱ(1)(2)」(特別クラスを除く)、「Advanced Communication TrainingⅣ(1)(2)」(理学部特別クラス)、もしくは「Advanced Communication TrainingⅥ(1)(2)」(理学部特別クラス)の内のどれか一つに充てることができる。ただし、「Advanced Communication TrainingⅣ(1)(2)」もしくは「Advanced Communication TrainingⅥ(1)(2)」に充てる場合は、1年次に「中級英語Ⅰ(1)(2)・Ⅱ(1)(2)」(特別クラス)に配属されていること。外国語科目の修得単位数のうち、必修単位数を超える分はコア科目の必修単位または「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 ●数学科、情報科学科：外国語の必修単位数は12単位。英語を8単位修得すること。残りの4単位は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から修得すること。なお、「専門英語」の「数学英語」(数学科)は、コア科目外国語(必修)英語のコア科目外国語(必修)英語の「中級英語Ⅱ(1)(2)」(特別クラスを除く)、「Advanced Communication TrainingⅣ(1)(2)」(理学部特別クラス)、もしくは「Advanced Communication TrainingⅥ(1)(2)」(理学部特別クラス)の内のどれか一つに充てることができる。ただし、「Advanced Communication TrainingⅣ(1)(2)」もしくは「Advanced Communication TrainingⅥ(1)(2)」に充てる場合は、1年次に「中級英語Ⅰ(1)(2)・Ⅱ(1)(2)」(特別クラス)に配属されていること。外国語科目の修得単位数のうち、必修単位数を超える分はコア科目の必修単位または「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 *および**：コア科目(外国語)の必修単位に充てることができる基本科目(ただし、生物学科の学生は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語に限る)。 ***：第二外国語として8単位未満履修する場合のみ必修単位に充てることができる単基本科目。 ****：および*****のついていない科目の単位は、特別措置等による認定がない限り、必修単位に充てることができる。

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
英語		
* 基礎英語Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
* 基礎英語Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
* 基礎英語Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
* 基礎英語Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
* 中級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
* 中級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
* 中級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
* 中級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
*** 英語コミュニケーションⅢ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語コミュニケーションⅢ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語コミュニケーションⅣ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語コミュニケーションⅣ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語コミュニケーションⅤ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語コミュニケーションⅤ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語コミュニケーションⅥ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語コミュニケーションⅥ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語プレゼンテーションⅠ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語プレゼンテーションⅠ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** 英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** グローバル・イングリッシュⅠ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** グローバル・イングリッシュⅠ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** グローバル・イングリッシュⅡ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** グローバル・イングリッシュⅡ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅠ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅠ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅡ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅡ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅢ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅢ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅣ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅣ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅤ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅤ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅥ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*** Advanced Communication TrainingⅥ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
英語コミュニケーションⅠ(1)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅠ(2)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅡ(1)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅡ(2)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
上級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
ビジネス英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ドイツ語		
* 基礎ドイツ語Ⅰ	2	(Ⅰ)
* 基礎ドイツ語Ⅱ	2	(Ⅰ)
* 基礎ドイツ語Ⅲ	2	(Ⅰ)
* 基礎ドイツ語Ⅳ	2	(Ⅰ)
***基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
***基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
***基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
***基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
***発展ドイツ語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
***発展ドイツ語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
***発展ドイツ語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
***発展ドイツ語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
***発展ドイツ語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
***発展ドイツ語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
***発展ドイツ語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
***発展ドイツ語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
***基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎ドイツ語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎ドイツ語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***ドイツ語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
フランス語		
* 基礎フランス語Ⅰ	2	(Ⅰ)
* 基礎フランス語Ⅱ	2	(Ⅰ)
* 基礎フランス語Ⅲ	2	(Ⅰ)
* 基礎フランス語Ⅳ	2	(Ⅰ)
***基礎フランス語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
**基礎フランス語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
**基礎フランス語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
**基礎フランス語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
**発展フランス語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
**発展フランス語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
***基礎フランス語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎フランス語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎フランス語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***基礎フランス語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
***フランス語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語		
*基礎中国語Ⅰ	2	(Ⅰ)
*基礎中国語Ⅱ	2	(Ⅰ)
*基礎中国語Ⅲ	2	(Ⅰ)
*基礎中国語Ⅳ	2	(Ⅰ)
**基礎中国語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
**基礎中国語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
**基礎中国語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
**基礎中国語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
**発展中国語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
**発展中国語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
**発展中国語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
**発展中国語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
**発展中国語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
**発展中国語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
**発展中国語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
**発展中国語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
***基礎中国語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
***基礎中国語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
***基礎中国語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
***基礎中国語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
***中国語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
***中国語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
***中国語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
***中国語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
中国語プレゼンテーションⅠ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語プレゼンテーションⅡ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
ロシア語		
*ロシア語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*ロシア語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*ロシア語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*ロシア語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*ロシア語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*ロシア語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*ロシア語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*ロシア語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
朝鮮語		
*朝鮮語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
スペイン語		
*現代スペイン語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代スペイン語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
イタリア語		
*現代イタリア語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代イタリア語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
アジア諸語		
*現代アジア諸語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代アジア諸語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代アジア諸語Ⅲ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代アジア諸語Ⅳ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
スポーツ健康(必修)		
スポーツ健康実習	2	(Ⅰ)
スポーツ健康(選択)		
スポーツ科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
健康科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
生涯スポーツ	0.5～3	(Ⅰ～Ⅳ)

別表第4 専門教育科目(第5条関係)

主プログラム

数学主プログラム		単位数：60	
授業科目	単位数	必修・選択	備考
集合論1	1	必修	
集合論2	1	必修	
線形代数学1	2	必修	
線形代数学2	2	必修	
線形代数学3	2	必修	
線形代数学4	2	必修	
線形代数学5	2	必修	
微分積分学1	2	必修	
微分積分学2	2	必修	
微分積分学3	2	必修	
微分積分学4	2	必修	
微分積分学5	2	必修	
位相空間論1	2	必修	
位相空間論2	2	必修	
群論1	2	必修	
群論2	2	必修	
環論	2	必修	
関数論1	2	必修	
多様体論1	2	必修	
積分論1	2	必修	
数学講究	8	必修	
集合論3	2	選択	以下の科目から14単位選択
線形代数学6	2	選択	
微分積分学6	2	選択	
数学論講	2	選択	
ベクトル解析	2	選択	
初等代数学	2	選択	
確率序論	2	選択	
数理解析序論	2	選択	
数学選択基礎	2	選択	
数学高大接続セミナー	1	選択	

物理学主プログラム		単位数：60	
授業科目	単位数	必修・選択	備考
古典力学(1)	1	必修	
古典力学(2)	1	必修	
解析力学(1)	1	必修	
解析力学(2)	1	必修	
電磁気学Ⅰ(1)	1	必修	
電磁気学Ⅰ(2)	1	必修	
電磁気学Ⅱ(1)	1	必修	
電磁気学Ⅱ(2)	1	必修	
物理数学Ⅰ(1)	1	必修	
物理数学Ⅰ(2)	1	必修	
物理数学Ⅱ(1)	1	必修	
物理数学Ⅱ(2)	1	必修	
数理解物理学(1)	1	必修	
数理解物理学(2)	1	必修	
力学系理論(1)	1	必修	
力学系理論(2)	1	必修	
熱力学(1)	1	必修	
熱力学(2)	1	必修	
統計力学(1)	1	必修	
統計力学(2)	1	必修	
量子力学Ⅰ(1)	1	必修	
量子力学Ⅰ(2)	1	必修	
量子力学Ⅱ(1)	1	必修	
量子力学Ⅱ(2)	1	必修	
量子力学Ⅲ(1)	1	必修	
量子力学Ⅲ(2)	1	必修	
力学演習(1)	1	必修	
力学演習(2)	1	必修	
電磁気学演習(1)	1	必修	
電磁気学演習(2)	1	必修	
物理数学演習(1)	1	必修	
物理数学演習(2)	1	必修	
量子力学演習(1)	1	必修	
量子力学演習(2)	1	必修	
統計力学演習(1)	1	必修	
統計力学演習(2)	1	必修	
基礎物理学実験(1)	1	必修	
基礎物理学実験(2)	1	必修	
物理学実験(1)	1	必修	
物理学実験(2)	1	必修	
物理学実験(3)	1	必修	
物理学実験(4)	1	必修	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
特別研究	12	必修	
*物理英語(1)	1	選択	以下の科目から6単位以上選択 (※印はコア科目外国語(必修) 英語の「中級英語Ⅱ(1)(2)」(特別クラスを除く)、「Advanced Communication Training IV(1)(2)」(理学部特別クラス)の内のどれか一つに充てることができる。ただし、「Advanced Communication Training IV(1)(2)」もしくは「Advanced Communication Training VI(1)(2)」(理学部特別クラス)の内のどれか一つに充てることができる。ただし、「Advanced Communication Training IV(1)(2)」もしくは「Advanced Communication Training VI(1)(2)」に充てる場合は、1年次に「中級英語Ⅰ(1)(2)・Ⅱ(1)(2)」(特別クラス)に配属されていること。)
*物理英語(2)	1	選択	
初等解析Ⅰ	2	選択	
初等解析Ⅱ(1)	1	選択	
初等解析Ⅱ(2)	1	選択	
初等線形代数学	2	選択	
宇宙・地球科学	2	選択	
大気・海洋科学概論	2	選択	
化学基礎実験	2	選択	
生物学基礎実験	2	選択	
地学基礎実験	2	選択	
物理学選択基礎	2	選択	
物理学高大接続セミナー	1	選択	

化学主プログラム 単位数：60			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
物理化学Ⅰ	2	必修	
物理化学Ⅱ	2	必修	
物理化学Ⅲ	2	必修	
無機化学Ⅰ	2	必修	
無機化学Ⅱ	2	必修	
有機化学Ⅰ	2	必修	
有機化学Ⅱ	2	必修	
分析化学Ⅰ(1)	1	必修	
分析化学Ⅰ(2)	1	必修	
生物化学Ⅰ(1)	1	必修	
生物化学Ⅰ(2)	1	必修	
生物化学Ⅱ	2	必修	
基本化学実験Ⅰ	2	必修	
基本化学実験Ⅱ	2	必修	
基本化学実験Ⅲ	2	必修	
基本化学実験Ⅳ	2	必修	
専門化学実験Ⅰ	2	必修	
専門化学実験Ⅱ	2	必修	
専門化学実験Ⅲ	2	必修	
専門化学実験Ⅳ	2	必修	
専門化学実験Ⅴ	2	必修	
化学演習Ⅰ	2	必修	
化学演習Ⅱ	2	必修	
特別研究Ⅰ	4	必修	
特別研究Ⅱ	8	必修	
化学特別ゼミ	2	選択	
化学英語	2	選択	
基礎化学A	2	選択	
基礎化学B(1)	1	選択	
基礎化学B(2)	1	選択	
物理学概論A	2	選択	
物理学概論B	2	選択	
基礎生物学A	2	選択	
基礎生物学B	2	選択	
生物学基礎実験	2	選択	
物理学基礎実験	2	選択	
化学選択基礎	2	選択	
化学高大接続セミナー	1	選択	
生物学概論A	2	選択	
生物学概論B	2	選択	
地球環境科学	2	選択	

生物学主プログラム 単位数：60			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
生物学概論	2	必修	
生化学	2	必修	
生物物理学	2	必修	
動物系統学	2	必修	
植物系統学	2	必修	
動物生理学	2	必修	
植物生理学	2	必修	
基礎遺伝学	2	必修	
分子遺伝学	2	必修	
発生生物学	2	必修	
進化生物学	2	必修	
生物統計学	2	必修	
生物学実習Ⅰ	2	必修	
生物学実習Ⅱ	2	必修	
生物学演習Ⅰ	2	必修	
生物学演習Ⅱ	2	必修	
特別研究Ⅰ	6	必修	
特別研究Ⅱ	6	必修	
基礎遺伝学実習	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
分子遺伝学実習	1	選択	
細胞生物学実習	1	選択	
細胞生化学実習	1	選択	
代謝生物学実習	1	選択	
植物生理学実習	1	選択	
動物生理学実習	1	選択	
発生生物学実習	1	選択	
植物系統学実習	1	選択	
動物系統学臨海実習	1	選択	
植物系統学臨海実習	1	選択	
代謝生物学	2	選択	
細胞生物学	2	選択	
※生物学外書講読	2	選択	
植物生態学	2	選択	
動物生態学	2	選択	
生物学選択基礎	2	選択	
生物学高大接続セミナー	1	選択	
生物学研究基礎	2	選択	各選択(※印はコア科目外国語(必修)英語の「中級英語Ⅱ(1)(2)」(特別クラスを除く)、「Advanced Communication Training IV(1)(2)」(理学部特別クラス)の内のどれか一つに充てることができる。ただし、「Advanced Communication Training IV(1)(2)」もしくは「Advanced Communication Training VI(1)(2)」(理学部特別クラス)の内のどれか一つに充てることができる。ただし、「Advanced Communication Training VI(1)(2)」に充てる場合は、1年次に「中級英語Ⅰ(1)(2)・Ⅱ(1)(2)」(特別クラス)に配属されていること。)
生物学特別講義Ⅰ	2	選択	
生物学特別講義Ⅱ	2	選択	
生物学特別講義Ⅲ	2	選択	
生物学特別講義Ⅳ	2	選択	
生物学特別講義Ⅴ	2	選択	
生物学特殊講義Ⅰ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅱ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅳ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅴ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅵ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅶ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅸ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅹ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅠ	1	選択	以下の科目から本プログラムとして2単位までを含めることができる
生物学特殊講義ⅩⅡ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅢ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅣ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅤ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅥ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅦ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅧ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅨ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅩ	1	選択	

情報科学主プログラム 単位数：60			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
線形代数学Ⅰ	2	必修	
線形代数学Ⅱ	2	必修	
微分積分Ⅰ	2	必修	
微分積分Ⅱ	2	必修	
数理基礎論	2	必修	
コンピュータシステム序論	2	必修	
データ構造とアルゴリズム	2	必修	
コンピュータ基礎演習	2	必修	
プログラミング実習	2	必修	
確率序論	2	必修	
離散数学	2	必修	
システムプログラミング実習	2	必修	
コンピュータアーキテクチャⅠ	2	必修	
コンピュータアーキテクチャⅡ	2	必修	
コンピュータネットワークⅠ	2	必修	
マルチメディア	2	必修	
マルチメディアプログラミング実習	2	必修	以下の科目から18単位選択
情報科学総合演習	2	必修	
特別研究	6	必修	
線形代数学演習Ⅰ	2	選択	
線形代数学演習Ⅱ	2	選択	
微分積分学演習Ⅰ	2	選択	
微分積分学演習Ⅱ	2	選択	
微分積分学Ⅲ	2	選択	
微分積分学演習Ⅲ	2	選択	
初等代数学	2	選択	
データ解析序論	2	選択	
グラフ理論	2	選択	
関数型言語	2	選択	
計算機代数演習	2	選択	
位相空間論	2	選択	
情報理論	2	選択	
物理学概論A	2	選択	
物理学概論B	2	選択	
英文講読	2	選択	
情報科学選択基礎	2	選択	
情報科学高大接続セミナー	1	選択	

別表第5 専門教育科目(第5条関係)

強化プログラム

数学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
体論	2	選択	以下の科目から20単位以上選択 (※印は、コア科目外国語(必修) 英語の「中級英語Ⅱ(1)2」(特別 クラスを除く)、「Advanced Communication Training IV (1) (2)」(理学部特別クラス)、もし くは「Advanced Communica- tion Training VI(1)2」(理学部 特別クラス)の内のどれか一つ に充てることができる。ただし、 「Advanced Communication Training IV (1)(2)」もしくは 「Advanced Communication Training VI(1)2」に充てる場合 は、1年次に「中級英語Ⅰ(1)2・ Ⅱ(1)2」(特別クラス)に配属さ れていること。)	
加群と表現	2	選択		
関数論2	2	選択		
多様体論2	2	選択		
積分論2	2	選択		
微分方程式論	2	選択		
※数学英語	2	選択		
関数解析	2	選択		
微分幾何学	2	選択		
位相幾何学	2	選択		
ガロア理論	2	選択		
フーリエ解析とラプラス変換	2	選択		
関数論統論	2	選択		
確率論	2	選択		
グラフ理論	2	選択		
組み合わせ論	2	選択		
暗号と符号	2	選択		
計算量理論	2	選択		
数理統計学	2	選択		
コンピュータシステム序論	2	選択		
数理構造特別講義Ⅰ	2	選択		
数理構造特別講義Ⅱ	2	選択		
数理構造特別講義Ⅲ	2	選択		
数理構造特別講義Ⅳ	2	選択		
数理構造特別講義Ⅴ	2	選択		
数理構造特別講義Ⅵ	1	選択		
数理構造特別講義Ⅶ	1	選択		
数理構造特別講義Ⅷ	1	選択		
数理構造特別講義Ⅸ	1	選択		
数理構造特別講義Ⅹ	1	選択		
数学演習Ⅰ	2	選択		
数学演習Ⅱ	2	選択		
数学演習Ⅲ	2	選択		
数学演習Ⅳ	2	選択		
数学演習Ⅴ	2	選択		
数学演習Ⅵ	1	選択		
数学演習Ⅶ	1	選択		
数学演習Ⅷ	1	選択		
数学演習Ⅸ	1	選択		
数学演習Ⅹ	1	選択		
数理道遠Ⅰ	2	選択		
数理道遠Ⅱ	2	選択		
数理道遠Ⅲ	2	選択		
数理道遠Ⅳ	2	選択		

物理学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
固体電子論(1)	1	選択	以下の科目から20単位選択	
固体電子論(2)	1	選択		
相転移物理学	2	選択		
凝縮系物理学(1)	1	選択		
凝縮系物理学(2)	1	選択		
原子核物理学	2	選択		
素粒子物理学(1)	1	選択		
素粒子物理学(2)	1	選択		
物性物理学序論(1)	1	選択		
物性物理学序論(2)	1	選択		
相対論(1)	1	選択		
相対論(2)	1	選択		
宇宙物理学(1)	1	選択		
宇宙物理学(2)	1	選択		
連続体物理学	2	選択		
流体物理学	2	選択		
物理実験学(1)	1	選択		
物理実験学(2)	1	選択		
基礎エレクトロニクス(1)	1	選択		
基礎エレクトロニクス(2)	1	選択		
量子光学(1)	1	選択		
量子光学(2)	1	選択		
ソフトマター物理	2	選択		
場の量子論(1)	1	選択		
場の量子論(2)	1	選択		
計算物理学講義・演習(1)	2	選択		
計算物理学講義・演習(2)	2	選択		
物理学基礎研究	2	選択		
物理学特別講義Ⅰ	2	選択		
物理学特別講義Ⅱ	2	選択		
物理学特別講義Ⅲ	2	選択		
物理学特別講義Ⅳ	2	選択		
物理学特別講義Ⅴ	2	選択		
物理学特別講義Ⅵ	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
物理学特別講義Ⅶ	2	選択	
物理学特別講義Ⅷ	2	選択	
物理学特別講義Ⅸ	2	選択	
物理学特別講義Ⅹ	2	選択	
物理学特別講義Ⅺ	2	選択	
物理学特別講義Ⅻ	2	選択	
物理学特別講義Ⅼ	2	選択	
物理学特別講義Ⅽ	2	選択	
物理学特別講義Ⅾ	2	選択	
物理学特別講義Ⅿ	2	選択	
物理学特別講義ⅰ	2	選択	
物理学特別講義ⅱ	2	選択	
物理学特別講義ⅲ	2	選択	
物理学特別講義ⅴ	2	選択	
物理学特別講義ⅵ	2	選択	
物理学特別講義ⅶ	2	選択	
物理学特別講義ⅷ	2	選択	
物理学特別講義ⅸ	2	選択	
物理学特別講義ⅹ	2	選択	
放射線基礎講義(1)	1	選択	
放射線基礎講義(2)	1	選択	

化学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
有機化学Ⅲ	2	必修		
分析化学Ⅱ	2	必修		
分子分光法	2	必修		
無機化学Ⅲ	2	選択	以下の科目から14単位以上選択	
生体分子機能・反応学	2	選択		
物理化学Ⅳ	2	選択		
有機化学Ⅳ	2	選択		
量子化学	2	選択		
計算化学	2	選択		
反応物理化学	2	選択		
高分子化学	2	選択		
実験値解析法	2	選択		
放射化学	2	選択		
生物物理化学	2	選択		
物理化学特別講義Ⅰ	2	選択		
物理化学特別講義Ⅱ	2	選択		
物理化学特別講義Ⅲ	2	選択		
無機化学特別講義Ⅰ	2	選択		
無機化学特別講義Ⅱ	2	選択		
無機化学特別講義Ⅲ	2	選択		
分析化学特別講義Ⅰ	2	選択		
分析化学特別講義Ⅱ	2	選択		
分析化学特別講義Ⅲ	2	選択		
有機化学特別講義Ⅰ	2	選択		
有機化学特別講義Ⅱ	2	選択		
有機化学特別講義Ⅲ	2	選択		
生物化学特別講義Ⅰ	2	選択		
生物化学特別講義Ⅱ	2	選択		
生物化学特別講義Ⅲ	2	選択		
化学特別講義Ⅰ	1	選択		
化学特別講義Ⅱ	1	選択		
化学特別講義Ⅲ	1	選択		
化学特別講義Ⅳ	1	選択		
化学特別講義Ⅴ	1	選択		
化学特別講義Ⅵ	1	選択		
化学特別講義Ⅶ	1	選択		
化学特別講義Ⅷ	1	選択		

生物学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
生物系統地理学	2	選択	以下の科目から20単位選択	
進化遺伝学	2	選択		
発生遺伝学(1)	1	選択		
発生遺伝学(2)	1	選択		
バイオメカニクス(1)	1	選択		
バイオメカニクス(2)	1	選択		
植物生理学(1)	1	選択		
植物生理学(2)	1	選択		
遺伝子工学(1)	1	選択		
遺伝子工学(2)	1	選択		
植物機能制御学	2	選択		
動物環境応答学(1)	1	選択		
動物環境応答学(2)	1	選択		
分子構造生物学(1)	1	選択		
分子構造生物学(2)	1	選択		
免疫学	2	選択		
生命情報プログラミング演習	1	選択		
発生生物学臨海実習	1	選択		
公開臨海実習	2	選択		
生物学特別講義Ⅰ	2	選択		
生物学特別講義Ⅱ	2	選択		
生物学特別講義Ⅲ	2	選択		
生物学特別講義Ⅳ	2	選択		
生物学特別講義Ⅴ	2	選択		
生物学特殊講義Ⅰ	1	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
生物学特殊講義Ⅱ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅳ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅴ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅵ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅶ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅸ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅹ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅠ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅡ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅢ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅣ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅤ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅥ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅦ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅧ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅨ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅩ	1	選択	
化学概論A	2	選択	
化学概論B	2	選択	
地史・古生物学概論	2	選択	

情報科学強化プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
関数論1	2	選択	以下の科目から20単位選択
関数論2	2	選択	
数値計算	2	選択	
数値計算演習	2	選択	
言語理論とオートマトン	2	選択	
計算量理論	2	選択	
情報解析学	2	選択	
組み合わせ論	2	選択	
暗号と符号	2	選択	
フーリエ解析とラプラス変換	2	選択	
微分方程式論	2	選択	
数理統計学	2	選択	
情報倫理	2	選択	
情報と職業	2	選択	
計算モデル論	2	選択	
コンパイラ構成論	2	選択	
形式言語論	2	選択	
人工知能論	2	選択	
自然言語論	2	選択	
バイオインフォマティクス	2	選択	
データベース設計論	2	選択	
コンピュータグラフィックス	2	選択	
コンピュータビジョン	2	選択	
コンピュータネットワークⅡ	2	選択	
ヒューマンインターフェイス	2	選択	
ソフトウェア工学	2	選択	
環境情報論	2	選択	
シミュレーション科学	2	選択	
情報科学特別講義Ⅰ	2	選択	
情報科学特別講義Ⅱ	2	選択	
情報科学特別講義Ⅲ	2	選択	
情報科学特別講義Ⅳ	2	選択	
情報科学特別講義Ⅴ	2	選択	
情報科学演習Ⅰ	2	選択	
情報科学演習Ⅱ	2	選択	
情報科学演習Ⅲ	2	選択	
情報科学演習Ⅳ	2	選択	
情報科学演習Ⅴ	2	選択	

別表第6 専門教育科目(第5条関係)

数学副プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
初等代数学	2	選択	以下の科目から20単位選択
集合論1	1	選択	
集合論2	1	選択	
集合論3	2	選択	
線形代数学5	2	選択	
線形代数学6	2	選択	
微分積分学5	2	選択	
微分積分学6	2	選択	
位相空間論1	2	選択	
位相空間論2	2	選択	
関数論1	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない) (情報科学科は本プログラムとしては履修できない) (情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
関数論2	2	選択	
積分論1	2	選択	
関数解析	2	選択	
微分方程式論	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
多様体論Ⅰ	2	選択	
位相幾何学	2	選択	
微分幾何学	2	選択	
群論Ⅰ	2	選択	
環論	2	選択	
ガロア理論	2	選択	
数理道遥Ⅰ	2	選択	
数理道遥Ⅱ	2	選択	
数理道遥Ⅲ	2	選択	
数理道遥Ⅳ	2	選択	

物理学副プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
物理学概論A	2	選択	以下の科目から20単位選択
物理学概論B	2	選択	
物理学基礎実験	2	選択	
宇宙・地球科学	2	選択	
古典力学(1)	1	選択	
古典力学(2)	1	選択	
解析力学(1)	1	選択	
解析力学(2)	1	選択	
電磁気学Ⅰ(1)	1	選択	
電磁気学Ⅰ(2)	1	選択	
電磁気学Ⅱ(1)	1	選択	
電磁気学Ⅱ(2)	1	選択	
物理学Ⅰ(1)	1	選択	
物理学Ⅰ(2)	1	選択	
物理学Ⅱ(1)	1	選択	
物理学Ⅱ(2)	1	選択	
力学系理論(1)	1	選択	
力学系理論(2)	1	選択	
熱力学(1)	1	選択	
熱力学(2)	1	選択	
量子力学Ⅰ(1)	1	選択	
量子力学Ⅰ(2)	1	選択	
量子力学Ⅱ(1)	1	選択	
量子力学Ⅱ(2)	1	選択	
力学演習(1)	1	選択	
力学演習(2)	1	選択	
電磁気学演習(1)	1	選択	
電磁気学演習(2)	1	選択	
物理学演習(1)	1	選択	
物理学演習(2)	1	選択	
量子力学演習(1)	1	選択	
量子力学演習(2)	1	選択	

化学副プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎化学A	2	必修	
基礎化学B(1)	1	必修	
基礎化学B(2)	1	必修	
化学基礎実験	2	必修	
物理化学Ⅰ	2	選択	以下の科目から14単位選択
物理化学Ⅱ	2	選択	
物理化学Ⅲ	2	選択	
無機化学Ⅰ	2	選択	
無機化学Ⅱ	2	選択	
有機化学Ⅰ	2	選択	
有機化学Ⅱ	2	選択	
分析化学Ⅰ(1)	1	選択	
分析化学Ⅰ(2)	1	選択	
生物化学Ⅰ(1)	1	選択	
生物化学Ⅰ(2)	1	選択	
生物化学Ⅱ	2	選択	
化学英語	2	選択	

生物学副プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎生物学A	2	必修	
基礎生物学B	2	必修	
生物学基礎実験	2	必修	
生化学	2	選択	以下の科目から14単位選択
生物物理学	2	選択	
動物系統学	2	選択	
植物系統学	2	選択	
動物生理学	2	選択	
植物生理学	2	選択	
代謝生物学	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎遺伝学	2	選択	
分子遺伝学	2	選択	
細胞生物学	2	選択	
発生生物学	2	選択	
進化生物学	2	選択	
生物統計学	2	選択	

情報科学副プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
数理基礎論	2	必修	
情報理論	2	必修	
コンピュータシステム序論	2	選択	
確率序論	2	選択	(数学科は本プログラムとしては履修できない)
離散数学	2	選択	(数学科は履修できない)
コンピュータアーキテクチャⅠ	2	選択	
コンピュータネットワークⅠ	2	選択	
マルチメディア	2	選択	
グラフ理論	2	選択	
位相空間論	2	選択	(数学科は本プログラムとしては履修できない)
情報倫理	2	選択	
情報と職業	2	選択	
バイオインフォマティクス	2	選択	
組み合わせ論	2	選択	
暗号と符号	2	選択	
ヒューマンインターフェイス	2	選択	
環境情報論	2	選択	

別表第7 専門教育科目(第5条関係)

学際プログラム 単位数：20			
応用数理学際プログラム			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
以下の(数学)・(物理学)・(情報科学)のグループから2つ以上を選択し、それぞれ6単位以上を修得すること			
(数学)			
関数解析	2	選択	
関数論統論	2	選択	
確率論	2	選択	
フーリエ解析とラプラス変換	2	選択	
ガロア理論	2	選択	
多様体論Ⅰ	2	選択	(数学科は本プログラムとしては履修できない)
微分幾何学	2	選択	
微分方程式論	2	選択	
数理統計学	2	選択	
(物理学)			
数理物理学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
数理物理学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
古典力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
古典力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
電磁気学Ⅰ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
電磁気学Ⅰ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
電磁気学Ⅱ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
電磁気学Ⅱ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅰ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅰ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅱ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅱ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
解析力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
解析力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
熱力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
熱力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
統計力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
統計力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子光学(1)	1	選択	
量子光学(2)	1	選択	
凝縮系物理学(1)	1	選択	
凝縮系物理学(2)	1	選択	
場の量子論(1)	1	選択	
場の量子論(2)	1	選択	
物性物理学序論(1)	1	選択	
物性物理学序論(2)	1	選択	
素粒子物理学(1)	1	選択	
素粒子物理学(2)	1	選択	
相対論(1)	1	選択	
相対論(2)	1	選択	
流体物理学	2	選択	
宇宙物理学(1)	1	選択	
宇宙物理学(2)	1	選択	
物理学基礎研究	2	選択	
(情報科学)			
計算量理論	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
グラフ理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
情報理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
組み合わせ論	2	選択	
コンピュータシステム序論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
暗号と符号	2	選択	
情報解析学	2	選択	

物理・化学学際プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎化学A	2	選択	以下の科目から20単位選択 (化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
化学基礎実験	2	選択	(化学科は履修できない)
物理学概論A	2	選択	(物理学科は履修できない)
物理学概論B	2	選択	(物理学科は履修できない)
物理学基礎実験	2	選択	(物理学科は履修できない)
物理化学Ⅰ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅲ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅳ	2	選択	
無機化学Ⅰ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
有機化学Ⅰ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
分析化学Ⅰ(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
分析化学Ⅰ(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
分析化学Ⅱ	2	選択	
計算化学	2	選択	
分子分光法	2	選択	
量子化学	2	選択	
反応物理化学	2	選択	
生物物理化学	2	選択	
放射化学	2	選択	
量子力学Ⅰ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅰ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅱ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅱ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
熱力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
熱力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
統計力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
統計力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
物理数学Ⅰ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
物理数学Ⅰ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
物性物理学序論(1)	1	選択	
物性物理学序論(2)	1	選択	
固体電子論(1)	1	選択	
固体電子論(2)	1	選択	
相転移物理学	2	選択	
凝縮系物理学(1)	1	選択	
凝縮系物理学(2)	1	選択	
ソフトマター物理	2	選択	
物理実験学(1)	1	選択	
物理実験学(2)	1	選択	
基礎エレクトロニクス(1)	1	選択	
基礎エレクトロニクス(2)	1	選択	
物理学基礎研究	2	選択	
計算物理学講義・演習(1)	2	選択	
計算物理学講義・演習(2)	2	選択	

ケミカルバイオロジー学際プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
有機化学Ⅲ	2	選択	以下の科目から12単位以上選択
生体分子機能・反応学	2	選択	
有機化学Ⅳ	2	選択	
生物物理化学	2	選択	
分子構造生物学(1)	1	選択	
分子構造生物学(2)	1	選択	
植物生理学(1)	1	選択	
植物生理学(2)	1	選択	
細胞生物学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
代謝生物学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
公開臨海実習	2	選択	
動物環境応答学(1)	1	選択	
動物環境応答学(2)	1	選択	
植物機能制御学	2	選択	
遺伝子工学(1)	1	選択	
遺伝子工学(2)	1	選択	
分析化学Ⅱ	2	選択	
計算化学	2	選択	
無機化学Ⅲ	2	選択	
ケミカルバイオロジー特別講義Ⅰ	2	選択	
ケミカルバイオロジー特別講義Ⅱ	2	選択	
高分子化学	2	選択	
生物化学特別講義Ⅰ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
生物化学特別講義Ⅱ	2	選択	
生物化学特別講義Ⅲ	2	選択	
有機化学特別講義Ⅰ	2	選択	
有機化学特別講義Ⅱ	2	選択	
有機化学特別講義Ⅲ	2	選択	
有機化学Ⅰ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
有機化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
生物化学Ⅰ(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
生物化学Ⅰ(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
生物化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎生物学A	2	選択	(生物学科は履修できない)
基礎生物学B	2	選択	(生物学科は履修できない)
生物学基礎実験	2	選択	(生物学科は履修できない)
化学基礎実験	2	選択	(化学科は履修できない)
基礎化学A	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
生物学特別講義Ⅰ	2	選択	以下の科目から本プログラムとして4単位までを含めることができる
生物学特別講義Ⅱ	2	選択	
生物学特別講義Ⅲ	2	選択	
生物学特別講義Ⅳ	2	選択	
生物学特別講義Ⅴ	2	選択	
生物学特殊講義Ⅰ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅱ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅳ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅴ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅵ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅶ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅸ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅹ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅺ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅻ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅼ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅽ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅾ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅿ	1	選択	

生命情報学学際プログラム			単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
生命情報学概論(1)	1	必修	
生命情報学概論(2)	1	必修	
計算生物学(1)	1	選択	以下の科目から6単位以上選択
計算生物学(2)	1	選択	
進化遺伝学	2	選択	
分子遺伝学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
バイオインフォマティクス	2	選択	
コンピュータシステム序論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
生体分子機能・反応学	2	選択	
計算化学	2	選択	
生命情報プログラミング演習	1	選択	
生化学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
細胞生物学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
発生遺伝学(1)	1	選択	
発生遺伝学(2)	1	選択	
動物生理学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
遺伝子工学(1)	1	選択	
遺伝子工学(2)	1	選択	
植物生態学	2	選択	
動物生態学	2	選択	
生物統計学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
分子構造生物学(1)	1	選択	
分子構造生物学(2)	1	選択	
データ構造とアルゴリズム	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
情報解析学	2	選択	
数理基礎論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
確率序論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
グラフ理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
情報理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
組み合わせ論	2	選択	
暗号と符号	2	選択	
データベース設計論	2	選択	
マルチメディア	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
環境情報論	2	選択	
物理化学Ⅰ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
有機化学Ⅰ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
有機化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
有機化学Ⅲ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
有機化学Ⅳ	2	選択	
物理化学Ⅲ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅳ	2	選択	
高分子化学	2	選択	
実験値解析法	2	選択	
分析化学Ⅰ(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
分析化学Ⅰ(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
数理統計学	2	選択	
数理物理学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
数理物理学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
微分幾何学	2	選択	
基礎生物学A	2	選択	(生物学科は履修できない)
基礎生物学B	2	選択	(生物学科は履修できない)
基礎化学A	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
生物学特別講義Ⅰ	2	選択	以下の科目から本プログラムとして4単位までを含めることができる
生物学特別講義Ⅱ	2	選択	
生物学特別講義Ⅲ	2	選択	
生物学特別講義Ⅳ	2	選択	
生物学特別講義Ⅴ	2	選択	
生物学特殊講義Ⅰ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅱ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅳ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅴ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅵ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅶ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅸ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅹ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅺ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅻ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅼ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅽ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅾ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅿ	1	選択	

別表第8 関連科目(第5条関係)

数学科		
授業科目	単位数	備考
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
数理基礎論	2	
コンピュータシステム序論	2	

物理学科		
授業科目	単位数	備考
初等解析学Ⅰ	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学	2	
初等代数学	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	

化学科		
授業科目	単位数	備考
初等解析学Ⅰ	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学	2	
初等代数学	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	

授業科目	単位数	備考
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	

生物学科

授業科目	単位数	備考
初等解析学Ⅰ	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学	2	
初等代数学	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
大気・海洋科学概論	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	

情報科学科

授業科目	単位数	備考
初等代数学	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	

別表第9 全学共通科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
NPO入門	2	
パーソナル・ブランディング	2	
女性のキャリアと経済	2	
ファシリテーション	2	
平和と共生演習	2	
国際共生社会論実習	2	
キャリアプラン	2	
ICTとコミュニケーションスキル	2	
アントレプレナーシップ演習(ディープテック編)	2	
ジェンダード・イノベーション入門	2	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダード・イノベーション実践編(モノ編))	1	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダード・イノベーション実践編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs編(モノ編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(製造業編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(ドローン編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(PoC編))	1	
生活工学特別講義	2	
文理融合ゼミナールⅠ	2	
文理融合ゼミナールⅡ	2	
メディアコンテンツ特別講義	2	
未来開拓入門	1	
女性のキャリアと法制度	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
ダイバーシティ論	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
グローバル・リーダーシップ実習Ⅰ	2	
グローバル・リーダーシップ実習Ⅱ	2	
キャリアプランと進路選択	2	
ハイカラさん講座Ⅰ	2	
インターンシップⅠ	1	
インターンシップⅡ	2	
Ocha-Solution Program(基礎)	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
博物館概論	2	
博物館資料論	2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館教育論	2	
博物館実習	3	
博物館情報・メディア論	2	
日本の伝統芸能	2	
初等解析学Ⅰ	2	(数学科、情報科学科は履修できない)
初等解析学Ⅱ(1)	1	(数学科、情報科学科は履修できない)
初等解析学Ⅱ(2)	1	(数学科、情報科学科は履修できない)
初等線形代数学	2	(数学科、情報科学科は履修できない)
初等代数学	2	
物理学概論A	2	
物理学概論B	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	(生物学科は履修できない)
基礎生物学B	2	(生物学科は履修できない)

授業科目	単位数	備考
大気・海洋科学概論	2	
物理学基礎実験	2	(物理学科は履修できない)
化学基礎実験	2	(化学科は履修できない)
生物学基礎実験	2	(生物学科は履修できない)
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	
生命情報学概論(1)	1	
生命情報学概論(2)	1	
計算生物学(1)	1	
計算生物学(2)	1	
海外交換留学等認定科目	2～12	
Academic Writing	2	
Academic Presentation	2	
Pre Summer Program in English	2	
Summer Program in EnglishⅠ	2	
Summer Program in EnglishⅡ	2	
Summer Program in EnglishⅢ	2	
Summer Program in EnglishⅣ	2	
Summer Program in EnglishⅤ	2	
Summer Program in EnglishⅥ	2	
グローバル・インターンシップⅠ	2	
グローバル・インターンシップⅡ	2	
グローバル・インターンシップⅢ	2	
グローバルEDIⅠ	2	
グローバルEDIⅡ	2	
グローバルEDIⅢ	2	
国際交流実習Ⅰ	2	
国際交流実習Ⅱ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅠ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅡ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅢ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅣ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅤ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅥ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅠ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅡ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅢ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅣ	2	
舞台芸術実践概論Ⅰ	2	
舞台芸術実践概論Ⅱ	2	
文化芸術制作演習Ⅰ	2	
文化芸術制作演習Ⅱ	2	
物理学サブリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
生物学サブリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
英語基礎強化ゼミ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミR/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミR/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
企画・運営力養成講座	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅠ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅡ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)

別表第10 教職課程科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
教職概論(1)	1	
教職概論(2)	1	
教育思想概論(1)	1	
教育思想概論(2)	1	
教育史概論(1)	1	
教育史概論(2)	1	
教育原論(思想・歴史)(1)	1	
教育原論(思想・歴史)(2)	1	
教育・発達心理学概論(1)	1	
教育・発達心理学概論(2)	1	
教育心理	2	
特別支援教育概論(1)	1	
特別支援教育概論(2)	1	
特別支援教育の理論と方法	1	
教育社会学概論(1)	1	
教育社会学概論(2)	1	
教育制度概論	2	
教育原論(社会・制度)(1)	1	
教育原論(社会・制度)(2)	1	
教育課程概論(1)	1	
教育課程概論(2)	1	
教育課程論	2	
数学科教育法Ⅰ	2	
数学科教育法Ⅱ	2	
数学科教育法Ⅲ	2	
数学科教育法Ⅳ	2	
理科教育法Ⅰ	2	

授業科目	単位数	備考
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
道徳教育の理論と方法	2	
総合的な学習の時間の理論と方法	1	
特別活動の理論と方法	2	
教育方法学概論(Ⅰ)	1	
教育方法学概論(Ⅱ)	1	
教育方法論	1	
ICT活用の理論と方法	1	
生徒指導と進路指導の理論と方法	2	
学校カウンセリング	2	
事前・事後指導(中高)	1	
事前・事後指導(小中)	1	
教育実習(中高)	1、2又は4	
教育実習(小中)	4	
教職実践演習	2	
初等科教育法(国語)	2	
初等科教育法(社会)	2	
初等科教育法(算数)	2	
初等科教育法(理科)	2	
初等科教育法(生活)	2	
初等科教育法(音楽)	2	
初等科教育法(図画工作)	2	
初等科教育法(家庭)	2	
初等科教育法(体育)	2	
初等科教育法(外国語)	2	
国語科教育論	1	
社会科教育論	1	
算数科教育論	1	
理科教育論	1	
体育実技	1	
外国語科教育論	1	

別表第11 外国人留学生特別科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
日本語演習ⅠA	2	
日本語演習ⅠB	2	
日本語演習ⅡA	2	
日本語演習ⅡB	2	
日本語演習ⅢA	2	
日本語演習ⅢB	2	
日本語演習ⅣA	2	
日本語演習ⅣB	2	
日本語演習ⅤA	2	
日本語演習ⅤB	2	
日本事情演習ⅠA	2	
日本事情演習ⅠB	2	
日本事情演習ⅡA	2	
日本事情演習ⅡB	2	
日本事情演習ⅢA	2	
日本事情演習ⅢB	2	
日本事情演習ⅣA	2	
日本事情演習ⅣB	2	
日本事情演習ⅤA	2	
日本事情演習ⅤB	2	
総合日本語サマープログラムⅠ	2	
総合日本語サマープログラムⅡ	2	
総合日本語Ⅰ	2	
総合日本語Ⅱ	2	

(趣旨)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学生生活科学部の教育課程及び履修方法については、国立大学法人お茶の水女子大学学則、国立大学法人お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則又はこれに基づく別段の定めによるほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、コア科目、専門教育科目、学部共通科目、自由科目、全学共通科目、教職課程科目及び外国人留学生特別科目とする。

2 コア科目は、文理融合リベラルアーツ、基礎講義、情報、外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語及びアジア諸語)及びスポーツ健康とする。

3 専門教育科目は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラム及び専修プログラムを構成する科目とする。

4 学部共通科目は、各学科の基礎となる科目又はきわめて関連の深い科目であって必修又は選択として指定する。

5 自由科目は、生活科学部の他学科の科目及び他学部の科目とする。

6 全学で共通して履修できる科目として、全学共通科目を置く。

7 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める教職課程科目を置く。

8 外国人留学生に対して、外国人留学生特別科目を置く。

(他学部の授業科目の履修)

第3条 文教育学部、理学部及び共創工学部の授業科目は、これを履修することができる。

(単位の計算方法)

第4条 各授業科目の単位数の計算方法は、1単位が45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

二 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

三 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、食物栄養学科が開設する専門科目については、45時間の授業をもって1単位とし、教育実習については、別に定める。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文については別に定める。

(卒業要件)

第5条 卒業するためには、別表第1に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。ただし、食物栄養学科については、別表第1-2に定めるところにより、138単位以上を修得しなければならない。

2 人間生活学科及び心理学科において履修すべき授業科目及び単位数は、別表第3から別表第7及び別表第9までに定めるところとする。また、食物栄養学科においては、別表第3、別表第8及び別表第9に定めるところとする。

3 学部共通科目の授業科目及び単位数は、別表第9に定めるところとする。

4 全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第10に定めるところとする。

5 外国人留学生特別科目の授業科目及び単位数は、別表第12に定めるところとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考10とおとりとする。

(教員免許状)

第6条 教職課程科目の授業科目及び単位数は、別表第11に定めるところとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考9のとおりとする。

(履修手続)

第7条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに指定する方法により申請し、担当教員の許可を得なければならない。

2 学生が前項により履修申請した授業科目の履修を取消すには、所定の期日までに指定する方法により履修取消し手続きを行い、担当教員の許可を得なければならない。

3 学生が授業科目について聴講のみを希望する場合は、担当教員の許可を得なければならない。

(単位の授与)

第8条 授業科目を履修した者については、試験(論文、報告等を含む。以下同じ。)により学修の成果を評価して、所定の単位を与える。

2 試験は、原則として学年又は学期末に行うこととする。ただし、病気その他正当な理由で試験を受けることができなかった者は、別に定める手続きにより追試験を受けることができる。

(成績の評価)

第9条 成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して決定する。

2 成績の評価は、「S」(基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている)、「A」(基本的な目標を十分に達成している)、「B」(基本的な目標を達成している)、「C」(基本的な目標を最低限度達成している)、「D」(基本的な目標を達成していない。再履修が必要である)の5種類の評語をもって表し、「S」、「A」、「B」及び「C」を合格とし、「D」を不合格とする。

3 前項の成績の評価又は科目の原成績(素点)に基づき、成績の数値平均GradePointAverage(以下「GPA」という。)を算出するものとする。GPAに関し必要な事項は別に定める。

(成績不振の学生に対する学修指導)

第10条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学修状況が著しく不良の者には、成績不振の学修指導を行うことがある。

2 その他学修指導に関しては、別に定める。

(細則)

第11条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、生活科学部教授会が定める。

附則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学者から適用する。

- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行し、改正後の別表第1から別表第4まで及び別表第10の規定は、平成19年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、平成19年10月24日から施行し、平成19年10月1日から適用する。
附則
- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、平成25年10月1日から施行する。
附則
- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3から第7まで及び第9から第14までの規定は、平成26年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、平成26年10月1日から施行する。
附則
- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 3 前2項の規定にかかわらず、第10条の改正規定は、この改正規程の施行前から引き続き生活科学部に在学する者から適用する。
附則
- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行し、平成31年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行し、令和2年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行し、令和3年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行し、令和4年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、令和5年10月25日から施行し、令和5年10月1日から適用する。
附則
- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行し、令和6年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
附則
この規程は、令和6年10月1日から施行する。
附則
- 1 この規程は、令和7年4月1日から施行し、令和7年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1 (第5条関係)

学 科 別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位										自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数
		コア科目					専門教育科目(必修プログラム)					コ ア 科 目	専 門 教 育 科 目	学 部 共 通 科 目	自 由 科 目	全 学 共 通 科 目	教 職 課 程 科 目	必修以外の 選択プログラム	
		文 理 融 合 リ ベ ラ ル ア ー ツ	基 礎 講 義	情 報	外 国 語	ス ポ ー ツ 健 康	主 ブ ロ グ ラ ム	強 化 ブ ロ グ ラ ム	副 ブ ロ グ ラ ム	学 際 ブ ロ グ ラ ム	専 修 ブ ロ グ ラ ム								
食物栄養学科				30						105				3				138	
人間生活学科				34			42		20					28				124	
心理学科				34			42		20					28				124	

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
- 2 外国語は、12単位を必修とする。
- 3 スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別途定める。
- 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
- 5 強化プログラムを選択する場合は、所属学部が開設するプログラムから一つを選択し、副プログラム・学際プログラムを選択する場合は、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、所属学部及び他学部が開設するプログラムから一つを選択すること。
- 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
- 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
- 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 9 教職課程科目の単位については、食物栄養学科、人間生活学科及び心理学科は14単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、18単位までをコア科目として取り扱う。
- 11 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第9のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。

別表第2 (第5条関係)

【(生)二つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科	哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	舞踊教育(副)	音楽表現(副)	教育学・子ども学(学際)	グローバル文化学(学際)
食物栄養学科													
人間生活学科	生活社会科学	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○
	生活文化学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
心理学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(生)二つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
食物栄養学科									
人間生活学科	生活社会科学	×	×	×	×	×	×	×	×
	生活文化学	×	×	×	×	×	×	×	×
心理学科		○	○	○	×	×	○	○	×

【(生)二つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科	生活社会科学(副)	生活文化学(副)	心理学(副)	消費者学(学際)
食物栄養学科				
人間生活学科	生活社会科学	○	○	○
	生活文化学	○	○	○
心理学科	○	○		○

【(生)二つ目の選択プログラム(工・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科		人間環境工学（学際）	文化情報工学（学際）
食物栄養学科			
人間生活学科	生活社会科学	×	○
	生活文化学	○	○
心理学科		○	○

【(生)三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	舞踊教育(副)	音楽表現(副)	教育学・子ども学(学際)	グローバル文化学(学際)
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間生活学科	生活社会科学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活文化学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
心理学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(生) 三つ目の選択プログラム (理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	数学 (副)	物理学 (副)	化学 (副)	生物学 (副)	情報科学 (副)	応用数理 (学際)	物理・化学 (学際)	ケミカルバイオロジー (学際)	生命情報学 (学際)
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間生活学科	生活社会科学	○	○	○	○	×	×	×	×
	生活文化学	○	○	○	○	×	×	×	×
心理学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(生) 三つ目の選択プログラム (生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	生活社会科学 (副)	生活文化学 (副)	心理学 (副)	消費者学 (学際)
食物栄養学科	○	○	○	○
人間生活学科	生活社会科学	○	○	○
	生活文化学	○	○	○
心理学科	○	○		○

【(生) 三つ目の選択プログラム (工・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	人間環境工学 (学際)	文化情報工学 (学際)
食物栄養学科	○	○
人間生活学科	生活社会科学	○
	生活文化学	○
心理学科	○	○

別表第3 コア科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
文理融合リベラルアーツ		
リベラルアーツ演習Ⅰ	2	
リベラルアーツ演習Ⅱ	2	
系列1 生命と環境 (講義)		
生命と環境1	2	
生命と環境2	2	
生命と環境3	2	
生命と環境4	2	
生命と環境5	2	
生命と環境6	2	
(演習・実習)		
生命と環境21	2	
生命と環境22	2	
系列2 色・音・香 (講義)		
色・音・香1	2	
色・音・香2	2	
色・音・香3	2	
色・音・香4	2	
色・音・香5	2	
色・音・香6	2	
色・音・香7	2	
色・音・香8	2	
色・音・香9	2	
色・音・香10	2	
(演習・実習)		
色・音・香22	2	
系列3 生活世界の安全保障 (講義)		
生活世界の安全保障1	2	
生活世界の安全保障2	2	
生活世界の安全保障3	2	
生活世界の安全保障4	2	
生活世界の安全保障5	2	
生活世界の安全保障7	2	
生活世界の安全保障8	2	
生活世界の安全保障9	2	
生活世界の安全保障10	2	
(演習・実習)		
生活世界の安全保障23	2	
生活世界の安全保障26	2	
系列4 ことばと世界 (講義)		
ことばと世界1	2	
ことばと世界2	2	
ことばと世界3	2	
ことばと世界5	2	

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
ことばと世界6	2	
ことばと世界7	2	
ことばと世界8	2	
ことばと世界10	2	
ことばと世界11	2	
ことばと世界12	2	
ことばと世界13	2	
(演習・実習)		
ことばと世界27	2	
系列5 ジェンダー (講義)		
ジェンダー1	2	
ジェンダー2	2	
ジェンダー3	2	
ジェンダー4	2	
ジェンダー5	2	
ジェンダー6	2	
ジェンダー8	2	
ジェンダー9	2	
ジェンダー10	2	
基礎講義		
哲学	2	
法学Ⅰ(日本国憲法)	2	
法学Ⅱ(法学入門)	2	
政治学入門	2	
ミクロ経済学入門	2	
マクロ経済学入門	2	
基礎微分積分学	2	
基礎線形代数学	2	
統計学	2	
総合コース	1～4	
お茶の水女子大学論	2	
コンピテンシー基礎論	2	
防災・危機管理	1	
自然災害に対する防災・減災	1	
学修ポートフォリオ入門	1	
課題研究支援プログラム	1	
情報 (必修)		
情報処理演習(1)	1	
情報処理演習(2)	1	
(選択)		
メディアリテラシ(1)	1	
メディアリテラシ(2)	1	
文理融合データサイエンスⅠ	2	
文理融合データサイエンスⅡ	2	
文理融合データサイエンスⅢ	2	
文理融合データサイエンスⅣ	2	
情報科学(1)	1	
情報科学(2)	1	
情報処理学(1)	1	

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
情報処理学(2)	1	
プログラミング演習 1	2	
プログラミング演習 2	2	
コンピュータ演習 1	2	
コンピュータ演習 2	2	
情報学演習 1	2	
情報学演習 2	2	
外国語(必修)	12	●外国語の必修単位数は12単位。 英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、一つの言語について8単位修得すること。残りの4単位は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から修得すること。外国語科目の修得単位数のうち、必修単位数を超える分はコア科目必修単位または「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 *および**：コア科目(外国語)の必修単位に充てることができる基本科目。 ***：第二外国語として8単位未満履修する場合のみ必修単位に充てることができる準基本科目。 *、*および***のついでない科目の単位は、特別措置等による認定がない限り、必修単位に充てることができる。
英語		
* 基礎英語 I (1)	1	(I)
* 基礎英語 I (2)	1	(I)
* 基礎英語 II (1)	1	(I)
* 基礎英語 II (2)	1	(I)
* 中級英語 I (1)	1	(II)
* 中級英語 I (2)	1	(II)
* 中級英語 II (1)	1	(II)
* 中級英語 II (2)	1	(II)
** 英語コミュニケーションⅢ(1)	1	(II～IV)
** 英語コミュニケーションⅢ(2)	1	(II～IV)
** 英語コミュニケーションⅣ(1)	1	(II～IV)
** 英語コミュニケーションⅣ(2)	1	(II～IV)
** 英語コミュニケーションⅤ(1)	1	(II～IV)
** 英語コミュニケーションⅤ(2)	1	(II～IV)
** 英語コミュニケーションⅥ(1)	1	(II～IV)
** 英語コミュニケーションⅥ(2)	1	(II～IV)
** 英語プレゼンテーションⅠ(1)	1	(II～IV)
** 英語プレゼンテーションⅠ(2)	1	(II～IV)
** 英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	(II～IV)
** 英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	(II～IV)
** グローバル・イングリッシュⅠ(1)	1	(II～IV)
** グローバル・イングリッシュⅠ(2)	1	(II～IV)
** グローバル・イングリッシュⅡ(1)	1	(II～IV)
** グローバル・イングリッシュⅡ(2)	1	(II～IV)
** Advanced Communication TrainingⅠ(1)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅠ(2)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅡ(1)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅡ(2)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅢ(1)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅢ(2)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅣ(1)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅣ(2)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅤ(1)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅤ(2)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅥ(1)	1	(I～IV)
** Advanced Communication TrainingⅥ(2)	1	(I～IV)
英語コミュニケーションⅠ(1)	1	(I・II)
英語コミュニケーションⅠ(2)	1	(I・II)
英語コミュニケーションⅡ(1)	1	(I・II)
英語コミュニケーションⅡ(2)	1	(I・II)
上級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
ビジネス英語Ⅰ(1)	1	(II～IV)
ビジネス英語Ⅰ(2)	1	(II～IV)
ビジネス英語Ⅱ(1)	1	(II～IV)
ビジネス英語Ⅱ(2)	1	(II～IV)
時事英語Ⅰ(1)	1	(II～IV)
時事英語Ⅰ(2)	1	(II～IV)
時事英語Ⅱ(1)	1	(II～IV)
時事英語Ⅱ(2)	1	(II～IV)
ドイツ語		
*基礎ドイツ語Ⅰ	2	(I)
*基礎ドイツ語Ⅱ	2	(I)
*基礎ドイツ語Ⅲ	2	(I)
*基礎ドイツ語Ⅳ	2	(I)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(1)	1	(I)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(2)	1	(I)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(1)	1	(I)
**基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(2)	1	(I)
**発展ドイツ語Ⅰ(1)	1	(II)
**発展ドイツ語Ⅰ(2)	1	(II)
**発展ドイツ語Ⅱ(1)	1	(II)
**発展ドイツ語Ⅱ(2)	1	(II)
**発展ドイツ語Ⅲ(1)	1	(II)
**発展ドイツ語Ⅲ(2)	1	(II)
**発展ドイツ語Ⅳ(1)	1	(II)
**発展ドイツ語Ⅳ(2)	1	(II)
***基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)	1	(I～IV)
***基礎ドイツ語会話Ⅰ(2)	1	(I～IV)
***基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)	1	(I～IV)
***基礎ドイツ語会話Ⅱ(2)	1	(I～IV)
***ドイツ語初歩Ⅰ(1)	1	(I～IV)
***ドイツ語初歩Ⅰ(2)	1	(I～IV)
***ドイツ語初歩Ⅱ(1)	1	(I～IV)
***ドイツ語初歩Ⅱ(2)	1	(I～IV)
フランス語		
*基礎フランス語Ⅰ	2	(I)
*基礎フランス語Ⅱ	2	(I)
*基礎フランス語Ⅲ	2	(I)
*基礎フランス語Ⅳ	2	(I)
**基礎フランス語(応用)Ⅰ(1)	1	(I)
**基礎フランス語(応用)Ⅰ(2)	1	(I)
**基礎フランス語(応用)Ⅱ(1)	1	(I)
**基礎フランス語(応用)Ⅱ(2)	1	(I)
**発展フランス語Ⅰ(1)	1	(II)
**発展フランス語Ⅰ(2)	1	(II)
**発展フランス語Ⅱ(1)	1	(II)
**発展フランス語Ⅱ(2)	1	(II)
**発展フランス語Ⅲ(1)	1	(II)
**発展フランス語Ⅲ(2)	1	(II)
**発展フランス語Ⅳ(1)	1	(II)
**発展フランス語Ⅳ(2)	1	(II)
***基礎フランス語会話Ⅰ(1)	1	(I～IV)
***基礎フランス語会話Ⅰ(2)	1	(I～IV)
***基礎フランス語会話Ⅱ(1)	1	(I～IV)
***基礎フランス語会話Ⅱ(2)	1	(I～IV)
***フランス語初歩Ⅰ(1)	1	(I～IV)
***フランス語初歩Ⅰ(2)	1	(I～IV)
***フランス語初歩Ⅱ(1)	1	(I～IV)
***フランス語初歩Ⅱ(2)	1	(I～IV)
中国語		
*基礎中国語Ⅰ	2	(I)
*基礎中国語Ⅱ	2	(I)
*基礎中国語Ⅲ	2	(I)
*基礎中国語Ⅳ	2	(I)
**基礎中国語(応用)Ⅰ(1)	1	(I)
**基礎中国語(応用)Ⅰ(2)	1	(I)
**基礎中国語(応用)Ⅱ(1)	1	(I)
**基礎中国語(応用)Ⅱ(2)	1	(I)
**発展中国語Ⅰ(1)	1	(II)
**発展中国語Ⅰ(2)	1	(II)
**発展中国語Ⅱ(1)	1	(II)
**発展中国語Ⅱ(2)	1	(II)
**発展中国語Ⅲ(1)	1	(II)
**発展中国語Ⅲ(2)	1	(II)
**発展中国語Ⅳ(1)	1	(II)
**発展中国語Ⅳ(2)	1	(II)
***基礎中国語会話Ⅰ(1)	1	(II～IV)
***基礎中国語会話Ⅱ(1)	1	(II～IV)
***基礎中国語会話Ⅱ(2)	1	(II～IV)
***中国語初歩Ⅰ(1)	1	(I～IV)
***中国語初歩Ⅰ(2)	1	(I～IV)
***中国語初歩Ⅱ(1)	1	(I～IV)
***中国語初歩Ⅱ(2)	1	(I～IV)
中国語プレゼンテーションⅠ	2	(I～IV)
中国語プレゼンテーションⅡ	2	(I～IV)
ロシア語		
*ロシア語初歩Ⅰ(1)	1	(I～IV)
*ロシア語初歩Ⅰ(2)	1	(I～IV)
*ロシア語初歩Ⅱ(1)	1	(I～IV)
*ロシア語初歩Ⅱ(2)	1	(I～IV)
*ロシア語会話Ⅰ(1)	1	(I～IV)
*ロシア語会話Ⅰ(2)	1	(I～IV)
*ロシア語会話Ⅱ(1)	1	(I～IV)
*ロシア語会話Ⅱ(2)	1	(I～IV)
朝鮮語		
*朝鮮語初歩Ⅰ(1)	1	(I～IV)
*朝鮮語初歩Ⅰ(2)	1	(I～IV)
*朝鮮語初歩Ⅱ(1)	1	(I～IV)
*朝鮮語初歩Ⅱ(2)	1	(I～IV)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
*朝鮮語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*朝鮮語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
スペイン語		
*現代スペイン語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代スペイン語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
*スペイン語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
イタリア語		
*現代イタリア語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代イタリア語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
アジア諸語		
*現代アジア諸語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代アジア諸語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代アジア諸語Ⅲ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
*現代アジア諸語Ⅳ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
スポーツ健康(必修)		
スポーツ健康実習	2	(Ⅰ)
スポーツ健康(選択)		
スポーツ科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
健康科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
生涯スポーツ	0.5～3	(Ⅰ～Ⅳ)

別表第4 専門教育科目(第5条関係)

主プログラム

生活社会科学主プログラム 単位数：42			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間生活論(1)	1	必修	
人間生活論(2)	1	必修	
生活社会科学概論(1)	1	必修	
生活社会科学概論(2)	1	必修	
生活文化学概論	2	選択	以下の科目から
生活科学概論	2	選択	2単位以上を選択
生活社会科学演習(1)	1	必修	
生活社会科学演習(2)	1	必修	
家族社会学(1)	1	必修	
家族社会学(2)	1	必修	
応用生活統計学(1)	1	必修	
応用生活統計学(2)	1	必修	
社会統計学Ⅰ	2	必修	
ジェンダー論	2	必修	
生活関連法	2	必修	
家族法	2	必修	
生活政治学(1)	1	必修	
生活政治学(2)	1	必修	
家政経済学概論	2	必修	
消費者経済学	2	必修	
家族関係論	2	必修	
社会保障論	2	必修	
卒業論文	8	必修	
調理実習	1	選択	
生活社会科学選択基礎	2	選択	
生活社会科学高大接続セミナー	1	選択	
家族法演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から
家族法演習Ⅱ	2	選択	4単位選択
生活法学演習Ⅰ	2	選択	
生活法学演習Ⅱ	2	選択	
生活政治学演習Ⅰ	2	選択	
生活政治学演習Ⅱ	2	選択	
家族社会学演習Ⅰ	2	選択	
家族社会学演習Ⅱ	2	選択	
生活福祉学演習Ⅰ	2	選択	
生活福祉学演習Ⅱ	2	選択	
消費者経済学演習Ⅰ	2	選択	
消費者経済学演習Ⅱ	2	選択	
生活経済学演習Ⅰ	2	選択	
生活経済学演習Ⅱ	2	選択	
労働経済学演習Ⅰ	2	選択	
労働経済学演習Ⅱ	2	選択	

生活文化学主プログラム 単位数：42			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間生活論(1)	1	必修	
人間生活論(2)	1	必修	
生活文化学概論	2	必修	
生活社会科学概論(1)	1	選択	以下の科目から
生活社会科学概論(2)	1	選択	2単位以上を選択
生活科学概論	2	選択	
生活造形論	2	必修	
民俗学	2	必修	
服飾文化概論	2	必修	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
比較生活文化論	2	必修	
児童学概論	2	必修	
服飾史論(1)	1	選択	以下の科目から
服飾史論(2)	1	選択	10単位以上を選択
服飾史資料論(1)	1	選択	
服飾史資料論(2)	1	選択	
比較生活文化史Ⅰ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅰ(2)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(2)	1	選択	
民俗文化史論(1)	1	選択	
民俗文化史論(2)	1	選択	
歴史民俗文化論(1)	1	選択	
歴史民俗文化論(2)	1	選択	
保育デザイン論(1)	1	選択	
保育デザイン論(2)	1	選択	
発達と文化(1)	1	選択	
発達と文化(2)	1	選択	
服飾史Ⅰ(1)	1	選択	
服飾史Ⅰ(2)	1	選択	
服飾史Ⅱ(1)	1	選択	
服飾史Ⅱ(2)	1	選択	
生活文化学論文演習Ⅰ	2	必修	
生活文化学論文演習Ⅱ	2	必修	
卒業論文	8	必修	
比較文化論基礎演習	2	選択	以下の科目から
民俗文化史基礎演習	2	選択	4単位以上を選択
日本服飾史基礎演習	2	選択	
服飾文化論基礎演習	2	選択	
保育デザイン論基礎演習	2	選択	
保育実践論	2	選択	
被服学概論	2	選択	
家族関係論	2	選択	
家政経済学概論	2	選択	
被服製作実習	1	選択	
調理実習	1	選択	
生活文化学選択基礎	2	選択	
生活文化学高大接続セミナー	1	選択	

心理学主プログラム 単位数：42			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
こころの科学(心理学概論)	2	必修	
心理学研究法(心理学研究法)	2	必修	
認知心理学概論(知覚・認知心理学)	2	必修	
発達心理学概論(発達心理学)	2	必修	
社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	2	必修	
臨床心理学概論(臨床心理学概論)	2	必修	
心理学基礎演習	2	必修	
心理学統計法：基礎(心理学統計法)	2	必修	
心理学統計法：発展	2	必修	
心理学基礎実験演習(心理学実験)	2	必修	
心理学基礎実践演習(心理演習)	2	必修	
心理学専門英語	2	必修	
卒業論文	8	必修	
心理学選択基礎	2	選択	
心理学高大接続セミナー	1	選択	
心理職の職業倫理(公認心理師の職責)	2	選択	
心理臨床に関する法と制度(関係行政論)	2	選択	
心理学実践演習：質問紙法	2	選択	
心理学実践演習：質的研究法	2	選択	
生活科学概論	2	選択	
心理臨床実習Ⅰ(心理実習Ⅰ)	2	選択	以下の科目から
心理臨床実習Ⅱ(心理実習Ⅱ)	2	選択	8単位以上を選択
認知神経科学(神経・生理心理学)	2	選択	
学習と言語の心理学(学習・言語心理学)	2	選択	
臨床医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	選択	
応用社会心理学	2	選択	
福祉心理学(福祉心理学)	2	選択	
コミュニティ心理学	2	選択	
司法心理学(司法・犯罪心理学)	2	選択	
産業心理学(産業・組織心理学)	2	選択	
健康心理学(健康・医療心理学)	2	選択	
心理療法学(心理学的支援法)	2	選択	
障害臨床心理学(障害者・障害児心理学)	2	選択	
心理臨床アセスメント(心理的アセスメント)	2	選択	
医療心理学(精神疾患とその治療)	2	選択	
感情・人格心理学(感情・人格心理学)	2	選択	
発達臨床心理学	2	選択	
家族心理学	2	選択	
学校臨床心理学(教育・学校心理学)	2	選択	
認知心理学演習	2	選択	以下の科目から
認知発達心理学演習	2	選択	2単位以上を選択
社会心理学演習	2	選択	
ジェンダー心理学演習	2	選択	
健康心理学演習	2	選択	
障害臨床心理学演習	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
心理療法学演習	2	選択	
人格発達心理学演習	2	選択	
犯罪心理学演習	2	選択	
心理支援学演習	2	選択	

別表第5 専門教育科目(第5条関係)

強化プログラム

生活社会科学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
社会福祉学	2	必修		
労働経済学総論	2	必修		
社会統計学Ⅱ(1)	1	必修		
社会統計学Ⅱ(2)	1	必修		
生活社会科学論文演習Ⅰ	2	必修		
生活社会科学論文演習Ⅱ	2	必修		
家族法演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から4単位までを含めることができる	
家族法演習Ⅱ	2	選択		
生活法学演習Ⅰ	2	選択		
生活法学演習Ⅱ	2	選択		
生活政治学演習Ⅰ	2	選択		
生活政治学演習Ⅱ	2	選択		
家族社会学演習Ⅰ	2	選択		
家族社会学演習Ⅱ	2	選択		
生活福祉学演習Ⅰ	2	選択		
生活福祉学演習Ⅱ	2	選択		
消費者経済学演習Ⅰ	2	選択		
消費者経済学演習Ⅱ	2	選択		
生活経済学演習Ⅰ	2	選択		
生活経済学演習Ⅱ	2	選択		
労働経済学演習Ⅰ	2	選択		
労働経済学演習Ⅱ	2	選択		
ジェンダー政策論	2	選択		
法女性学	2	選択		
労働法	2	選択		
比較ジェンダー論	2	選択		
政治とジェンダー	2	選択		
消費者教育論	2	選択		
企業経営論	2	選択		
老年学	2	選択		
児童福祉論	2	選択		
人口学	2	選択		
地域社会論	2	選択		
生活調査法	2	選択		
生活社会調査実習	2	選択		
生活経営学	2	選択		
財産と法	2	選択		
刑事法	2	選択		
生活法学	2	選択		
イタリヤ法史	2	選択		
生活と行政	2	選択		
生活経済学	2	選択		
生活と金融	2	選択		
生活と財政	2	選択		
国際経済と生活	2	選択		
国民経済と生活	2	選択		
マーケティング	2	選択		
児童学概論	2	選択		
生活社会科学特論	2	選択		
生活社会科学実習	2	選択		
社会問題論(1)	1	選択	以下の科目から4単位までを含めることができる	
社会問題論(2)	1	選択		
現代社会論	2	選択		
現代生活論	2	選択		
社会意識論	2	選択		
比較社会論	2	選択		
社会政策論Ⅰ	2	選択		
社会政策論Ⅱ	2	選択		
都市地理学	2	選択		
経済地理学	2	選択		
社会地理学	2	選択		
生活文化学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
比較文化論演習	2	選択	以下の科目から2単位以上選択	
民俗文化史演習	2	選択		
服飾文化論演習	2	選択		
日本服飾史演習	2	選択		
保育デザイン論演習	2	選択		
服飾史資料論(1)	1	選択		
服飾史資料論(2)	1	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
服飾史Ⅱ(1)	1	選択	
服飾史Ⅱ(2)	1	選択	
歴史民俗文化論(1)	1	選択	
歴史民俗文化論(2)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(2)	1	選択	
発達と文化(1)	1	選択	
発達と文化(2)	1	選択	
日本服飾史基礎演習	2	選択	
服飾文化論基礎演習	2	選択	
民俗文化史基礎演習	2	選択	
比較文化論基礎演習	2	選択	
保育デザイン論基礎演習	2	選択	
民俗文化史各論	2	選択	
環境デザイン論	2	選択	
生活文化論	2	選択	
生活造形史	2	選択	
工芸史	2	選択	
地域文化論	2	選択	
現代文化論	2	選択	
文化情報論	2	選択	
美学・芸術学	2	選択	
児童文化論	2	選択	
西洋服飾論	2	選択	
日本服飾論	2	選択	
服飾文化各論	2	選択	
服飾制作実習	1	選択	
服飾文化実習	1	選択	
生活文化実習	1	選択	
生活文化学専門英語	2	選択	
共創デザインPBL(LIDEE演習)Ⅰ	1	選択	
共創デザインPBL(LIDEE演習)Ⅱ	1	選択	
生活芸術論	2	選択	

心理学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
心理臨床実習Ⅰ(心理実習Ⅰ)	2	選択	以下の科目から20単位以上選択	
心理臨床実習Ⅱ(心理実習Ⅱ)	2	選択		
認知神経科学(神経・生理心理学)	2	選択		
学習と言語の心理学(学習・言語心理学)	2	選択		
臨床医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	選択		
認知心理学演習	2	選択		
認知発達心理学演習	2	選択		
応用社会心理学	2	選択		
福祉心理学(福祉心理学)	2	選択		
コミュニティ心理学	2	選択		
司法心理学(司法・犯罪心理学)	2	選択		
産業心理学(産業・組織心理学)	2	選択		
社会心理学演習	2	選択		
ジェンダー心理学演習	2	選択		
健康心理学(健康・医療心理学)	2	選択		
心理療法学(心理的支援法)	2	選択		
障害臨床心理学(障害者・障害児心理学)	2	選択		
心理臨床アセスメント(心理的アセスメント)	2	選択		
医療心理学(精神疾患とその治療)	2	選択		
健康心理学演習	2	選択		
障害臨床心理学演習	2	選択		
心理療法学演習	2	選択		
感情・人格心理学(感情・人格心理学)	2	選択		
発達臨床心理学	2	選択		
家族心理学	2	選択		
学校臨床心理学(教育・学校心理学)	2	選択		
人格発達心理学演習	2	選択		
犯罪心理学演習	2	選択		
心理支援学演習	2	選択		
心理臨床に関する法と制度(関係行政論)	2	選択		

別表第6 専門教育科目(第5条関係)

副プログラム

生活社会科学副プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
生活社会科学概論(1)	1	必修	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たす必要がある。	
生活社会科学概論(2)	1	必修		
生活社会科学演習(1)	1	必修		
生活社会科学演習(2)	1	必修		
家族法演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から4単位までを含めることができる	
家族法演習Ⅱ	2	選択		
生活法学演習Ⅰ	2	選択		
生活法学演習Ⅱ	2	選択		
生活政治学演習Ⅰ	2	選択		
生活政治学演習Ⅱ	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
家族社会学演習Ⅰ	2	選択	
家族社会学演習Ⅱ	2	選択	
生活福祉学演習Ⅰ	2	選択	
生活福祉学演習Ⅱ	2	選択	
消費者経済学演習Ⅰ	2	選択	
消費者経済学演習Ⅱ	2	選択	
生活経済学演習Ⅰ	2	選択	
生活経済学演習Ⅱ	2	選択	
労働経済学演習Ⅰ	2	選択	
労働経済学演習Ⅱ	2	選択	
ジェンダー論	2	選択	
生活関連法	2	選択	
家族法	2	選択	
生活政治学(1)	1	選択	
生活政治学(2)	1	選択	
家政経済学概論	2	選択	
消費者経済学	2	選択	
ジェンダー政策論	2	選択	
労働法	2	選択	
政治とジェンダー	2	選択	
社会福祉学	2	選択	
消費者教育論	2	選択	
労働経済学総論	2	選択	
社会保障論	2	選択	
児童福祉論	2	選択	
地域社会論	2	選択	
生活経営学	2	選択	
財産と法	2	選択	
刑事法	2	選択	
生活法学	2	選択	
イタリヤ法史	2	選択	
生活と行政	2	選択	
生活経済学	2	選択	
生活と金融	2	選択	
生活と財政	2	選択	
国際経済と生活	2	選択	
国民経済と生活	2	選択	
家族関係論	2	選択	
法女性学	2	選択	
比較ジェンダー論	2	選択	
家族社会学(1)	1	選択	
家族社会学(2)	1	選択	
老年学	2	選択	
生活社会科学特論	2	選択	

生活文化学副プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
生活造形論	2	選択	以下の科目から 4単位以上必修
民俗学	2	選択	
服飾文化概論	2	選択	
比較生活文化論	2	選択	
児童学概論	2	選択	
日本服飾史基礎演習	2	選択	以下の科目から 2単位以上必修
民俗文化史基礎演習	2	選択	
服飾文化論基礎演習	2	選択	
比較文化論基礎演習	2	選択	
保育デザイン論基礎演習	2	選択	
服飾史論(1)	1	選択	以下の科目から 14単位以上選択
服飾史論(2)	1	選択	
服飾史資料論(1)	1	選択	
服飾史資料論(2)	1	選択	
服飾史Ⅰ(1)	1	選択	
服飾史Ⅰ(2)	1	選択	
服飾史Ⅱ(1)	1	選択	
服飾史Ⅱ(2)	1	選択	
比較生活文化史Ⅰ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅰ(2)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(2)	1	選択	
民俗文化史論(1)	1	選択	
民俗文化史論(2)	1	選択	
歴史民俗文化論(1)	1	選択	
歴史民俗文化論(2)	1	選択	
保育デザイン論(1)	1	選択	
保育デザイン論(2)	1	選択	
発達と文化(1)	1	選択	
発達と文化(2)	1	選択	
民俗文化史各論	2	選択	
環境デザイン論	2	選択	
生活文化論	2	選択	
生活造形史	2	選択	
工芸史	2	選択	
地域文化論	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
現代文化論	2	選択	
文化情報論	2	選択	
美学・芸術学	2	選択	
西洋服飾論	2	選択	
日本服飾論	2	選択	
服飾文化各論	2	選択	
生活芸術論	2	選択	
児童文化論	2	選択	

心理学副プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
こころの科学(心理学概論)	2	選択	以下の科目から 20単位以上選択
心理学研究法(心理学研究法)	2	選択	
認知心理学概論(知覚・認知心理学)	2	選択	
発達心理学概論(発達心理学)	2	選択	
社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	2	選択	
臨床心理学概論(臨床心理学概論)	2	選択	
認知神経科学(神経・生理心理学)	2	選択	
学習と言語の心理学(学習・言語心理学)	2	選択	
臨床医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	選択	
応用社会心理学	2	選択	
福祉心理学(福祉心理学)	2	選択	
コミュニテイ心理学	2	選択	
司法心理学(司法・犯罪心理学)	2	選択	
産業心理学(産業・組織心理学)	2	選択	
健康心理学(健康・医療心理学)	2	選択	
心理療法学(心理学的支援法)	2	選択	
障害臨床心理学(障害者・障害児心理学)	2	選択	
心理臨床アセスメント(心理的アセスメント)	2	選択	
医療心理学(精神疾患とその治療)	2	選択	
感情・人格心理学(感情・人格心理学)	2	選択	
発達臨床心理学	2	選択	
家族心理学	2	選択	
学校臨床心理学(教育・学校心理学)	2	選択	

別表第7 専門教育科目(第5条関係)

学際プログラム

消費者学学際プログラム 単位数：20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
消費者科学入門	2	必修	
国民経済と生活	2	必修	
消費者法	2	必修	
消費者教育論	2	選択	以下の科目から 14単位以上選択
企業経営論	2	選択	
家政経済学概論	2	選択	
環境衛生学	2	選択	
建築環境計画論	2	選択	
医療と健康	2	選択	
社会保障論	2	選択	
被服学概論	2	選択	
食物学概論	2	選択	
住居学概論	2	選択	
生活と財政	2	選択	
生活と金融	2	選択	
社会統計学Ⅰ	2	選択	
社会統計学Ⅱ(1)	1	選択	
社会統計学Ⅱ(2)	1	選択	
生活調査法	2	選択	
消費者経済学	2	選択	
生活造形論	2	選択	
現代文化論	2	選択	
児童学概論	2	選択	
統計学演習	2	選択	
建築一般構造	2	選択	
国際栄養学	2	選択	
マーケティング	2	選択	

別表第8 専修プログラム(第5条関係)

食物栄養学科

授業科目	単位数	備考
●必修	97	
解剖生理学Ⅰ	2	(Ⅰ)
生化学	2	(Ⅰ)
解剖生理学Ⅱ	2	(Ⅰ)
調理科学	2	(Ⅰ)
基礎調理学実習	2	(Ⅰ)
基礎有機化学	2	(Ⅰ)(学部共通科目)
細胞生化学	2	(Ⅱ)
臨床医学総論	2	(Ⅱ)
代謝栄養学	2	(Ⅱ)
社会福祉学	2	(Ⅱ)

授業科目	単位数	備考
食品化学	2	(Ⅱ)
栄養教育論Ⅰ	2	(Ⅱ)
生活環境学	2	(Ⅱ)
食嗜好評価学	2	(Ⅱ)
応用調理学実習	1	(Ⅱ)
臨床医学各論Ⅰ	2	(Ⅱ)
臨床医学各論Ⅱ	2	(Ⅱ)
応用栄養学	2	(Ⅱ)
給食経営管理論	2	(Ⅱ)
食品製造・保存学	2	(Ⅱ)
食品微生物学	2	(Ⅱ)
臨床栄養アセスメント学	2	(Ⅱ)
栄養カウンセリング論	2	(Ⅱ)
分析化学実験	2	(Ⅱ)
解剖生理学実験	1	(Ⅱ)
食品微生物学実験	1	(Ⅲ)
分析化学	2	(Ⅱ)学部共通科目
病態栄養学	2	(Ⅲ)
食品衛生学	2	(Ⅲ)
臨床栄養療法学	2	(Ⅲ)
公衆栄養学	2	(Ⅲ)
栄養教育論Ⅱ	2	(Ⅲ)
ライフステージ栄養学	2	(Ⅲ)
公衆衛生学	2	(Ⅲ)
給食マネジメント論	2	(Ⅲ)
栄養疫学・統計	2	(Ⅲ)
ライフスタイル栄養学	2	(Ⅲ)
食品機能論	2	(Ⅲ)
食事療法学	2	(Ⅲ)
栄養学実験	2	(Ⅲ)
応用栄養学実習	1	(Ⅲ)
食品製造・保存学実験	1	(Ⅲ)
栄養カウンセリング論実習	1	(Ⅲ)
公衆栄養学実習	1	(Ⅲ)
臨床栄養アセスメント学実習	2	(Ⅲ)
食品化学実験	2	(Ⅲ)
調理科学実験	2	(Ⅲ)
給食経営管理実習	2	(Ⅲ)
食物栄養管理論総合演習Ⅰ	1	(Ⅲ)
食物栄養管理論総合演習Ⅱ	1	(Ⅳ)
栄養臨地実習Ⅰ	1	(Ⅲ)
栄養臨地実習Ⅱ	3	(Ⅳ)
卒業論文	6	(Ⅳ)
●選択	4	
食物栄養学入門	1	(Ⅰ)
食品評価論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
学校栄養教育論Ⅰ	2	(Ⅱ～Ⅲ)
学校栄養教育論Ⅱ	2	(Ⅱ～Ⅲ)
食物栄養学輪講	4	(Ⅳ)
●高大連携科目(選択)		
食物栄養学選択基礎	2	(Ⅰ)
食物栄養学高大接続セミナー	1	
高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1(第5条関係)「自由に選択して履修する科目・単位」として認定することができる。		

別表第9 学部共通科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
生活科学概論	2	
基礎有機化学	2	(食物栄養学科は必修)
分析化学	2	(食物栄養学科は必修)
ジェンダー論	2	
比較ジェンダー論	2	
人口学	2	
社会保障論	2	
企業経営論	2	
消費者科学入門	2	
生活造形論	2	
民俗学	2	
国際栄養学	2	
食物学概論	2	
医療と健康	2	

別表第10 全校共通科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
NPO入門	2	
パーソナル・ブランディング	2	
女性のキャリアと経済	2	
ファシリテーション	2	
平和と共生演習	2	
国際共生社会論実習	2	
キャリアプラン	2	
ICTとコミュニケーションスキル	2	
アントレプレナーシップ演習(ディープテック編)	2	

授業科目	単位数	備考
ジェンダー・イノベーション入門	2	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダー・イノベーション実践編(モノ編))	1	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダー・イノベーション実践編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs編(モノ編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(製造業編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(ドローン編))	1	
アントレプレナー演習(DX演習(PoC編))	1	
生活工学特別講義	2	
文理融合ゼミナールⅠ	2	
文理融合ゼミナールⅡ	2	
メディアコンテンツ特別講義	2	
未来開拓入門	1	
女性のキャリアと法制度	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
ダイバーシティ論	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
グローバル・リーダーシップ実習Ⅰ	2	
グローバル・リーダーシップ実習Ⅱ	2	
キャリアプランと進路選択	2	
ハイクラさん講座Ⅰ	2	
インターンシップⅠ	1	
インターンシップⅡ	2	
Ocha-Solution Program(基礎)	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
博物館概論	2	
博物館資料論	2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館教育論	2	
博物館実習	3	
博物館情報・メディア論	2	
日本の伝統芸能	2	
初等解析学Ⅰ	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数	2	
初等代数	2	
物理学概論A	2	
物理学概論B	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
物理学基礎実験	2	
化学基礎実験	2	
生物学基礎実験	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	
生命情報学概論(1)	1	
生命情報学概論(2)	1	
計算生物学(1)	1	
計算生物学(2)	1	
海外交換留学等認定科目	2～12	
Academic Writing	2	
Academic Presentation	2	
Pre Summer Program in English	2	
Summer Program in EnglishⅠ	2	
Summer Program in EnglishⅡ	2	
Summer Program in EnglishⅢ	2	
Summer Program in EnglishⅣ	2	
Summer Program in EnglishⅤ	2	
Summer Program in EnglishⅥ	2	
グローバル・インターンシップⅠ	2	
グローバル・インターンシップⅡ	2	
グローバル・インターンシップⅢ	2	
グローバルEDIⅠ	2	
グローバルEDIⅡ	2	
グローバルEDIⅢ	2	
国際交流実習Ⅰ	2	
国際交流実習Ⅱ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅠ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅡ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅢ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅣ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅤ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅥ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅠ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅡ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅢ	2	
Global Liberal Arts CoursesⅣ	2	
舞台芸術実践概論Ⅰ	2	
舞台芸術実践概論Ⅱ	2	
文化芸術制作演習Ⅰ	2	

授業科目	単位数	備考
文化芸術制作演習Ⅱ	2	
物理学サブリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
生物学サブリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
英語基礎強化ゼミ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミR/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミR/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
企画・運営力養成講座	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅠ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅡ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)

授業科目	単位数	備考
日本事情演習ⅢB	2	
日本事情演習ⅣA	2	
日本事情演習ⅣB	2	
日本事情演習ⅤA	2	
日本事情演習ⅤB	2	
総合日本語サマープログラムⅠ	2	
総合日本語サマープログラムⅡ	2	
総合日本語Ⅰ	2	
総合日本語Ⅱ	2	

別表第11 教職課程科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
教職概論(1)	1	
教職概論(2)	1	
教育思想概論(1)	1	
教育思想概論(2)	1	
教育史概論(1)	1	
教育史概論(2)	1	
教育原論(思想・歴史)(1)	1	
教育原論(思想・歴史)(2)	1	
教育・発達心理学概論(1)	1	
教育・発達心理学概論(2)	1	
教育心理	2	
特別支援教育概論(1)	1	
特別支援教育概論(2)	1	
特別支援教育の理論と方法	1	
教育社会学概論(1)	1	
教育社会学概論(2)	1	
教育制度概論	2	
教育原論(社会・制度)(1)	1	
教育原論(社会・制度)(2)	1	
教育課程概論(1)	1	
教育課程概論(2)	1	
教育課程論	2	
家庭科教育法Ⅰ	2	
家庭科教育法Ⅱ	2	
家庭科教育法Ⅲ	2	
家庭科教育法Ⅳ	2	
道徳教育の理論と方法	2	
総合的な学習の時間の理論と方法	1	
特別活動の理論と方法	2	
教育方法学概論(1)	1	
教育方法学概論(2)	1	
教育方法論	1	
ICT活用の理論と方法	1	
生徒指導と進路指導の理論と方法	2	
学校カウンセリング	2	
事前・事後指導(中高)	1	
事前・事後指導(小中)	1	
教育実習(中高)	1,2又は4	
教育実習(小中)	4	
栄養教育実習	2	
教職実践演習	2	
教職実践演習(栄養教諭)	2	
初等科教育法(国語)	2	
初等科教育法(社会)	2	
初等科教育法(算数)	2	
初等科教育法(理科)	2	
初等科教育法(生活)	2	
初等科教育法(音楽)	2	
初等科教育法(図画工作)	2	
初等科教育法(家庭)	2	
初等科教育法(体育)	2	
初等科教育法(外国語)	2	

別表第12 外国人留学生特別科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
日本語演習ⅠA	2	
日本語演習ⅠB	2	
日本語演習ⅡA	2	
日本語演習ⅡB	2	
日本語演習ⅢA	2	
日本語演習ⅢB	2	
日本語演習ⅣA	2	
日本語演習ⅣB	2	
日本語演習ⅤA	2	
日本語演習ⅤB	2	
日本事情演習ⅠA	2	
日本事情演習ⅠB	2	
日本事情演習ⅡA	2	
日本事情演習ⅡB	2	
日本事情演習ⅢA	2	

(趣旨)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学共創工学部の教育課程及び履修方法については、国立大学法人お茶の水女子大学学則、国立大学法人お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則又はこれに基づく別段の定めによるほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、コア科目、専門教育科目、全学共通科目、教職課程科目及び外国人留学生特別科目とする。

- 2 コア科目は、文理融合リベラルアーツ、基礎講義、情報、外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語及びアジア諸語)及びスポーツ健康とする。
- 3 専門教育科目は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラムを構成する科目とする。
- 4 全学で共通して履修できる科目として、全学共通科目を置く。
- 5 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める教職課程科目を置く。
- 6 外国人留学生に対して、外国人留学生特別科目を置く。

(他学部の授業科目の履修)

第3条 文教育学部、理学部及び生活科学部の授業科目は、これを履修することができる。

(単位の計算方法)

第4条 各授業科目の単位数の計算方法は、1単位が45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については別に定める。

(卒業要件)

第5条 卒業するためには、別表第1に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。

- 2 各学科において履修すべき授業科目及び単位数は、別表第3から別表第6までに定めるところとする。
- 3 全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第7に定めるところとする。
- 4 教職課程科目の授業科目及び単位数は、別表第8に定めるところとする。また、単位の取り扱いについては、別表第1備考9のとおりとする。
- 5 外国人留学生特別科目の授業科目及び単位数は、別表第9に定めるところとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考10のとおりとする。

(履修手続)

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに指定する方法により申請し、担当教員の許可を得なければならない。

- 2 学生が前項により履修申請した授業科目の履修を取消すには、所定の期日までに指定する方法により履修取消手続を行い、担当教員の許可を得なければならない。
- 3 学生が授業科目について聴講のみを希望する場合は、担当教員の許可を得なければならない。

(単位の授与)

第7条 授業科目を履修した者については、試験(論文、報告等を含む。以下同じ。)により学修の成果を評価して、所定の単位を与える。

- 2 試験は、原則として学年又は学期末に行うこととする。ただし、病気その他正当な理由で試験を受けることができなかった者は、別に定める手続により追試験を受けることができる。

(成績の評価)

第8条 成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して決定する。

- 2 成績の評価は、「S」(基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている)、「A」(基本的な目標を十分に達成している)、「B」(基本的な目標を達成している)、「C」(基本的な目標を最低限度達成している)、「D」(基本的な目標を達成していない。再履修が必要である)の5種類の評語をもって表し、「S」、「A」、「B」及び「C」を合格とし、「D」を不合格とする。
- 3 前項の成績の評価又は科目の原成績(素点)に基づき、成績の数値平均Grade Point Average(以下「GPA」という。)を算出するものとする。GPAに関し必要な事項は別に定める。

(成績不振の学生に対する学修指導)

第9条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学修状況が著しく不良の者には、成績不振の学修指導を行うことがある。

- 2 その他学修指導に関し必要な事項は、別に定める。

(細則)

第10条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、共創工学部教授会が定める。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和6年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、令和7年4月1日から施行し、令和7年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1 (第5条関係)

学 科 別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位								自由に選択して履修する科目・単位						卒業に必要な履修単位数	
		コア科目					専門教育科目(必修プログラム)			コ ア 科 目	専 門 教 育 科 目	他 学 部 の 科 目	全 学 共 通 科 目	教 職 課 程 科 目	必修以外の選択プログラム		
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報	外国語	スポーツ健康	主プログラム	強化プログラム	副プログラム								学際プログラム
人間環境工学科		34					60	20			10						124
文化情報工学科		34					54	20			16						124

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
- 2 外国語は、12単位を必修とする。
- 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
- 5 強化プログラムを選択する場合は、所属学部が開設するプログラムから一つを選択し、副プログラム・学際プログラムを選択する場合は、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、所属学部及び他学部が開設するプログラムから一つを選択すること。
- 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修条件となる。
- 7 選択している主プログラムと同領域の副・学際プログラムを選択することはできない。
- 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 9 教職課程科目は、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、18単位までをコア科目として取り扱う。

別表第2 (第5条関係)

【(工)二つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科	哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	舞踊教育学(副)	音楽表現(副)	教育学・子ども学(学際)	グローバル文化学(学際)
人間環境工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
文化情報工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(工)二つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
人間環境工学科	×	×	×	×	○	×	×	×	○
文化情報工学科	×	×	×	×	○	×	×	×	×

【(工)二つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考5関係)

所属学科	生活社会科学(副)	生活文化学(副)	心理学(副)	消費者学(学際)
人間環境工学科	×	×	×	○
文化情報工学科	×	○	×	×

【(生)三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	人間環境工学(学際)	文化情報工学(学際)
人間環境工学科		○
文化情報工学科	○	

【(工)三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	舞踊教育学(副)	音楽表現(副)	教育学・子ども学(学際)	グローバル文化学(学際)
人間環境工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文化情報工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(工)三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
人間環境工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文化情報工学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(工)三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	生活社会科学(副)	生活文化学(副)	心理学(副)	消費者学(学際)
人間環境工学科	○	○	○	○
文化情報工学科	○	○	○	○

【(工)三つ目の選択プログラム(工・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	人間環境工学(学際)	文化情報工学(学際)
人間環境工学科		○
文化情報工学科	○	

別表第3 コア科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
文理融合リベラルアーツ		
リベラルアーツ演習Ⅰ	2	
リベラルアーツ演習Ⅱ	2	
系列1 生命と環境		
(講義)		
生命と環境1	2	
生命と環境2	2	
生命と環境3	2	
生命と環境4	2	
生命と環境5	2	
生命と環境6	2	
(演習・実習)		
生命と環境21	2	
生命と環境22	2	
系列2 色・音・香		
(講義)		
色・音・香1	2	
色・音・香2	2	
色・音・香3	2	
色・音・香4	2	
色・音・香5	2	
色・音・香6	2	
色・音・香7	2	
色・音・香8	2	
色・音・香9	2	
色・音・香10	2	
(演習・実習)		
色・音・香22	2	
系列3 生活世界の安全保障		
(講義)		
生活世界の安全保障1	2	
生活世界の安全保障2	2	
生活世界の安全保障3	2	
生活世界の安全保障4	2	
生活世界の安全保障5	2	
生活世界の安全保障7	2	
生活世界の安全保障8	2	
生活世界の安全保障9	2	
生活世界の安全保障10	2	
(演習・実習)		
生活世界の安全保障23	2	
生活世界の安全保障26	2	
系列4 ことばと世界		
(講義)		
ことばと世界1	2	
ことばと世界2	2	
ことばと世界3	2	
ことばと世界5	2	
ことばと世界6	2	
ことばと世界7	2	
ことばと世界8	2	
ことばと世界10	2	
ことばと世界11	2	
ことばと世界12	2	
ことばと世界13	2	
(演習・実習)		
ことばと世界27	2	
系列5 ジェンダー		
(講義)		
ジェンダー1	2	
ジェンダー2	2	
ジェンダー3	2	
ジェンダー4	2	
ジェンダー5	2	
ジェンダー6	2	
ジェンダー8	2	
ジェンダー9	2	
ジェンダー10	2	
基礎講義		
哲学	2	
法学Ⅰ(日本国憲法)	2	
法学Ⅱ(法学入門)	2	
政治学入門	2	
ミクロ経済学入門	2	
マクロ経済学入門	2	
基礎微積分学	2	
基礎線形代数学	2	
統計学	2	
総合コース	1～4	(Ⅰ～Ⅳ)
お茶の水女子大学論	2	(Ⅰ)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
コンピテンシー基礎論	2	
防災・危機管理	1	
自然災害に対する防災・減災	1	
学修ポートフォリオ入門	1	
課題研究支援プログラム	1	
情報		
(必修)		
情報処理演習(1)	1	
情報処理演習(2)	1	
(選択)		
メディアリテラシ(1)	1	
メディアリテラシ(2)	1	
文理融合データサイエンスⅢ	2	
文理融合データサイエンスⅣ	2	
情報科学(1)	1	
情報科学(2)	1	
情報処理学(1)	1	
情報処理学(2)	1	
プログラミング演習1	2	
プログラミング演習2	2	
コンピュータ演習1	2	
コンピュータ演習2	2	
情報学演習1	2	
情報学演習2	2	
外国語(必修)		
	12	●外国語の必修単位数は12単位。 英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、一つの言語について8単位修得すること。残りの4単位は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から修得すること。外国語科目の修得単位数のうち、必修単位数を超える分はコア科目必修単位または「自由に選択して履修する科目・単位」として卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 *および**：コア科目(外国語)の必修単位に充てることができる基本科目。 ***：第二外国語として8単位未満履修する場合のみ必修単位に充てることができる準基本科目。 ※、*および***のついていない科目の単位は、特別措置等による認定がない限り、必修単位に充てることはできない。
英語		
* 基礎英語Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
* 基礎英語Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
* 基礎英語Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
* 基礎英語Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
* 中級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
* 中級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
* 中級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
* 中級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
** 英語コミュニケーションⅢ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅢ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅣ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅣ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅤ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅤ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅥ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅥ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語プレゼンテーションⅠ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語プレゼンテーションⅠ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** 英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** グローバル・イングリッシュⅠ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** グローバル・イングリッシュⅠ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** グローバル・イングリッシュⅡ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** グローバル・イングリッシュⅡ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅠ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅠ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅡ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅡ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅢ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅢ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅣ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅣ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅤ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅤ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅥ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
** Advanced Communication TrainingⅥ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
英語コミュニケーションⅠ(1)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅠ(2)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅡ(1)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
英語コミュニケーションⅡ(2)	1	(Ⅰ・Ⅱ)
上級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
上級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅲ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
上級英語Ⅳ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)
ビジネス英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ビジネス英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
時事英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
ドイツ語		
＊基礎ドイツ語Ⅰ	2	(Ⅰ)
＊基礎ドイツ語Ⅱ	2	(Ⅰ)
＊基礎ドイツ語Ⅲ	2	(Ⅰ)
＊基礎ドイツ語Ⅳ	2	(Ⅰ)
＊＊基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎ドイツ語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎ドイツ語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
＊＊発展ドイツ語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展ドイツ語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展ドイツ語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展ドイツ語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展ドイツ語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展ドイツ語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展ドイツ語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展ドイツ語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊＊基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊基礎ドイツ語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊基礎ドイツ語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊ドイツ語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊ドイツ語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊ドイツ語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊ドイツ語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
フランス語		
＊基礎フランス語Ⅰ	2	(Ⅰ)
＊基礎フランス語Ⅱ	2	(Ⅰ)
＊基礎フランス語Ⅲ	2	(Ⅰ)
＊基礎フランス語Ⅳ	2	(Ⅰ)
＊＊基礎フランス語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎フランス語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎フランス語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎フランス語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
＊＊発展フランス語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展フランス語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展フランス語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展フランス語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展フランス語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展フランス語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展フランス語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展フランス語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊＊基礎フランス語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊基礎フランス語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊基礎フランス語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊基礎フランス語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊フランス語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊フランス語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊フランス語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊フランス語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語		
＊基礎中国語Ⅰ	2	(Ⅰ)
＊基礎中国語Ⅱ	2	(Ⅰ)
＊基礎中国語Ⅲ	2	(Ⅰ)
＊基礎中国語Ⅳ	2	(Ⅰ)
＊＊基礎中国語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎中国語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎中国語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)
＊＊基礎中国語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)
＊＊発展中国語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展中国語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展中国語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展中国語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展中国語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展中国語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊発展中国語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)
＊＊発展中国語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)
＊＊＊基礎中国語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
＊＊＊基礎中国語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
＊＊＊基礎中国語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
＊＊＊基礎中国語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)
＊＊＊中国語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊中国語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊中国語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊＊＊中国語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語プレゼンテーションⅠ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
中国語プレゼンテーションⅡ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
ロシア語		
＊ロシア語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊ロシア語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊ロシア語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊ロシア語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊ロシア語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊ロシア語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊ロシア語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊ロシア語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
朝鮮語		
＊朝鮮語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊朝鮮語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊朝鮮語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊朝鮮語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊朝鮮語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊朝鮮語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊朝鮮語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊朝鮮語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
スペイン語		
＊現代スペイン語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
＊現代スペイン語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
＊スペイン語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊スペイン語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊スペイン語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
＊スペイン語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)
イタリア語		
＊現代イタリア語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
＊現代イタリア語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
アジア諸語		
＊現代アジア諸語Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
＊現代アジア諸語Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
＊現代アジア諸語Ⅲ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
＊現代アジア諸語Ⅳ	2	(Ⅰ～Ⅳ)
スポーツ健康(必修)		
スポーツ健康実習	2	(Ⅰ)
スポーツ健康(選択)		
スポーツ科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
健康科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)
生涯スポーツ	0.5～3	(Ⅰ～Ⅳ)

別表第4 専門教育科目(第5条関係)

主プログラム

人間環境工学主プログラム				単位数：60
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
共創工学総論	2	必修		
デザイン思考とロジックモデル	2	必修		
卒業研究演習	2	必修		
基礎化学	2	必修		
工学基礎数学	2	必修		
データサイエンス(基礎)	2	必修		
材料基礎実験	2	必修		
環境心理と調査法	2	必修		
環境工学実験実習	2	必修		
人間工学実験実習	2	必修		
生活工学実験実習	2	必修		
共創輪講	2	必修		
卒業研究	10	必修		
デザイン PBL	1	選択	以下の科目から2単位選択	
環境共生 PBL	1	選択		
人間健康 PBL	1	選択		
生活材料 PBL	1	選択		
共創工学特別講義	1	選択	以下の科目から24単位選択	
工学基礎物理学	2	選択		
工学基礎解析学	2	選択		
有機化学	2	選択		
設計製図基礎演習	2	選択		
住居学概論	2	選択		
建築一般構造	2	選択		
人体計測学演習Ⅰ	2	選択		
人体計測学演習Ⅱ	2	選択		
生物化学	2	選択		
建築環境計画論	2	選択		
統計学演習	2	選択		
データ計測処理演習	2	選択		

V

諸規程等(規則集)

授業科目	単位数	必修・選択	備考
設計製造演習	2	選択	
身体形質と文化	2	選択	
基礎構造力学	2	選択	
高分子化学	2	選択	
機器分析演習	2	選択	
生体計測制御工学	2	選択	
西洋建築史	2	選択	

文化情報工学主プログラム				単位数：54
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
共創工学総論	2	必修		
デザイン思考とロジックモデル	2	必修		
卒業研究演習	2	必修		
共創プログラミング	1	選択	以下の科目から0～6単位選択（内※の科目はいずれか一方のみ卒業に必要な単位に含めることができる。）	
共創デザイン PBL（LIDEE 演習）Ⅰ	1	選択		
共創デザイン PBL（LIDEE 演習）Ⅱ	1	選択		
共創工学特別講義	1	選択		
知的財産論	1	選択		
技術と倫理	1	選択		
共創工学フィールドワーク	1	選択		
※共創インターンシップⅠ	2	選択		
※共創インターンシップⅡ（建築）	2	選択		
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から4単位選択	
倫理学基礎論	2	選択		
美術史基礎論	2	選択		
日本史概説	2	選択		
アジア史概説	2	選択		
西洋史概説	2	選択		
自然と人間	2	選択		
人間と空間	2	選択		
日本文学概説	2	選択		
日本語学通論	2	選択		
中国現代文学史	2	選択		
中国古典文学史（宋～清）	2	選択		
英語圏言語文化入門(1)	1	選択		
英語圏言語文化入門(2)	1	選択		
言語学入門Ⅰ(1)	1	選択		
言語学入門Ⅰ(2)	1	選択		
言語学入門Ⅱ	2	選択		
ヨーロッパ言語文化論Ⅰ	2	選択		
ヨーロッパ言語文化論Ⅱ	2	選択		
日本語教育学概論Ⅰ	2	選択		
人間と発達	2	選択		
社会学総論	2	選択		
子ども学総論	2	選択		
舞踊学概論	2	選択		
音楽学概論	2	選択		
グローバル文化学総論	2	選択		
文化情報工学総論	2	必修		
データサイエンス（基礎）	2	必修		
データサイエンス（中級）	2	必修		
データサイエンス（上級）	2	必修		
機械学習	2	必修		
データマイニング	2	必修		
データマイニング演習	2	必修		
文化情報工学基礎演習	2	必修		
インターネット工学	2	必修		
文化情報デザイン工学	2	必修		
データベース工学	2	必修		
工学基礎数学	2	選択	以下の科目から0～6単位選択	
工学基礎解析学	2	選択		
設計製図基礎演習	2	選択		
コンピュータシステム序論	2	選択		
データ構造とアルゴリズム	2	選択		
数理基礎論	2	選択		
確率序論	2	選択		
コンピュータアーキテクチャⅠ	2	選択		
コンピュータアーキテクチャⅡ	2	選択		
コンピュータネットワークⅠ	2	選択		
マルチメディア	2	選択		
情報と職業	2	選択		
情報倫理	2	選択		
データ解析序論	2	選択		
統計学演習	2	選択		
センサーと人間工学	2	選択		
文化情報デザイン演習	2	選択		
データベース設計演習	2	選択		
文化情報学研究	2	選択		
テキストアナリティクス研究	2	選択		
歴史情報学	2	選択	以下の科目から8単位選択（同一分野の講義と演習をあわせて2分野から選択）	
歴史情報学演習	2	選択		
地理情報学	2	選択		
地理情報学演習	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
言語情報学	2	選択	
言語情報学演習	2	選択	
文化情報学	2	選択	
文化情報学演習	2	選択	
思想情報学	2	選択	
思想情報学演習	2	選択	
芸術情報学	2	選択	
芸術情報学演習	2	選択	
卒業研究	8	必修	

別表第5 専門教育科目(第5条関係)

強化プログラム

人間環境工学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
共創プログラミング	1	選択	以下の科目から20単位以上選択（内※の科目はいずれか一方のみ卒業に必要な単位に含めることができる。）	
共創デザイン PBL（LIDEE 演習）Ⅰ	1	選択		
共創デザイン PBL（LIDEE 演習）Ⅱ	1	選択		
知的財産論	1	選択		
技術と倫理	1	選択		
共創工学フィールドワーク	1	選択		
※共創インターンシップⅠ	2	選択		
※共創インターンシップⅡ（建築）	2	選択		
環境衛生学	2	選択		
物理化学	2	選択		
設計製図演習Ⅰ	2	選択		
BIM 演習	2	選択		
材料設計演習	2	選択		
社会共創マネジメント PBL	2	選択		
応用データ解析	2	選択		
機械学習	2	選択		
デジタルファブリケーション演習	2	選択		
データマイニング	2	選択		
日本建築史	2	選択		
建築環境工学	2	選択		
都市デザイン	2	選択		
応用建築構造	2	選択		
センサーと人間工学	2	選択		
材料とデザイン	2	選択		
水環境工学	2	選択		
生体材料科学	2	選択		
第四紀学	2	選択		
サステイナブル環境論	2	選択		
生活材料物性	2	選択		
生体電気電子工学	2	選択		
システム工学	2	選択		
設計製図演習Ⅱ	2	選択	以下の科目は強化プログラムに必要な20単位には含まれない。	
設計製図演習Ⅲ	2	選択		
建築構法計画	1	選択		
建築意匠論	2	選択		
建築材料学	2	選択		
建築設備学	2	選択		
建築法規	2	選択		
生産とデザイン	2	選択		

文化情報工学強化プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
共創プログラミング	1	選択	以下の科目から20単位選択（内※の科目はいずれか一方のみ卒業に必要な単位に含めることができる。）	
共創デザイン PBL（LIDEE 演習）Ⅰ	1	選択		
共創デザイン PBL（LIDEE 演習）Ⅱ	1	選択		
共創工学特別講義	1	選択		
知的財産論	1	選択		
技術と倫理	1	選択		
共創工学フィールドワーク	1	選択		
※共創インターンシップⅠ	2	選択		
※共創インターンシップⅡ（建築）	2	選択		
コンピュータシステム序論	2	選択		
データ構造とアルゴリズム	2	選択		
数理基礎論	2	選択		
確率序論	2	選択		
コンピュータアーキテクチャⅠ	2	選択		
コンピュータアーキテクチャⅡ	2	選択		
コンピュータネットワークⅠ	2	選択		
マルチメディア	2	選択		
データ解析序論	2	選択		
統計学演習	2	選択		
センサーと人間工学	2	選択		
応用統計学演習	2	選択		
コンピュータビジョン	2	選択		
コンピュータグラフィックス	2	選択		
ヒューマンインターフェイス	2	選択		
文化情報デザイン演習	2	選択		

授業科目	単位数	必修・選択	備考
データベース設計演習	2	選択	
文化情報学研究	2	選択	
テキストアナリティクス研究	2	選択	
データベース研究	2	選択	
文化情報デザイン研究	2	選択	
文化情報 CGV 研究	2	選択	
文化情報統計数理研究	2	選択	

別表第6 専門教育科目(第5条関係)

学際プログラム

人間環境工学学際プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
共創インターンシップⅡ（建築）	2	選択	以下の科目から	
設計製図基礎演習	2	選択	20 単位選択	
住居学概論	2	選択		
建築一般構造	2	選択		
建築環境計画論	2	選択		
物理化学	2	選択		
設計製図演習Ⅰ	2	選択		
BIM 演習	2	選択		
環境心理と調査法	2	選択		
設計製図演習Ⅱ	2	選択		
デジタルファブリケーション演習	2	選択		
設計製図演習Ⅲ	2	選択		
身体形質と文化	2	選択		
基礎構造力学	2	選択		
日本建築史	2	選択		
建築構法計画	1	選択		
建築環境工学	2	選択		
建築意匠論	2	選択		
都市デザイン	2	選択		
西洋建築史	2	選択		
応用建築構造	2	選択		
センサーと人間工学	2	選択		
材料とデザイン	2	選択		
建築材料科学	2	選択		
建築設備学	2	選択		
建築法規	2	選択		
水環境工学	2	選択		
生体材料科学	2	選択		
生産とデザイン	2	選択		
生活材料物性	2	選択		
システム工学	2	選択		

文化情報工学学際プログラム				単位数：20
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
文化情報工学総論	2	必修	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たす必要がある。	
データサイエンス（基礎）	2	必修		
データサイエンス（中級）	2	必修		
データサイエンス（上級）	2	選択	以下の科目から	
機械学習	2	選択	14 単位選択	
データマイニング	2	選択		
データマイニング演習	2	選択		
インターネット工学	2	選択		
文化情報デザイン工学	2	選択		
データベース工学	2	選択		
データベース設計演習	2	選択		
情報倫理	2	選択		
歴史情報学	2	選択		
歴史情報学演習	2	選択		
地理情報学	2	選択		
地理情報学演習	2	選択		
言語情報学	2	選択		
言語情報学演習	2	選択		
文化情報学	2	選択		
文化情報学演習	2	選択		
思想情報学	2	選択		
思想情報学演習	2	選択		
芸術情報学	2	選択		
芸術情報学演習	2	選択		

別表第7 全学共通科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
NPO 入門	2	
パーソナル・ブランディング	2	
女性のキャリアと経済	2	
ファシリテーション	2	
平和と共生演習	2	
国際共生社会論実習	2	
キャリアアプラン	2	

授業科目	単位数	備考
ICT とコミュニケーションスキル	2	
アントレプレナーシップ演習(ディープテック編)	2	
ジェンダー・イノベーション入門	2	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダー・イノベーション実践編(モノ編))	1	
アントレプレナーシップ演習(ジェンダー・イノベーション実践編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs 編(モノ編))	1	
アントレプレナー演習(SDGs 編(コト編))	1	
アントレプレナー演習(DX 演習(製造業編))	1	
アントレプレナー演習(DX 演習(ドローン編))	1	
アントレプレナー演習(DX 演習(PoC 編))	1	
生活工学特別講義	2	
文理融合ゼミナールⅠ	2	
文理融合ゼミナールⅡ	2	
メディアコンテンツ特別講義	2	
文理融合ゼミナールⅠ	2	
文理融合ゼミナールⅡ	2	
メディアコンテンツ特別講義	2	
未来開拓入門	1	
女性のキャリアと法制度	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
ダイバーシティ論	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
グローバル・リーダーシップ実習Ⅰ	2	
グローバル・リーダーシップ実習Ⅱ	2	
キャリアアプランと進路選択	2	
ハイカラさん講座Ⅰ	2	
インターンシップⅠ	1	
インターンシップⅡ	2	
Ocha-Solution Program(基礎)	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
博物館概論	2	
博物館資料論	2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館教育論	2	
博物館実習	3	
博物館情報・メディア論	2	
日本の伝統芸能	2	
初等解析学Ⅰ	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数	2	
初等代数学	2	
物理学概論A	2	
物理学概論B	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
物理学基礎実験	2	
化学基礎実験	2	
生物学基礎実験	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	
生命情報学概論(1)	1	
生命情報学概論(2)	1	
計算生物学(1)	1	
計算生物学(2)	1	
海外交換留学等認定科目	2～12	
Academic Writing	2	
Academic Presentation	2	
Pre Summer Program in English	2	
Summer Program in EnglishⅠ	2	
Summer Program in EnglishⅡ	2	
Summer Program in EnglishⅢ	2	
Summer Program in EnglishⅣ	2	
Summer Program in EnglishⅤ	2	
Summer Program in EnglishⅥ	2	
グローバル・インターンシップⅠ	2	
グローバル・インターンシップⅡ	2	
グローバル・インターンシップⅢ	2	
グローバル EDIⅠ	2	
グローバル EDIⅡ	2	
グローバル EDIⅢ	2	
国際交流実習Ⅰ	2	
国際交流実習Ⅱ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅠ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅡ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅢ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅣ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅤ	2	
Interdisciplinary Lectures in EnglishⅥ	2	

授業科目	単位数	備考
Global Liberal Arts Courses I	2	
Global Liberal Arts Courses II	2	
Global Liberal Arts Courses III	2	
Global Liberal Arts Courses IV	2	
舞台芸術実践概論Ⅱ	2	
文化芸術制作演習Ⅰ	2	
文化芸術制作演習Ⅱ	2	
物理学サブリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
生物学サブリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
英語基礎強化ゼミ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL 対策ゼミ R/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL 対策ゼミ S/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミ R/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミ S/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
企画・運営力養成講座	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅠ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅡ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)

別表第8 教職課程科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
教職概論(1)	1	
教職概論(2)	1	
教育思想概論(1)	1	
教育思想概論(2)	1	
教育史概論(1)	1	
教育史概論(2)	1	
教育原論(思想・歴史)(1)	1	
教育原論(思想・歴史)(2)	1	
教育・発達心理学概論(1)	1	
教育・発達心理学概論(2)	1	
教育心理	2	
特別支援教育概論(1)	1	
特別支援教育概論(2)	1	
特別支援教育の理論と方法	1	
教育社会学概論(1)	1	
教育社会学概論(2)	1	
教育制度概論	2	
教育原論(社会・制度)(1)	1	
教育原論(社会・制度)(2)	1	
教育課程概論(1)	1	
教育課程概論(2)	1	
教育課程論	2	
道徳教育の理論と方法	2	
総合的な学習の理論と方法	1	
特別活動の理論と方法	2	
教育方法学概論(1)	1	
教育方法学概論(2)	1	
教育方法論	1	
ICT活用の理論と方法	1	
生徒指導と進路指導の理論と方法	2	
学校カウンセリング	2	

別表第9 外国人留学生特別科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
日本語演習ⅠA	2	
日本語演習ⅠB	2	
日本語演習ⅡA	2	
日本語演習ⅡB	2	
日本語演習ⅢA	2	
日本語演習ⅢB	2	
日本語演習ⅣA	2	
日本語演習ⅣB	2	
日本語演習ⅤA	2	
日本語演習ⅤB	2	
日本事情演習ⅠA	2	
日本事情演習ⅠB	2	
日本事情演習ⅡA	2	
日本事情演習ⅡB	2	
日本事情演習ⅢA	2	
日本事情演習ⅢB	2	
日本事情演習ⅣA	2	
日本事情演習ⅣB	2	
日本事情演習ⅤA	2	
日本事情演習ⅤB	2	
総合日本語サマープログラムⅠ	2	
総合日本語サマープログラムⅡ	2	
総合日本語Ⅰ	2	
総合日本語Ⅱ	2	

(趣旨)

第1条 この規則は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)第13条第1項の規定に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学(以下「本学」という。)において授与する学位に関し必要な事項を定める。

(学位の名称)

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。

2 学位に付記すべき専攻分野の名称については、次の表のとおりとする。

学部又は研究科		学位	専攻分野の名称	
文教育学部		学士	人文科学	
理 学 部			理学	
生活科学部	食物栄養学科		生活科学	
	人間生活学科		生活科学	
	心理学科		心理学	
共創工学部		工学		
		文化情報工学		
大学院人間文化創成科学研究科	博士前期課程	修士	比較社会文化学専攻	人文科学、社会科学、生活科学、学術
			人間発達科学専攻	人文科学、社会科学、生活科学、学術
			ジェンダー社会科学専攻	人文科学、社会科学、生活科学、学術
			ライフサイエンス専攻	生活科学、理学、学術
			理学専攻	理学、学術
			生活工学共同専攻	生活工学、工学、学術
	博士後期課程	博士	比較社会文化学専攻	人文科学、社会科学、生活科学、学術
			人間発達科学専攻	人文科学、社会科学、生活科学、学術
			ジェンダー学際研究専攻	人文科学、社会科学、生活科学、学術
			ライフサイエンス専攻	生活科学、理学、学術
			理学専攻	理学、学術、
			生活工学共同専攻	生活工学、工学、学術

第3条 学位を授与された者は、その学位の名称を用いるときは、本学(この条において「お茶の水女子大学」とする。)の名称を付記するものとする。

(学位授与の要件)

第4条 学士の学位は、本学を卒業した者に授与する。

第5条 修士の学位は、本学大学院の博士前期課程を修了した者に授与する。

第6条 博士の学位は、本学大学院の博士後期課程を修了した者に授与する。

2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学大学院の博士後期課程を経ない者が学位論文を提出して、その審査及び試験に合格し、かつ、専攻学術に関し本学大学院の博士後期課程を終えて学位を授与される者と同等以上の学識を有することを確認(以下「学力の確認」という。)された場合には、授与することができる。

3 本学大学院の博士後期課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得しただけで退学した者が、再入学しないで博士の学位の授与を申請するときも、前項の規定による。

(学位記の授与及び様式)

第7条 学長は、学位を授与すべき者に学位記を授与する。また、前2条に基づく学位を授与できない者にはその旨を通知する。

2 学位記は、学士の学位にあっては、別記様式第1号、修士の学位にあっては別記様式第2号の1から第2号の3まで並びに博士の学位にあっては別記様式第3号の1、第3号の2及び別記様式第4号に定めるとおりとする。

(学位論文の提出)

第8条 修士及び博士の学位論文は、学長に提出するものとする。

2 提出する学位論文は、1編とする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

3 審査のため必要があるときは、関係資料を提出させることができる。

第9条 第6条第2項及び第3項に規定する者が博士の学位の授与を申請するときは、学位申請書に学位論文、論文要旨、論文目録、履歴書及び所定の学位論文審査手数料を添え、学長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、第6条第3項に規定する者が退学後1年以内に学位論文を提出する場合には、学位論文審査手数料を納付することを要しない。

3 提出された学位論文及び既納の学位論文審査手数料は、返還しない。

(審査の付託)

第10条 学長は、学位論文を受理したときは、教授会にその審査を付託するものとする。

(審査委員会)

第11条 教授会は、前条に規定する審査を付託されたときは、修士論文の審査については2人以上、博士論文の審査については5人以上の審査委員で組織する審査委員会を設けるものとする。

2 修士論文の審査については、審査委員は当該専攻の教員及び関連する科目の担当教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、客員教授若しくは客員准教授(以下「客員教授等」という。)又は学内の教員を加えることができる。

博士論文の審査については、審査委員会は博士後期課程の教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、博士後期課程の客員教授等、学内の教員又は外部審査委員を加えることができる。

3 前項の規定にかかわらず、大学院人間文化創成科学研究科生活工学共同専攻(以下「生活工学共同専攻」という。)の修士論文の審査については、審査委員は本学生活工学共同専攻又は奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科生活工学共同専攻の教員及び関連する科目の担当教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、本学客員教授等又は学内の教員を加えることができる。

4 第2項の規定にかかわらず、生活工学共同専攻の博士論文の審査については、審査委員は本学博士後期課程又は奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科博士後期課程の教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、本学博士後期課程の客員教授等、学内の教員又は外部審査委員を加えることができる。

- 5 審査委員会は、修士論文の審査については、学位論文の審査及び試験に関する事項を行うものとする。博士論文の審査については、学位論文の審査、試験及び学力の確認に関する事項を行うものとする。
- 6 審査委員会の運営に関する事項は、教授会において定める。
(学位論文の審査の協力)
- 第12条 前条の学位の授与に係る学位論文の審査に当たっては、他の大学院又は研究所等の教員等の協力を得ることができる。
(学位論文の審査及び試験等)
- 第13条 試験は、学位論文を中心として、これに関連のある授業科目について口答又は筆答により行うものとする。
(学力の確認)
- 第14条 博士論文の審査における学力の確認は、試問の方法により行うものとする。
 - 2 前項に規定する試問は、口答又は筆答とし、外国語については1種類以上を課する。
 - 3 審査委員会は、前項の規定にかかわらず、学位の授与を申請する者の経歴及び提出論文以外の業績を審査して、学力の確認のための試問の一部又は全部を行う必要がないと認めるときは、教授会の承認を得て、その経歴及び業績の審査をもって学力の確認のための試問の一部又は全部に代えることができる。
(学力確認等の特例)
- 第15条 第6条第3項に規定する者が、退学後3年以内に学位論文を提出した場合は、学力の確認を行わないことができる。
 - 2 学位論文の審査の結果、その内容が不良であるときは、試験及び学力の確認を行わないことができる。
(審査期間)
- 第16条 審査委員会は、次に掲げる期間中に、博士論文の審査、試験及び学力の確認を終了しなければならない。
 - (1) 本学大学院の博士後期課程修了予定の者にあっては、学年度末までとする。
 - (2) 第6条第2項及び第3項に規定する者にあっては、学位論文を受理した日から1年以内とする。
(審査委員会の報告)
- 第17条 修士論文の審査については、審査委員会は、審査を終了したときは直ちに、学位論文の審査の結果を試験の結果とともに大学院人間文化創成科学研究科長(以下「研究科長」という。)に報告しなければならない。博士論文の審査については、審査委員会は、学位論文の審査、試験及び学力の確認を終了したときは直ちに、学位論文の内容の要旨、審査の要旨及び試験の結果の要旨に、学位を授与できるか否かの意見を添えて、研究科長に文書で報告しなければならない。ただし、第6条第2項及び第3項に規定する者の場合は、学力の確認の結果の要旨も併せて添付するものとする。
 - 2 前項の規定にかかわらず、第15条各項の規定に該当する場合は、当該要旨の添付を要しない。
(教授会の審議)
- 第18条 教授会は、前条第1項の報告に基づいて審議し、学位を授与すべきか否かを議決する。
 - 2 前項の議決をするには、構成員総数の3分の2以上の出席を必要とする。ただし、長期出張中及び休職中のため出席することができない構成員は構成員の総数に算入しないものとする。
 - 3 学位の授与を議決するには、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。
(研究科長の報告)
- 第19条 教授会が前条の議決をしたときは、研究科長は、その旨を学長に報告しなければならない。
(学位授与の取消し)
- 第20条 学位を授与された者が不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、教授会の議を経て、学位の授与を取り消し、学位記を還付させ、かつ、その旨を公表するものとする。
 - 2 教授会が前項の議決をする場合には、第18条第2項及び第3項の規定を準用する。
(学位論文の要旨等の公表)
- 第21条 本学は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨を国立大学法人お茶の水女子大学教育・研究成果コレクション(以下「リポジトリ」という。)の利用により公表するものとする。
(学位論文の公表)
- 第22条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。
 - 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、教授会の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、研究科は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
 - 3 前2項の規定により学位論文を公表する場合には、お茶の水女子大学審査学位論文であることを明記しなければならない。
 - 4 博士の学位を授与された者が行う第1項及び第2項の規定による公表は、本学の協力を得て、リポジトリの利用により行うものとする。
(学位授与の報告)
- 第23条 本学において博士の学位を授与したときは、学長は、文部科学大臣に所定の報告をし、学位簿に登録する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年11月16日)

この規則は、平成17年11月16日から施行する。

附 則(平成19年2月21日)

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に大学院人間文化研究科に在学する学生の学位については、改正後の第2条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成25年4月17日)

この規則は、平成25年4月17日から施行する。

附 則(平成26年3月26日)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月25日)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日)
この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月27日)
この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和2年9月16日)
この規則は、令和2年9月16日から施行する。

附 則(令和6年4月1日)

- 1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。
2 この規則の施行の際現に生活科学部人間・環境科学科に在学する学生の学位については、改正後の第2条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和7年4月1日)

- 1 この規則は、令和7年4月1日から施行する。
2 令和7年3月31日以前にグローバル理工学副専攻プログラムの履修者であった者の学位及び学位記の様式については、改正後の第2条第2項及び第7条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別記様式第1号(第7条関係)
学士の卒業証書・学位記

卒業証書・学位記	
氏名	年 月 日生
本学○○学部○○○学科所定の 課程を修めたことを認める	
年 月 日	
学部印	お茶の水女子大学○○学部長 氏名 印
大学印	右の認定により本学を卒業したので 学士(○○○)の学位を授与する お茶の水女子大学長 氏名 印
第 号	

別記様式第2号の1(第7条関係)
論文の審査による修士の学位記

学位記	
氏名	氏名
年 月 日生	年 月 日生
本学大学院人間文化創成科学研究科 ○○○専攻の博士前期課程において 所定の単位を修得し学位論文の 審査及び最終試験に合格したので 修士(○○○)の学位を授与する	
年 月 日	年 月 日
第 号	第 号
お茶の水女子大学 印	

別記様式第2号の2(第7条関係)
研究成果の審査による修士の学位記

学位記	
氏名	氏名
年 月 日生	年 月 日生
本学大学院人間文化創成科学研究科 ○○○専攻の博士前期課程におい て所定の単位を修得し特定の課題に ついての研究の成果の審査及び 最終試験に合格したので 修士(○○○)の学位を授与する	
年 月 日	年 月 日
第 号	第 号
お茶の水女子大学 印	

別記様式第2号の3(第7条関係)

博士前期課程生活工学共同専攻修了による修士の学位記

学位記	氏名	お茶の水女子大学大学院人間文化創成 科学研究科及び奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科生活工学 共同専攻の博士前期課程において 所定の単位を修得し学位論文の 審査及び最終試験に合格したので 修士(○○○)の学位を授与する	年 月 日	お茶の水女子大学 奈良女子大学 印	第 号
-----	----	---	-------	-------------------------	-----

別記様式第3号の1(第7条関係)

課程修了による博士の学位記

学位記	氏名	本学大学院人間文化創成科学研究科 ○○○専攻の博士後期課程を 修了したので博士(○○○)の 学位を授与する	年 月 日	お茶の水女子大学 印	博士第 号
-----	----	--	-------	---------------	-------

別記様式第3号の2(第7条関係)
博士後期課程生活工学共同専攻修了による博士の学位記

学位記	
氏名	お茶の水女子大学大学院人間文化創成 科学研究科及び奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科生活工学 共同専攻の博士後期課程を修了したので 博士(○○○)の学位を授与する
年 月 日生	
論文題目	
年 月 日	
お茶の水女子大学 奈良女子大学	印 印
博甲第 号	

別記様式第4号(第7条関係)
論文提出による博士の学位記

学位記	
氏名	本学に学位論文を提出しその 審査及び試験に合格しかつ所定の 学力を有するものと認定したので 博士(○○○)の学位を授与する
年 月 日生	
論文題目	
年 月 日	
お茶の水女子大学	印
博乙第 号	

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学(以下「本学」という。))の学部におけるGPA(Grade Point Average)制度の運用については、国立大学法人お茶の水女子大学文教育学部履修規程、国立大学法人お茶の水女子大学理学部履修規程、国立大学法人お茶の水女子大学生生活科学部履修規程、国立大学法人お茶の水女子大学共創工学部履修規程又はこれらに基づく別段の定めによるほか、この要項の定めるところによる。

(GP)

第2条 GP(Grade Point)とは、授業科目の原成績(素点)の満点を100点、合格最低点を60点にした標準尺度に原成績の評価点数を一次変換した値をSS(standard score)とし、次の式により求めた値をいう。なお、成績を素点によらず5段階の評価(以下「レターグレード」という。))により評価した場合のSSの値は、第3条のとおりとする。

$$GP = (SS - 55) / 10 \quad \text{ただし、} GP < 0.5 \text{ は } GP = 0.0 \text{ とする。}$$

2 前項の方法で求めたGPを「f—strict GP」と呼び、学内で標準的に用いるGPとするものとする。なお、対外的に通用性に配慮する必要がある場合に、「f—strict GP」が「4.0」以上の値を一律「4.0」に、「0.5以上1.0以下」の値を一律「1.0」にしたGPを「f—general GP」と呼び、用いるものとする。なお、この要項及び他の規則において「GP」とあるのは、別段の定めがある場合を除き「f—strict GP」をいう。

(成績評価)

第3条 レターグレードに対応するSSの値、及びレターグレードを100点満点に換算した場合の成績の区間は次のとおりとする。

レターグレード	SS	100点満点に換算した場合の成績の区間
S	95	90点以上
A	85	80点以上90点未満
B	75	70点以上80点未満
C	65	60点以上70点未満
D(不合格)	55	60点未満

(GPA)

第4条 GPAとは、個々の学生の学修時間当たりの学習到達度を表す指標となる数値で、履修した授業科目のGPに当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値をいう。

2 GPAの算定対象となる授業科目は、次の各号に掲げるものを除外した授業科目とする。なお、不合格(GP=0)の判定を得た場合、当該GP及びその学修に費やした単位数はGPA算定対象に含むものとする。

- (1) 認定科目(素点や段階評価をせず、単位修得のみを認定した授業科目)
- (2) 素点や5段階のレターグレードによる評価がなされていない授業科目
- (3) 評価が未確定又は保留の授業科目

3 GPAは、前項に規定するGPA算定対象科目について、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての「学期GPA」、当該年度における同指標としての「年度GPA」、並びに在学中の全期間における指標としての「累積GPA」に区分して、各区分の定める方法により計算するものとし、計算値は小数点第3位以下を切り捨てるものとする。

GPAの計算式

学期GPA = (当該学期の履修登録科目のGP × 当該科目の単位数)の総和 / 当該学期の履修総単位数

年度GPA = (当該年度の履修登録科目のGP × 当該科目の単位数)の総和 / 当該年度の履修総単位数

累積GPA = (在学全期間の履修登録科目のGP × 当該科目の単位数)の総和 / 在学全期間の履修総単位数

4 第2条第2項に規定する「f—strict GP」を用いたGPAを「f—strict GPA」と呼び、学内で標準的に用いるGPAとするものとし、同条同項に規定する「f—general GP」を用いたGPAを「f—general GPA」と呼び、対外的に通用性に配慮する必要がある場合に用いるものとする。なお、この要項及び他の規則において「GPA」とあるのは、別段の定めがある場合を除き「f—strict GPA」をいう。

(GPA算定期日の取扱い)

第5条 GPAの算定は、学期ごとに指定された日(以下「GPA算定基準日」という。))までに確定した成績に基づいて行う。

2 GPA算定基準日は、原則として前期にあっては9月15日、後期にあっては3月20日とする。

(不合格科目の再履修の取扱い)

第6条 不合格と評価されたのちに再履修によって合格となり単位を修得した授業科目については、再履修によって得た評価と単位数はGPA算定に算入するものとし、当該科目について過去に得た不合格の評価及び単位数はGPA算定から除外するものとする。

(成績証明書への記載)

第7条 成績証明書には、累積GPAとそれに対応した「f—general GPA」を記載するものとする。

(GPA算定対象科目の履修の取消し)

第8条 GPA算定対象科目について、履修登録をした授業科目であっても受講目的が達成されないなどの理由から、別に定める履修取消期間内に限り、履修の登録を取り消すことができるものとする。

2 履修取消期間内に取消し手続きを行わない場合は、履修登録科目のすべてが成績評価並びにGPA算定の対象となり、履修を放棄した授業科目は不合格となる。

3 第1項の規定にかかわらず、病気、事故等やむを得ない事情による場合は、履修取消期間以降においても履修を取り消すことができるものとする。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関し必要な事項は学務部会が定める。

附 則

1 この要項は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度に本学学部の第1年次に入学者から適用する。

2 この要項施行の際、前日から引き続き在学する者(以下「在学者」という。))及び平成23年4月1日以降に在学者の属する年次に編入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

お茶の水女子大学学則第11条の規定に基づき、本学が単位を認定する学生の他大学等において修得した単位又は行った学修等の取扱いは、次のとおりとする。

I 単位認定の対象とする他大学等における修得単位等の取扱いについて

- (1) 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が当該他大学等において履修した授業科目について修得した単位を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
 - (2) 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修とみなし、単位を授与することができる。
 - (3) 前記(1)及び(2)の定めにより、履修したものとみなし、又は授与することができる単位については、合わせて60単位を限度として認めることができる。前記(2)の単位認定の対象となる「文部科学大臣が定める学修」は、次のとおりとする。
 - ・大学の専攻科における学修
 - ・高等専門学校の課程における学修で、大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
 - ・専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のものにおける学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
 - ・教育職員免許法(昭和24年法律第147号)第6条別表第3備考第6号の規定により文部科学大臣の認定を受けて大学等が行う講習又は公開講座における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
 - ・社会教育法(昭和24年法律第207号)第9条の5の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学その他の教育機関が行う社会教育主事の講習における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
 - ・図書館法(昭和25年法律第118号)第6条の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書及び司書補の講習における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
 - ・学校図書館法(昭和28年法律第185号)第5条第3項の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書教諭の講習における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- 国内における、本学との大学単位互換が可能な大学については、P.60を参照してください。国外の大学(本学の交流協定校)で修得した単位については「海外交換留学等認定科目」(全学共通科目)として、所定の手続きにより単位認定の対象になります。

II 単位の認定方法

※当該の単位認定につきましては、あらかじめ所定の承認を必要としますので、学務課(学生センター)で手続きをしてください。

- (1) 前記 I により認定を受けようとする者は、単位等の修得後、速やかに別紙様式 1【P.301 参照】による「他大学等において修得した単位等に係る単位認定願」に成績証明書等を添えて、当該学部長に願い出るものとする。
- (2) 当該学部長は、当該学科長及び関係教員と協議のうえ、当該教授会の議を経て、単位の認定を行うものとする。
- (3) 当該学部長は認定した科目及び単位について、別紙様式 2【P.301 参照】による認定書を交付するものとする。
- (4) 前記により単位の認定を行った場合は、本学における履修内容の有益化を図るよう、各学部において適切な指導を行うものとする。

III その他

外国の大学等における授業科目の履修等の取扱いについては、前記 I の(1)及び(3)の定めによるもののほか、別に定めるところによるものとする。
(適用)

この取扱いは、平成11年4月1日から実施する。

IV 修業年限の通算の措置(学則第8条第3項関係)

本学の科目等履修生として一定の単位を修得した場合、前記 I の(1)により認められた単位の全部又は一部が教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該学部教授会の議を経て、学則第14条第1項に規定する修業年限について、当該単位数、その修得に要した期間その他を考慮して、2分の1を超えない範囲でその修業年限に通算することができる。

(適用)

この取扱いは、平成16年4月1日から実施する。

転学及び編入学した学生の既修得単位の取扱いについて

お茶の水女子大学学則（以下「学則」という。）第3 4 条及び第2 3 条の規定により、入学を許可された者の既に修得した単位（以下「既修得単位」という。）については、学則第1 6 条第2 項の定めるところにより、本学において修得したものと認定することのできる単位の取扱いについては、次のとおりとする。

- 1) 転学及び編入学した学生が、既修得単位の認定を受ける場合、別紙様式 1 による「他大学等において修得した単位等に係る認定願」に成績証明書等を添えて、当該学部長に願ひ出るものとする。
- 2) 当該学部長は、当該学科長と協議のうえ、当該教授会の議を経て既修得単位の認定を行うものとする。
なお、転学の場合は、当該科目関係教員等との協議を加えて、単位認定を行うものとする。
- 3) 既修得単位の認定は、本学におけるコア科目のうち、それぞれに相当する科目について行うものとする。
- 4) 既修得単位のうち、専攻科目等について認定することが教育上有益であると認めるときは、第 12 条により既修得単位の認定を行うことができる。
- 5) 第 12 条により単位の認定を行った場合は、認定した単位に伴い、履修すべき単位について、当該学部は適切な指導を行うものとする。
- 6) 当該学部長は、認定した科目及び単位について、別紙様式 2 による認定書を交付するものとする。

別紙様式 1

[illegible]

別紙様式2

他大学等において修得した単位等に係る認定書

所属 _____ 学部 _____ 学科 _____ 年 _____
学籍番号 _____
氏名 _____

認定する授業科目				認定の基礎となった単位等			
科目区分	授業科目名	単位	評価	授業科目名等	単位等	評価等	備考
合計				単位			

学則第11条 } の規程に基づき、上記のとおり本学において修得又は履修したものとなし単位を
学則第12条 } 認定する。
学則第16条第2項 }

令和 年 月 日
お茶の水女子大学 学部長 印

お茶の水女子大学学則第12条の規定に基づき、本学に入学する前の他大学等において修得した単位等に対する単位認定については、次のとおりとする。

I 単位認定の対象とする他大学等における既修得単位、並びに学修

- (1) 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は、外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。(以下「既修得単位」という。))を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- (2) 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- (3) 前記2の定めにより、修得したものとみなし、又は与えることができる単位については、転学、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについて、学則第11条第3項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を限度として認めることができる。

前記(2)の単位認定の対象となる「文部科学大臣が定める学修」は、次のとおりとする。

- ・大学の専攻科における学修
- ・高等専門学校の課程における学修で、大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のものにおける学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・教育職員免許法(昭和24年法律第147号)第6条別表第3備考第6号の規定により文部科学大臣の認定を受けて大学等が行う講習又は公開講座における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・社会教育法(昭和24年法律第207号)第9条の5の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学その他の教育機関が行う社会教育主事の講習における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・図書館法(昭和25年法律第118号)第6条の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書及び司書補の講習における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・学校図書館法(昭和28年法律第185号)第5条第3項の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書教諭の講習における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・『実用英語技能検定』(公益財団法人日本英語検定協会主催)の合格(1級又は準1級)に係る学修
- ・『TOEIC』(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会主催)において680点以上の学修
- ・『TOEFL』(Education Testing Service(ETS)主催)において530(ITP)／72(iBT)点以上の学修
- ・『IELTS』において6以上の学修
- ・『GTEC』において1190点以上の学修
- ・『中国語検定』(一般財団法人日本中国語検定協会主催)の合格(4級以上)に係る学修
- ・『中国語コミュニケーション能力検定』(中国語コミュニケーション協会主催)において250点以上の学修
- ・『漢語水平考試』(中国国家HSK委員会主催)の合格(2級以上)に係る学修
- ・『実用フランス語技能検定試験』(公益財団法人フランス語教育振興協会主催)の合格(4級以上)に係る学修
- ・『DELFI』(国際教育研究センターCIEP主催)の合格(A1以上)に係る学修
- ・『ドイツ語技能検定試験』(公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催)の合格(3級以上)に係る学修
- ・『Goethe-Zertifikat』(Goethe Institut主催)の合格(A1以上)に係る学修
- ・『ÖSD』(ÖSD主催)の合格(A1以上)に係る学修
- ・『TestDaF』(TestDaF Institut主催)の合格(TDN3以上)に係る学修

II 単位の認定方法

- 既修得単位の認定は、次により行うものとする。
- (1) 既修得単位の認定を受けようとする者は、別紙様式1【P.301参照】による「他大学等において修得した単位等に係る認定願」に成績証明書等を添えて、当該学部長に願い出るものとする。
- (2) 当該学部長は、教育上有益と認めるときは、当該学科長及び願出のあった授業科目の関係教員等と協議のうえ、当該教授会の議を経て、既修得単位の認定を行うものとする。
- 『実用英語技能検定』1級又は準1級の合格者、『TOEIC』680点以上のスコアを持つ者、『TOEFL』530(ITP)／72(iBT)点以上のスコアを持つ者、『IELTS』6以上のスコアを持つ者、『GTEC』1190点以上のオフィシャルスコアを持つ者、『中国語検定』4級以上の合格者、『中国語コミュニケーション能力検定』250点以上のスコアを持つ者、『漢語水平考試』2級以上の合格者、『実用フランス語技能検定試験』4級以上の合格者、『DELFI』A1以上の合格者、『ドイツ語技能検定試験』3級以上の合格者、『Goethe-Zertifikat』A1以上の合格者、『ÖSD』A1以上の合格者、『TestDaF』TDN3以上の合格者の単位認定は、次により行う。
- (1) 単位の認定を受けようとする者は、別紙様式1【P.301参照】による「他大学等において修得した単位等に係る認定願」にそれぞれの基準を満たしていることを証明する書類を添えて、当該学部長に願い出るものとする。
- (2) 当該学部長は、関係学科教員等と協議のうえ、当該教授会の議を経て、認定を行うものとする。
- 申請期限——入学した年度の前学期授業開始日の前日(学務課に申請の申し出をし、申請手続の指示を受けること。)-

III 単位の認定書の交付等

- (1) 当該学部長は認定した科目及び単位について、別紙様式2【P.301参照】による認定書を交付するものとする。
- (2) 前記により単位の認定を行った場合は、認定した単位に代えて、他の授業科目の履修を行わせるなど履修内容の有益化を図るよう、各学部において適切な指導を行うものとする。

別 表

授業科目区分	認定できる単位数
コ ア 科 目	※60単位を限度とする。
専 門 教 育・専 攻 科 目	
そ の 他 の 授 業 科 目	

※本学において修得した単位以外のものについて、上記単位数を上限とする。
各認定単位は以下のとおりとする。（なお、残りの必修単位の充足方法等については、「授業科目区分、履修方法(コア科目)」を参照。）

Ⅳ 修業年限の通算の措置(学則第8条第3項関係)

本学の科目等履修生として一定の単位を修得した場合、前記Ⅰの(1)により認められた単位の全部又は一部が教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該学部教授会の議を経て、学則第8条第1項に規定する修業年限について、当該単位数、その修得に要した期間その他を考慮して、2分の1を超えない範囲でその修業年限に通算することができる。

(適用)
この取扱いは、平成16年4月1日から実施する。

(適用)
この取扱いは、平成31年4月1日から実施する。

(適用)
この取扱いは、令和2年4月1日から実施する。

(趣旨)

第1条 この規則は、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「保護法」という。)、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号。以下「番号法」という。)に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学(以下「本学」という。)の保有する個人情報の適切な管理に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規則における用語の定義は以下のとおりとする。

- (1) 「個人情報」とは、保護法第2条第1項に規定する個人情報をいう。
- (2) 「個人識別符号」とは、保護法第2条第2項に規定するものをいう。
- (3) 「要配慮個人情報」とは、保護法第2条第3項に規定する個人情報をいう。
- (4) 「個人データ」とは、保護法第16条第3項に規定する個人情報データベース等を構成する個人情報をいう。
- (5) 「保有個人データ」とは、保護法第16条第4項に規定する個人データであって、本学が保有するものをいう。
- (6) 「保有個人情報」とは、保護法第60条第1項に規定する個人情報であって、本学が保有するものをいう。
- (7) 「個人情報ファイル」とは、保護法第60条第2項に規定する保有個人情報を含む情報の集合物をいう。
- (8) 「本人」とは、個人情報によって識別される特定の個人をいう。
- (9) 「匿名加工情報」とは、保護法第2条第6項に規定する情報をいう。
- (10) 「行政機関等匿名加工情報」とは、保護法第60条第3項に規定する匿名加工情報をいう。
- (11) 「行政機関等匿名加工情報ファイル」とは、保護法第60条第4項に規定する行政機関等匿名加工情報を含む情報の集合物をいう。
- (12) 「削除情報」とは、保護法第107条第4項に規定する削除した記述等及び個人識別符号をいう。
- (13) 「個人番号」とは、番号法第2条第5項に規定する個人番号をいう。
- (14) 「特定個人情報」とは、番号法第2条第8項に規定する個人番号をその内容に含む個人情報をいう。
- (15) 「特定個人情報ファイル」とは、番号法第2条第9項に規定する個人番号をその内容に含む個人情報ファイルをいう。
- (16) 「部局」とは、学長戦略機構、監査室、各学部、大学院人間文化創成科学研究科、附属図書館、保健管理センター、基幹研究院、各機構、各学内共同教育研究施設、附属学校部、学校教育研究部、各附属学校、保育所、こども園及び事務組織をいう。

(総括保護管理者)

第3条 本学に、総括保護管理者を置き、総務を担当する副学長をもって充てる。

2 総括保護管理者は、本学における保有個人データ、保有個人情報及び個人番号(以下「保有個人情報等」という。)の管理に関する事務を総括するものとする。

(保護管理者)

第4条 保有個人情報等を取り扱う部局に、保護管理者を置き、当該部局の長(学長戦略機構及び監査室にあつては、総務を担当する副学長)をもって充てる。

2 保護管理者は、各部局における保有個人情報等の適切な管理を確保するものとする。保有個人情報等を情報システムで取り扱う場合、保護管理者は、当該情報システムの管理者と連携して、取り扱うものとする。

(保護担当者)

第5条 保有個人情報等を取り扱う部局に、保護担当者を置き、当該部局の保護管理者が指定する部局の職員をもって充てる。

2 保護担当者は、各部局の保護管理者を補佐し、保有個人情報等の管理に関する事務を行うものとする。

(事務取扱責任者)

第6条 個人番号及び特定個人情報(以下「特定個人情報等」という。)を取り扱う監査室及び事務組織の各課(以下「室及び課」という。)に、事務取扱責任者を置き、室及び課の長をもって充てる。

2 事務取扱責任者は、本学における特定個人情報等を適切に管理するものとする。

(事務取扱担当者)

第7条 事務取扱責任者は、当該室及び課の職員の中から事務取扱担当者を置き、その役割及び取り扱う特定個人情報等の範囲を指定するものとする。

2 事務取扱担当者は、事務取扱責任者を補佐し、特定個人情報等を取り扱う事務を実施する区域(以下「取扱区域」という。)における保有個人情報等の管理に関する事務を行うものとする。

(監査責任者)

第8条 本学に、監査責任者を置き、学長が指名する監事をもって充てる。

2 監査責任者は、保有個人情報等の管理の状況について監査するものとする。

(委員会)

第9条 総括保護管理者は、保有個人情報等の管理に係る重要事項の決定、連絡・調整等を行うため必要があると認めるときは、関係職員を構成員とする委員会を設け、定期に又は随時に開催する。

(教育研修)

第10条 総括保護管理者は、保有個人情報等の取扱いに従事する職員(派遣労働者を含む。以下「職員」という。)に対し、保有個人情報等の取扱いについて理解を深め、個人情報及び特定個人情報等の保護に関する意識の高揚を図るための啓発その他必要な教育研修を行うものとする。

2 保護管理者は、保有個人情報等の適切な管理のために、当該部局の職員に対して、総括保護管理者の実施する教育研修への参加の機会を付与する等の必要な措置を講ずるものとする。

3 総括保護管理者は、保護管理者及び保護担当者に対し、部局の現場における保有個人情報等の適切な管理のための教育研修を実施するものとする。

4 総括保護管理者は、保有個人情報等を取り扱う情報システムの管理に関する事務に従事する職員に対し、保有個人情報等の適切な管理のために、情報システムの管理、運用及びセキュリティ対策に関して必要な教育研修を行う。

(職員の責務)

第11条 職員は、保護法及び番号法の趣旨に則り、関連する法令及び規程等の定め並びに総括保護管理者、保護管理者及び保護担当者の指示に従い、保有個人情報等を取り扱わなければならない。

(個人情報の保有の制限等)

- 第12条 保護管理者及び事務取扱責任者(以下「保護管理者等」という。)は、個人情報及び特定個人情報等(以下「個人情報等」という。)を保有するに当たっては、その利用の目的(以下「利用目的」という。)を特定しなければならない。
- 2 保護管理者等は、利用目的を変更する場合は、変更前の利用目的と相当の関連性を有すると合理的に認められる範囲を超えて行ってはならない。
(利用目的による制限)
- 第13条 役員及び職員は、あらかじめ本人の同意を得ないで、前条の規定により特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えて、個人情報等を取り扱ってはならない。
- 2 前項の規定は、次に掲げる場合については、適用しない。
- (1) 法令に基づく場合。
 - (2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - (3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - (4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
 - (5) 当該個人情報を学術研究の用に供する目的(以下「学術研究目的」という。)で取り扱う必要があるとき(当該個人情報を取り扱う目的の一部が学術研究目的である場合を含み、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)
 - (6) 学術研究機関等に個人データを提供する場合であって、当該学術研究機関等が当該個人データを学術研究目的で取り扱う必要があるとき(当該個人データを取り扱う目的の一部が学術研究目的である場合を含み、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)
- (不適正な利用の禁止)
- 第14条 役員及び職員は、違法又は不当な行為を助長し、又は誘発するおそれがある方法により個人情報を利用してはならない。
(適正な取得)
- 第15条 役員及び職員は、偽りその他不正の手段により個人情報を取得してはならない。
- 2 役員及び職員は、保護法第20条第2項各号に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、要配慮個人情報を取得してはならない。
(取得に際しての利用目的の通知等)
- 第16条 役員及び職員は、個人情報を取得した場合は、あらかじめその利用目的を公表している場合を除き、速やかに、その利用目的を、本人に通知し、又は公表しなければならない。
- 2 役員及び職員は、前項の規定にかかわらず、本人との間で契約を締結することに伴って契約書その他の書面(電磁的記録を含む。以下この項において同じ。)に記載された当該本人の個人情報を取得する場合その他本人から直接書面に記載された当該本人の個人情報を取得する場合は、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。ただし、人の生命、身体又は財産の保護のために緊急に必要がある場合は、この限りでない。
- 3 役員及び職員は、利用目的を変更した場合は、変更された利用目的について、本人に通知し、又は公表しなければならない。
- 4 前3項の規定は、次に掲げる場合については、適用しない。
- (1) 利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
 - (2) 利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本学の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
 - (3) 国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
 - (4) 取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合
- (データ内容の正確性の確保等)
- 第17条 役員及び職員は、利用目的の達成に必要な範囲内において、個人データを正確かつ最新の内容に保つとともに、利用する必要がなくなったときは、当該個人データを遅滞なく消去するよう努めなければならない。
(第三者提供の制限)
- 第18条 役員及び職員は、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。
- (1) 法令に基づく場合
 - (2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - (3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
 - (4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
 - (5) 当該個人データの提供が学術研究の成果の公表又は教授のためやむを得ないとき(個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)
 - (6) 当該個人データを学術研究目的で提供する必要があるとき(当該個人データを提供する目的の一部が学術研究目的である場合を含み、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)(役員及び職員と当該第三者が共同して学術研究を行う場合に限る。)
 - (7) 当該第三者が学術研究機関等である場合であって、当該第三者が当該個人データを学術研究目的で取り扱う必要があるとき(当該個人データを取り扱う目的の一部が学術研究目的である場合を含み、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)
- 2 役員及び職員は、第三者に提供される個人データについて、本人の求めに応じて当該本人が識別される個人データの第三者への提供を停止することとしている場合であって、次に掲げる事項について、個人情報保護委員会規則で定めるところにより、あらかじめ、本人に通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置くとともに、個人情報保護委員会に届け出たときは、前項の規定にかかわらず、当該個人データを第三者に提供することができる。
- (1) 第三者への提供を行う役員及び職員の氏名並びに住所並びに法人として提供を行う場合にあっては、学長の氏名
 - (2) 第三者への提供を利用目的とすること。
 - (3) 第三者に提供される個人データの項目
 - (4) 第三者に提供される個人データの取得の方法
 - (5) 第三者への提供の方法
 - (6) 本人の求めに応じて当該本人が識別される個人データの第三者への提供を停止すること。
 - (7) 本人の求めを受け付ける方法
 - (8) その他個人の権利利益を保護するために必要なものとして個人情報保護委員会規則で定める事項
- 3 役員及び職員は、前項第1号に掲げる事項に変更があったとき又は同項の規定による個人データの提供をやめたときは遅滞なく、同項第3号から第5号まで、第7号又は第8号に掲げる事項を変更しようとするときはあらかじめ、その旨について、個人情報保護委員会規則で定めるところにより、本人に通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置くとともに、個人情報保護委員会に届け出なければならない。
- 4 次に掲げる場合において、当該個人データの提供を受ける者は、前各項の規定の適用については、第三者に該当しないものとする。
- (1) 役員及び職員が利用目的の達成に必要な範囲内において個人データの取扱いの全部又は一部を委託することに伴って当該個人データが提供される場合

- (2) 合併その他の事由による事業の承継に伴って個人データが提供される場合
- (3) 特定の者との間で共同して利用される個人データが当該特定の者に提供される場合であって、その旨並びに共同して利用される個人データの項目、共同して利用する者の範囲、利用する者の利用目的並びに当該個人データの管理について責任を有する役員及び職員の名並びに住所並びに法人として提供を行う場合にあつては、学長の氏名について、あらかじめ、本人に通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置いているとき。
- 5 役員及び職員は、前項第3号に規定する個人データの管理について責任を有する者の氏名、名称若しくは住所又は法人にあつては、その代表者の氏名に変更があつたときは遅滞なく、同号に規定する利用する者の利用目的又は当該責任を有する者を変更しようとするときはあらかじめ、その旨について、本人に通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置かなければならない。
- 6 事務取扱責任者は、番号法第19条各号に明記された場合を除き、特定個人情報等を提供してはならない。

(外国にある第三者への提供の制限)

第19条 役員及び職員は、外国(本邦の域外にある国又は地域をいう。以下同じ。)(個人の権利利益を保護する上で我が国と同等の水準にあると認められる個人情報の保護に関する制度を有している外国として個人情報保護委員会規則で定めるものを除く。以下同じ。))にある第三者(個人データの取扱いについて本規則の規定により個人情報取扱事業者が講ずべきこととされている措置に相当する措置(第3項において「相当措置」という。))を継続的に講ずるために必要なものとして個人情報保護委員会規則で定める基準に適合する体制を整備している者を除く。以下この項及び次項において同じ。))に個人データを提供する場合、前条第1項各号に掲げる場合を除くほか、あらかじめ外国にある第三者への提供を認める旨の本人の同意を得なければならない。この場合においては、同条の規定は、適用しない。

- 2 役員及び職員は、前項の規定により本人の同意を得ようとする場合には、個人情報保護委員会規則で定めるところにより、あらかじめ、当該外国における個人情報の保護に関する制度、当該第三者が講ずる個人情報の保護のための措置その他当該本人に参考となるべき情報を当該本人に提供しなければならない。
- 3 役員及び職員は、個人データを外国にある第三者(第1項に規定する体制を整備している者に限る。))に提供した場合には、個人情報保護委員会規則で定めるところにより、当該第三者による相当措置の継続的な実施を確保するために必要な措置を講ずるとともに、本人の求めに応じて当該必要な措置に関する情報を当該本人に提供しなければならない。

(第三者提供に係る記録の作成等)

第20条 役員及び職員は、個人データを第三者(保護法第16条第2項各号に掲げる者を除く。以下この条及び次条において同じ。))に提供したときは、個人情報保護委員会規則で定めるところにより、当該個人データを提供した年月日、当該第三者の氏名又は名称その他の個人情報保護委員会規則で定める事項に関する記録を作成しなければならない。ただし、当該個人データの提供が第18条第1項各号又は第4項各号のいずれか(前条第1項の規定による個人データの提供にあつては、第18条第1項各号のいずれか)に該当する場合は、この限りでない。

- 2 役員及び職員は、前項の記録を、当該記録を作成した日から個人情報保護委員会規則で定める期間保存しなければならない。

(第三者提供を受ける際の確認等)

第21条 役員及び職員は、第三者から個人データの提供を受けるに際しては、個人情報保護委員会規則で定めるところにより、次に掲げる事項の確認を行わなければならない。ただし、当該個人データの提供が第18条第1項各号又は第4項各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

- (1) 当該第三者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名
- (2) 当該第三者による当該個人データの取得の経緯

- 2 役員及び職員は、第1項の規定による確認を行ったときは、個人情報保護委員会規則で定めるところにより、当該個人データの提供を受けた年月日、当該確認に係る事項その他の個人情報保護委員会規則で定める事項に関する記録を作成しなければならない。

- 3 役員及び職員は、前項の記録を、当該記録を作成した日から個人情報保護委員会規則で定める期間保存しなければならない。

(特定個人情報の利用の制限)

第22条 特定個人情報の利用については、第13条(第2項第3号から第4号までの規定を除く。))の規定を適用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる本規則の規定中同表の右欄に掲げる字句は、同表の右欄に掲げる字句とする。

読み替えられる本規則の規定	読み替えられる字句	読み替える字句
第13条第1項	あらかじめ本人の同意を得ないで、前条	前条
第13条第2項第1号	法令に基づく場合	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)第9条第5項の規定に基づく場合
第13条第2項第2号	本人	本人の同意があり、又は本人

(個人番号を取り扱う事務の範囲)

第23条 本学が個人番号を取り扱う事務の範囲は以下のとおりとする。

- (1) 所得税法(昭和40年法律第33号)その他所得税に関する法律により行う事務
- (2) 地方税法(昭和25年法律第226号)その他地方税に関する法律により行う事務
- (3) 雇用保険法(昭和49年法律第116号)により行う事務
- (4) 労働者災害補償保険法(昭和22年法律第50号)により行う事務
- (5) 国家公務員共済組合法(昭和33年法律第128号)により行う事務
- (6) 健康保険法(大正11年法律第70号)により行う事務
- (7) 厚生年金保険法(昭和29年法律第115号)により行う事務
- (8) 国民年金保険法(昭和34年法律第141号)により行う事務
- (9) 学校保健安全法(昭和33年法律第56号)により行う事務
- (10) 高等学校等就学支援金の支給に関する法律(平成22年法律第18号)により行う事務
- (11) その他番号法及び関係法令により行う事務

(個人番号の収集・保管の制限)

第24条 本学は、前条に掲げる事務を行うために必要な場合を除き、個人番号を含む個人情報を収集又は保管してはならない。

- 2 本学は、事務を行うために個人番号の提供又は本人確認(以下「個人番号の提供等」という。))を求めた者がこれに応じない場合には、番号法の趣旨及び意義について説明し個人番号の提供等に応じるよう求めるものとする。

- 3 前項の求めにも関わらず個人番号の提供等に応じない場合には、その経緯等を記録するものとする。

(個人情報ファイル簿)

第25条 保護管理者等は、個人情報ファイル(保護法第75条第2項各号に掲げるもの及び同条第3項の規定により個人情報ファイル簿に掲載しないものを除く。以下同じ。))及び特定個人情報ファイル(以下「個人情報ファイル等」という。))を保有するに至ったときは、直ちに、保護法第74条第1項第1号から第7号まで、第9号及び第10号、保護法第108条各号並びに保護法第115条の各号の事項を記載した別紙様式により個人情報ファイル簿を作成し、総

括保護管理者に提出しなければならない。

2 総括保護管理者は、前項の届出を受けたときは、個人情報の保護に関する法律施行令第20条第5項に基づき、速やかに個人情報ファイル簿を国立大学法人お茶の水女子大学情報公開室において一般の閲覧に供するとともに、インターネットの利用その他の情報通信の技術を利用する方法により公表しなければならない。

3 保護管理者等は、個人情報ファイル簿に記載すべき事項に変更があったときは、直ちに、当該個人情報ファイル簿を修正し、総括保護管理者に提出しなければならない。

4 保護管理者等は、個人情報ファイル簿に掲載した個人情報ファイルの保有をやめたとき、又はその個人情報ファイルが保護法第74条第2項第9号に該当するに至ったときは、遅滞なく、当該個人情報ファイルについての記載を消除するように総括保護管理者に申し出なければならない。

(特定個人情報ファイルの作成の制限)

第26条 本学は、個人番号利用事務等を処理するために必要な場合を除き、特定個人情報ファイルを作成してはならない。

(アクセス制限)

第27条 保護管理者等は、保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、当該保有個人情報等にアクセスする権限を有する職員の範囲と権限の内容を、当該者が業務を行う上で必要最小限の範囲に限るものとする。

2 アクセスする権限を有しない職員は、保有個人情報等にアクセスしてはならない。

3 職員は、アクセスする権限を有する場合であっても、業務上の目的以外の目的で保有個人情報等にアクセスしてはならない。

(複製等の制限)

第28条 保護管理者等は、次に掲げる行為については、当該保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、当該行為を行うことができる場合を限定するものとする。職員は、保護管理者等の指示に従い行うものとする。

(1) 保有個人情報等の複製

(2) 保有個人情報等の送信

(3) 保有個人情報等が記録されている媒体の外部への送付又は持出し

(4) その他保有個人情報等の適切な管理に支障を及ぼすおそれのある行為

(誤りの訂正等)

第29条 職員は、保有個人情報等の内容に誤り等を発見した場合には、保護管理者等の指示に従い、訂正等を行うものとする。

(媒体の管理等)

第30条 職員は、保有個人情報等が記録されている媒体を保護管理者等の指示する場所に保管するとともに、必要があると認めるときは、耐火金庫への保管、施錠等を行うものとする。

2 職員は、保有個人情報等が記録されている媒体を外部に持ち出す場合には、原則としてパスワード等(パスワード、ICカード、生体情報等をいう。以下同じ。)を使用して権限を識別する機能(以下「認証機能」という。)を設定する等のアクセス制御のために必要な措置を講じなければならない。

(廃棄等)

第31条 職員は、保有個人情報等又は保有個人情報等が記録されている媒体(端末及びサーバに内蔵されているものを含む。)が不要となった場合には、保護管理者等の指示に従い、当該保有個人情報等の復元又は判読が不可能な方法により当該情報の消去又は当該媒体の廃棄を行うものとする。

2 保有個人情報等の消去や保有個人情報等が記録されている媒体の廃棄を委託する場合(二以上の段階にわたる委託を含む。)には、必要に応じて職員が消去及び廃棄に立ち会い、又は写真等を付した消去及び廃棄を証明する書類を受け取るなど、委託先において消去及び廃棄が確実に行われていることを確認しなければならない。

(保有個人情報等の取扱状況の記録)

第32条 保護管理者は、保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、台帳等を整備して、当該保有個人情報等の利用及び保管等の取扱いの状況について記録するものとする。

2 事務取扱責任者は、特定個人情報ファイルの取扱状況を確認する手段を整備して、当該特定個人情報等の利用及び保管等の取扱状況について記録するものとする。

(外的環境の把握)

第33条 個人情報等が、外国において取り扱われる場合、当該外国の個人情報の保護に関する制度等を把握した上で、個人情報等の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

(行政機関等匿名加工情報の作成及び提供等)

第34条 本学は、保護法の規定に従い、行政機関等匿名加工情報(行政機関等匿名加工情報ファイルを構成するものに限る。)を作成し、及び提供することができる。

2 職員は、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために行政機関等匿名加工情報及び削除情報(個人情報に該当するものに限る。)を自ら利用し、又は提供してはならない。

3 行政機関等匿名加工情報及び削除情報の作成及び提供等に関し、必要な事項は、別に定める。

(取扱区域)

第35条 事務取扱責任者は取扱区域を明確にし、物理的な安全管理措置を講ずるものとする。

(アクセス制御)

第36条 保護管理者等は、保有個人情報等(情報システムで取り扱うものに限る。以下次条から第49条(第43条を除く。)までにおいて同じ。)の秘匿性等その内容に応じて、認証機能を設定する等のアクセス制御のために必要な措置を講ずるものとする。

2 保護管理者等は、前項の措置を講ずる場合には、パスワード等の管理に関する定めを整備(その定期又は随時に見直しを含む。)するとともに、パスワード等の読取防止等を行うために必要な措置を講ずるものとする。

(アクセス状況の監視)

第37条 保護管理者等は、保有個人情報等の秘匿性等その内容及びその量に応じて、当該保有個人情報等へのアクセス状況を記録し、その記録(以下「アクセス記録」という。)を5年間保存し、アクセス記録を定期に又は随時に分析するために必要な措置を講ずるものとする。

2 保護管理者等は、保有個人情報等を含むか又は含むおそれがある一定量以上の情報が情報システムからダウンロードされた場合に警告表示がなされる機能の設定、当該設定の定期的確認等の必要な措置を講ずるものとする。

3 保護管理者等は、アクセス記録の改ざん、窃取又は不正な消去の防止のために必要な措置を講ずるものとする。

(管理者権限の設定)

第38条 保護管理者等は、保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、情報システムの管理者権限の特権を不正に窃取された際の被害の最小化及び内部からの不正操作等の防止のため、当該特権を最小限とする等の必要な措置を講ずる。

(外部からの不正アクセスの防止)

第39条 保護管理者等は、保有個人情報等を取り扱う情報システムへの外部からの不正アクセスを防止するため、ファイアウォールの設定による経路制御等の必要な措置を講ずるものとする。

(不正プログラムによる漏えい等の防止)

第40条 保護管理者等は、不正プログラムによる保有個人情報等の漏えい、滅失又はき損の防止のため、ソフトウェアに関する公開された脆弱性の解消、把握された不正プログラムの感染防止等に必要な措置(導入したソフトウェアを常に最新の状態に保つことを含む。)を講ずるものとする。

(情報システムにおける保有個人情報の処理)

第41条 職員は、保有個人情報等について、一時的に加工等の処理を行うため複製等を行う場合には、その対象を必要最小限に限り、処理終了後は不要となった情報を速やかに消去するものとする。保護管理者等は、当該保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、随時、消去等の実施状況を重点的に確認するものとする。

(暗号化)

第42条 保護管理者等は、保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、その暗号化のために必要な措置を講ずるものとする。職員は、これを踏まえその処理する保有個人情報等について、当該保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、適切に暗号化を行うものとする。

(入力情報の照合等)

第43条 職員は、情報システムで取り扱う保有個人情報等の重要度に応じて、入力原票と入力内容との照合、処理前後の当該保有個人情報等の内容の確認、既存の保有個人情報等との照合等を行うものとする。

(バックアップ)

第44条 保護管理者は、保有個人情報等の重要度に応じて、バックアップを作成し、分散保管するために必要な措置を講ずるものとする。

(情報システム設計書等の管理)

第45条 保護管理者は、保有個人情報等に係る情報システムの設計書、構成図等の文書について外部に知られることがないよう、その保管、複製、廃棄等について必要な措置を講ずるものとする。

(記録機能を有する機器・媒体の接続制限)

第46条 保護管理者等は、保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、当該保有個人情報等の漏えい、滅失又は毀損の防止のため、スマートフォン、USBメモリ等の記録機能を有する機器・媒体の情報システム端末等への接続の制限(当該機器の更新への対応を含む。)等の必要な措置を講ずる。

(端末の限定)

第47条 保護管理者等は、保有個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、その処理を行う端末を限定するために必要な措置を講ずるものとする。

(端末の盗難防止等)

第48条 保護管理者等は、端末の盗難又は紛失の防止のため、端末の固定、執務室の施錠等の必要な措置を講ずるものとする。

2 職員は、保護管理者等が必要があると認めるときを除き、端末を外部へ持ち出し、又は外部から持ち込んではならない。

(第三者の閲覧防止)

第49条 職員は、端末の使用に当たっては、保有個人情報等が第三者に閲覧されることがないよう、使用状況に応じて情報システムからログオフを行うことを徹底する等の必要な措置を講ずるものとする。

(入退室の管理)

第50条 保護管理者は、保有個人情報等を取り扱う基幹的なサーバ等の機器を設置する室等(以下「情報サーバ室等」という。)に入室する権限を有する者を指定するとともに、用件の確認、入退室の記録、部外者についての識別化、部外者が入室する場合の職員の立会い又は監視設備による監視、外部電磁的記録媒体等の持込み、利用及び持ち出しの制限又は検査等の措置を講ずるものとする。また、保有個人情報等を記録する媒体を保管するための施設を設けている場合においても、必要があると認めるときは、同様の措置を講ずるものとする。

2 保護管理者は、必要があると認めるときは、情報サーバ室等の出入口の特定化による入退室の管理の容易化、所在表示の制限等の措置を講ずるものとする。

3 保護管理者は、情報サーバ室等及び保管施設の入退室の管理について、必要があると認めるときは、入室に係る認証機能を設定し、及びパスワード等の管理に関する定めを整備(その定期又は随時の見直しを含む。)、パスワード等の読取防止等を行うために必要な措置を講ずるものとする。

(情報サーバ室等の管理)

第51条 保護管理者は、外部からの不正な侵入に備え、情報サーバ室等に施錠装置、警報装置、監視設備の設置等の措置を講ずるものとする。

2 保護管理者は、災害等に備え、情報サーバ室等に、耐震、防火、防煙、防水等の必要な措置を講ずるとともに、サーバ等の機器の予備電源の確保、配線の損傷防止等の措置を講ずるものとする。

(業務の委託等)

第52条 保有個人情報等の取扱いに係る業務を外部に委託する場合には、個人情報等の適切な管理を行う能力を有しない者を選定することがないよう、必要な措置を講ずるものとする。また、契約書に、次に掲げる事項を明記するとともに、委託先における責任者及び業務従事者の管理及び実施体制、個人情報等の管理の状況についての検査に関する事項等の必要な事項について書面で確認するものとする。

- (1) 個人情報等に関する秘密保持、目的外利用の禁止等の義務
 - (2) 再委託(再委託先が委託先の子会社(会社法(平成17年法律第86号)第2条第1項第3号に規定する子会社をいう。)である場合も含む。本号及び第5項において同じ。)の制限又は事前承認等再委託に係る条件に関する事項
 - (3) 個人情報等の複製等の制限に関する事項
 - (4) 個人情報等の安全管理措置に関する事項
 - (5) 個人情報等の漏えい等の事案の発生時における対応に関する事項
 - (6) 委託終了時における個人情報等の消去及び媒体の返却に関する事項
 - (7) 違反した場合における契約解除、損害賠償責任その他必要な事項
 - (8) 契約内容の遵守状況についての定期的報告に関する事項及び委託先における委託された個人情報の取扱状況を把握するための監査等に関する事項(再委託先の監査等に関する事項を含む。)
- 2 個人番号利用事務等の全部又は一部を委託する場合には、委託先について、番号法に基づき本学が果たすべき安全管理措置と同等の措置が講じられるか否かについて、あらかじめ確認するものとする。
- 3 個人情報等の取扱いに係る業務を外部に委託する場合には、取扱いを委託する個人情報等の範囲は、委託する業務内容に照らして必要最小限でなければならない。
- 4 個人情報等の取扱いに係る業務を外部に委託する場合には、委託する業務に係る個人情報等の秘匿性等その内容やその量等に応じて、委託先における管理体制及び実施体制や個人情報の管理の状況について、少なくとも年1回以上、原則として実地検査により確認するものとする。

5 委託先において、個人情報等の取扱いに係る業務が再委託される場合には、委託先に第1項の措置を講じさせるとともに、再委託される業務に係る個人情報等の秘匿性等その内容に応じて、委託先を通じて又は委託元自らが前項の措置を実施するものとする。個人情報の取扱いに係る業務について再委託先が再々委託を行う場合以降も同様とする。

6 個人情報等の取扱いに係る業務を派遣労働者によって行わせる場合には、労働者派遣契約書に秘密保持義務等個人情報の取扱いに関する事項を明記するものとする。

7 個人情報等を提供又は業務委託する場合には、漏えい等による被害発生リスクを低減する観点から、提供先の利用目的、委託する業務の内容、個人情報等の秘匿性等その内容などを考慮し、必要に応じ、特定の個人を識別することができる記載の全部又は一部を削除し、又は別の記号等に置き換える等の措置を講ずるものとする。

(サイバーセキュリティに関する対策の基準等)

第53条 個人情報等を取扱い、又は情報システムを構築し、若しくは利用するに当たっては、サイバーセキュリティ基本法(平成26年法律第104号)第26条第1項第2号に掲げられたサイバーセキュリティに関する対策の基準等を参考として、取り扱う保有個人情報の性質等に照らして適正なサイバーセキュリティの水準を確保するものとする。

(事案の報告及び再発防止措置)

第54条 情報漏えい等の安全確保の上で問題となる事案(以下単に「事案」という。)の発生又は兆候を把握した場合及び事務取扱担当者が本規則に違反している事実を知り又は兆候を把握した場合に、その事案等を認識した職員は、直ちに当該保有個人情報等を管理する保護管理者等に報告するものとする。

2 保護管理者等は、被害の拡大防止又は復旧等のために必要な措置を速やかに講ずるものとする。ただし、外部からの不正アクセスや不正プログラムの感染が疑われる当該端末等のLANケーブルを抜くなど、被害拡大防止のため直ちに行い得る措置については、直ちに行うこととする。

3 保護管理者等は、事案の発生した経緯、被害状況等を調査し、総括保護管理者に報告するものとする。ただし、特に重大と認める事案が発生した場合には、直ちに総括保護管理者に当該事案の内容等について報告するものとする。

4 総括保護管理者は、前項の規定に基づく報告を受けた場合には、事案の内容等に応じて、当該事案の内容、経緯、被害状況等を学長に速やかに報告するものとする。

5 総括保護管理者は、保護法第26条の規定に基づき、事案の内容等に応じて、事案の内容、経緯、被害状況等について、個人情報保護委員会に対し、速やかに報告するものとする。

6 前項に規定する場合に、総括保護管理者は、本人に対し、当該事態が生じた旨を通知するものとする。

7 保護管理者等は、事案の発生した原因を分析し、再発防止のために必要な措置を講ずるものとする。

(監査)

第55条 監査責任者は、保有個人情報等の管理の状況について、定期に又は随時に監査を行い、その結果を総括保護管理者に報告するものとする。

(点検)

第56条 保護管理者等は、部局又は室及び課における保有個人情報等の記録媒体、処理経路、保管方法等について、定期に及び必要に応じ随時に点検を行い、必要があると認めるときは、その結果を総括保護管理者に報告するものとする。

(評価及び見直し)

第57条 総括保護管理者又は保護管理者等は、監査又は点検の結果等を踏まえ、実効性等の観点から保有個人情報等の適切な管理のための措置について評価し、必要があると認めるときは、その見直し等の措置を講ずるものとする。

(雑則)

第58条 この規則に定めるもののほか、個人情報等の管理に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月27日)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月21日)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成23年5月18日)

この規則は、平成23年5月18日から施行する。

附 則(平成26年7月29日)

この規則は、平成26年8月1日から施行する。

附 則(平成27年3月25日)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成27年11月18日)

この規則は、平成27年11月18日から施行する。

附 則(平成28年3月25日)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月31日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年2月20日)

この規則は、平成31年2月20日から施行する。

附 則(令和元年12月18日)

この規則は、令和元年12月18日から施行し、平成31年4月1日より適用する。

附 則(令和4年3月29日)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

別紙様式(第25条関係)

(省略)

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人お茶の水女子大学学則（以下「学則」という。）第31条第1項第1号に規定する除籍及び第32条に規定する復籍の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(除籍の要件)

第2条 授業料を2期連続して滞納し、督促してもなお当該2期分を納入しない者は、2期目の末日をもって除籍する。

2 前項の期とは、学則第19条に定める前学期及び後学期であって、授業料納付義務のある学期をいう。

(除籍の手続)

第3条 除籍の手続は、次に掲げるとおりとする。

- 一 財務課は、授業料未納者に督促状を送付する。
- 二 財務課は、学務課に授業料未納者を通知する。
- 三 学科長（又はコース主任、講座主任）、指導教員、学年担当教員は、学務課とともに、2期連続して滞納した授業料未納者に、文書をもって修学意思の確認と授業料未納による除籍について説明を行い、また、当該授業料未納者の保護者等に同様の措置を行う。
- 四 除籍は、教授会の議を経て、学長が行う。
- 五 学長名で、除籍通知書を学生に、その写しを当該授業料未納者の保護者等に送付する。

(復籍の取扱い)

第4条 学長は、第2条の規定により除籍となった者が、除籍の日の翌日から起算して3年以内に、当該除籍の事由となった未納の授業料に相当する額を納付し、復籍を願い出た場合は、教授会の審査の上許可することができる。

- 2 前項の規定による復籍の時期は、許可を得た日以降における最初の前学期又は後学期の始めとする。
- 3 前2項の規定より復籍を許可した学生の復籍後の在学期間は、除籍前の在学期間に通算する。
- 4 除籍となった事由が消滅し、復籍を願い出た者が除籍から退学に準ずる扱いへの変更を希望した場合は、学長の許可の下、原則として退学者と同様の扱いとする。

(復籍の制限)

第5条 第2条の規定により除籍した者が、復籍後に同条により再び除籍となった場合は、復籍を認めない。前条第4項により退学に準ずる扱いに変更となった者も同様とする。

附則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。ただし、この規程の施行前に除籍した者については、適用しない。
- 2 この規程の施行日の前日に本学に在学し、この規程の施行後引き続き本学に在学する者については、第2条及び第3条中「2期」とあるのは、この規程の施行日前における授業料未納の期を算入しないものとする。
- 3 前項の規定により、この規程の施行日前における授業料未納の期を算入されなかった者が、第2条の規定により除籍された後に第4条第1項の規定により復籍を願い出るときは、当該除籍の事由となった未納の授業料に相当する額に加えて、前項の規定により算入されなかった期に係る未納の授業料に相当する額を含めた額を納付しなければならない。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年8月1日から施行する。

附則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和元年11月20日から施行する。

附則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者については、第3条第1号中「授業料未納者に」とあるのは「授業料未納者及び当該授業料未納者の保証人に」と、同第3号及び同条第5号中「保護者等」とあるのは「保証人」と読み替えて適用する。

平成23年4月13日
制 定

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学に在籍する学生の旧姓及び通称名(以下「通称名等」という。)使用の取扱い及び手続等については、この要項の定めるところによる。

(通称名等を使用できる場合)

第2条 通称名等を使用できる場合は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 婚姻等により戸籍上の姓を変更した学生が旧姓を使用する場合
- (2) 戸籍又はパスポート等上男性であっても性自認が女性であるトランスジェンダー学生が通称名を使用する場合
- (3) 外国籍である学生が住民票に記載されている通称名を使用する場合
- (4) その他学長が必要と認めた場合

(通称名等使用ができる文書等)

第3条 通称名等使用ができる文書等は、第4条に定める以外の文書等とする。

2 博士学位論文の申請、審査及び授与に関する書類並びに博士学位論文及び博士学位記における旧姓の併記については、別に定める。

(通称名等使用ができない文書等)

第4条 通称名等使用ができない文書等は、次のとおりとする。

- (1) 教育職員免許状申請書類
- (2) 管理栄養士国家試験出願書類及び栄養士免許申請書類
- (3) 前2号に定めるもののほか、国等の機関の所管する制度等により、通称名等の使用が認められていないもの
- (4) その他通称名等使用を行うことが困難であると学長が判断するもの

(通称名等使用の申出)

第5条 通称名等使用を希望する学生は、通称名等使用申出書(別紙様式1)に確認書類を添えて、学務課に提出しなければならない。

(通称名等使用の中止)

第6条 通称名等を使用している学生が、使用を中止する場合、通称名等使用中止届(別紙様式2)を学務課に提出しなければならない。

(記録)

第7条 通称名等使用の申出又は通称名等使用の中止についての届出を受理した場合は、その旨を学籍簿に記録する。

(卒業、修了又は退学後の取扱い)

第8条 卒業、修了又は退学時に通称名等使用をしていた学生に係る文書等(第4条に定めるものを除く。)の申請及び交付については、当該学生が卒業、修了又は退学した後においても、通称名等で行うものとする。

(通称名等使用に伴う証明等)

第9条 通称名等使用の学生から、文書等(学位記を含む。)の戸籍上の氏名と通称名等の同一性について説明依頼があった場合は、「本学では、通称名等使用を認めている。」旨が記載された文書(別紙様式3)を交付するが、それ以上の証明を求められた場合は、当該学生が自助努力で証明することとする。

(その他)

第10条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は学長が別に定める。

附 則

この要項は、平成23年4月13日から施行する。

附 則(平成26年7月29日)

この要項は、平成26年8月1日から施行する。

附 則(令和元年11月20日)

この要項は、令和元年11月20日から施行する。

附 則(令和2年3月25日)

この要項は、令和2年3月25日から施行する。

別紙様式 1

(別紙様式 1)

通称名等使用申出書

年 月 日

お茶の水女子大学長 殿

学籍番号
学部（又は大学院）
学科（又は専攻）
学年
氏名 印

下記のとおり通称名等を使用したいので、確認書類を添えて下記のとおり申し出ます。

記

1. 使用する通称名等（フリガナ）

2. 使用理由（該当の番号に○を記入）

(1) 旧姓を使用（確認書類：戸籍抄本又は旧姓の併記された住民票の写し）

(2) トランスジェンダー学生が通称名等を使用（確認書類：通称名の記載がある郵便物やカードの写し等）

(3) 外国籍である学生が住民票に記載されている通称名を使用（確認書類：住民票の写し）

(4) その他（確認書類：通称名等の使用を希望する理由書等）

(以下は学務課記載)

◆学籍事務担当係処理欄

1) 使用開始年月日： 年 月 日 確認 印

2) 学籍簿記録処理年月日： 年 月 日 記録 印

3) その他

別紙様式 2

(別紙様式 2)

通称名等使用中止届

年 月 日

お茶の水女子大学長 殿

学籍番号
学部名（又は大学院）
学科名（又は専攻名）
学年
氏名
(通称名等) 印

下記のとおり通称名等の使用を中止しますので届け出ます。

記

1. 中止する通称名等

2. 使用する戸籍又はパスポート等上の氏名

3. 中止年月日 年 月 日

4. 中止理由：

(以下は学務課記載)

◆学籍事務担当係処理欄

1) 使用中止年月日： 年 月 日 確認 印

2) 学籍簿記録処理年月日： 年 月 日 記録 印

3) その他

別紙様式 3

(別紙様式 3)

お茶の水女子大学学生の氏名表記について

本学では、学生からの申出により、学生の氏名表記について戸籍又はパスポート等上の氏名でなく通称名等を使用することを認めており、下記学生の氏名表記については、学位記を含め各種文書等（ただし、国等の機関の所管する制度等により、通称名等の使用が認められていないもの等を除く。）で通称名等を使用しています。

記

通称名等

戸籍又はパスポート等上の氏名

年 月 日
お茶の水女子大学長
○ ○ ○ ○

※この書類は、通称名等使用の学生から提出を求められた場合に作成し、交付することとする。

312